

ANNUAL REPORT

2010 – 2011

No. 34



Department of Social Systems and Management
Graduate School of Systems and Information
Engineering
University of Tsukuba

筑波大学大学院システム情報工学研究科社会システム・マネジメント専攻は、社会問題（経済、経営、都市・地域等に関わる諸問題）を理工学的（分析的、数理的、計量的）アプローチによって解明し、政策的および計画的な意味合いを見出すという研究上の共通目標をもつ研究者・教育者の組織である。それぞれの構成員は、国際的に認められる質の高い研究成果を上げるように、また良き教育者であるように努めている。

2010年度の本専攻所属の教員は、教授27名、准教授26名、講師10名、助教1名の合計64名であった（2011年3月31日現在）。本専攻教員の2010年度中の研究・教育活動は、以下のように総括できる。

(1) 研究活動と国際交流

本専攻の研究活動は、2010年度も全分野（社会経済、経営工学、都市計画）にわたって活発に展開した。論文・著書に関しては、著書数が2009年度に比べて若干減少したが、最も重視している審査付論文数は、2009年度の高水準を維持しており、そのうち英語論文数は増加傾向を保持している。競争的研究資金の積極的導入に努め、外部研究資金を着実に獲得している。2010年度の受託研究・共同研究は22件であった。科学研究費の採択本数は48件であるが、採択金額は、前年度に比べて若干減少した。受賞は、国内外から9件であった。

国際交流協定は、専攻として責任を持っているものが、清華大学（中国）、台北大学（台湾）、漢陽大学校（韓国）、南オーストラリア大学、南オーストラリア・フリンダース大学、アデレード大学（以上オーストラリア）、ウィーン経済・経営大学（オーストリア）との協定であり、中国科学研究院（中国）との協定に参加している。これらの大学・研究機関とは、若干名ながら研究者および学生の交流・交換が続いている。外国人研究者の受け入れと教員の海外派遣は極めて多く、国際的な研究交流が盛んであることを示している。

(2) 教育と人事

本専攻の教員が関連する教育組織は、システム情報工学研究科博士後期課程社会システム・マネジメント専攻に加えて、同研究科博士前期課程の社会システム工学専攻と経営・政策科学専攻、生命環境科学研究科環境科学専攻、理工学群社会工学類、および社会・国際学群国際総合学類である。社会システム・マネジメント専攻では、2007年度から開始した「社会人のための博士後期課程早期修了プログラム」履修生として社会人を継続的に受け入れている。

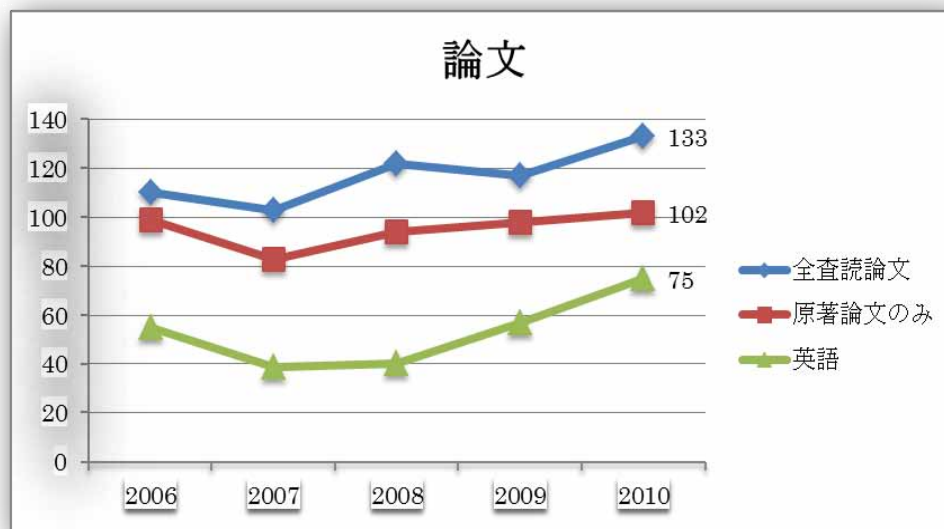
本専攻は教員の流動性が高く、それに伴い採用・昇任人事が経常的に行われてきた。そこでは、審査付学術論文を重視した業績評価を基礎として、開かれた透明な人事に努めてきた。しかし昨今の採用人事の困難化に伴い、優秀な人材を確保・維持していくためには、組織力の強化に向けてより一層の努力が必要となっている。

本専攻の教員は、様々な研究分野・職歴・国籍をもつ。多様な教員間の活発な交

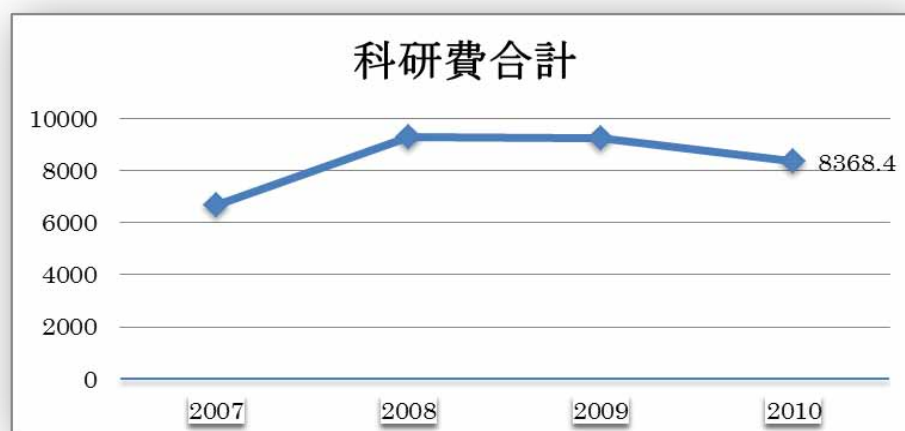
流が、相乗効果により研究成果の向上をもたらすことを期待する。本専攻の更なる成長のためには、研究・教育意欲を刺激するような環境と開かれた運営体制を整備し、中長期的視野に立ち有能な人材を確保することが必要である。また専攻業績の定期的な記録と自己評価により、専攻教員活動の社会的説明責任を果たさなければならない。昨年度から内容を一新した本報告書が、そのような課題に対応するための資料を提供し、構成員及び関係者の意識向上に貢献できれば幸いである。

2011年12月22日

社会システム・マネジメント専攻長
社会工学域長
大澤 義明



教員の過去5年間の論文数（他大学に在籍中の論文も含む）



単位は万円， 直接＋間接経費総額， 代表者が社シマ教員

Ⅱ. 教員一覽

教授

氏名	専門分野	研究テーマ
秋山英三	社会システム工学	力学系としてのゲームの研究
浅野哲	計量経済学	ミクロ経済学的分析手法の開発と応用
石田東生	都市計画 運輸交通・サービス 道路輸送・サービス	公共交通の成立性，自動車保有と世帯交通活動，社会資本整備と合意形成
大澤義明	都市計画 社会システム工学 経済性学（含経済事情） オペレーションズリサーチ 景観、公園、観光、レクリエーション 環境影響評価（含放射生物学） 土地利用 各種建築物 人文地理学	都市計画，社会工学，地域科学，都市解析，立地論，地理解析，社会的選択，オペレーションズ・リサーチ，幾何確率
大村謙二郎	都市計画 土地利用	土地利用計画に関する研究
小場瀬令二	都市計画 住居地域計画、住宅問題 景観、公園、観光、レクリエーション	住区内街路
金澤雄一郎	データ科学 統計科学	離散選択モデル，共分散構造分析，ノンパラメトリック密度関数・回帰関数推定論，欠損値のある場合の統計的解析，生存時間解析
金子守	経済理論	住宅市場の理論的・実証的研究，ゲーム論的決定のための推論と認識論理，帰納的ゲーム理論：個人経験と社会観の形成，未来地球のための社会経済思想
岸本一男	社会システム工学 応用数理 オペレーションズリサーチ	デジタル幾何，立地問題と合理的選挙，株価変動解析，フラクタルの解析
香田正人	情報システム工学 社会システム工学 情報検索 人工知能 情報処理 オペレーションズリサーチ マーケティング	ニューラル・ネットワークの確率的学習の研究，データマイニングの情報数理論的研究，複雑系の感度解析と最適化に関する研究，顧客対応型(CRM)ビジネスモデルとダイレクトマーケティングのプロトタイピング

佐藤弘史	橋梁工学 社会システム工学 構造設計 その他の環境汚染・公害 災害、防災	橋梁診断に係わるマネジメント技術に関する研究，橋梁点検・診断結果に基づく維持管理技術に関する研究
庄司功	統計科学 統計学 数値解析、近似法	ダイナミカルシステムモデルの統計的推論
住田潮	経営工学 オペレーションズリサーチ マーケティング 物的流通 生産工程 品質管理 情報工学一般	集合値関数の構造解析，情報システムの性能評価，応用確率モデルのビジネス分野への適用
高木英明	情報通信 応用確率過程 サービス・サイエンス	サービス科学，待ち行列理論とその応用，多重サービス高速通信ネットワークの性能評価
谷口守	運輸交通・サービス 環境工学一般 都市計画 土地利用 住居地域計画、住宅問題	社会・交通基盤整備に関する研究，都市の環境に関する研究，都市・地域計画制度に関する研究，都市計画・交通計画・環境計画
張勇兵		WDM光通信ネットワークにおけるルーティング方式，移動エージェントによる分散処理システムの構築，移動通信システムにおける周波数資源の最適割り当て方式に関する研究
中村豊		測定論の基礎，不確実性下の意思決定
橋本昭洋	社会システム工学	社会システム分析，公共部門意思決定，評価・決定方法論，非画一的総合評価
藤川昌樹	建築史 都市計画 日本史	歴史的市街地の保存，前近代東アジアの居住環境史，日本近世都市・住宅の空間構成に関する研究
藤原良叔	数学一般 情報工学基礎理論一般	周波数ホッピング系列，符号と暗号，Galois Field Packageの開発，バランスド・アレイの構成法
松田紀之	応用心理学 広領域 教育・社会系心理学 社会学（含社会福祉関係）	リスク認知，感性的判断の支援と分析

山本芳嗣	オペレーションズリサーチ 最適化	大域的最適化，組合せ最適化，アルゴリズムの開発
吉瀬章子	最適化・オペレーションズリサーチ	錐計画問題に対するアルゴリズムの開発と応用，相補性問題に対する数値的アルゴリズムの開発，データ解析，サービス科学における最適化モデルの適用
吉田あつし	経済統計学	医療の経済分析，教育の経済分析，政策評価
吉田雅敏	経済理論 財政学・金融論	家計生産理論による道路の需要予測と政策評価，公共財のユーザー・チャージと非線型所得税，家計生産における公的中間財と財政乗数，新ケインズ経済学における再分配と公的資金の限界費用
吉野邦彦	リモートセンシング一般 環境動態分析 環境影響評価（含放射生物学） 環境保全 環境工学一般 自然保護 水質汚濁 社会システム工学 農業土木	デジタル画像処理による植物群落草冠の立体構造のモデル化，生物多様性保全のための環境政策に関する研究，土地被覆・土地利用変化が地域生態系に及ぼす影響に関する研究，植物群集の分光反射特性に関する研究ーリモートセンシングを用いた詳細植生図作成のための基礎的研究，衛星リモートセンシングデータを用いた東南アジアにおける熱帯泥炭湿地林の環境評価，リモートセンシングによる湿原の詳細植生図の作成と景観生態学的分析
渡邊真一郎		職務満足と生活満足の関係，ワーク-ファミリー間相互作用の比較文化的研究，個人-仕事環境間のダイナミック相互作用

准教授

氏名	専門分野	研究テーマ
有田智一	都市計画 社会システム工学	
石井健一	社会学（含社会福祉 関係） 社会システム工学 教育・社会系心理学	キャラクターの消費行動，海外における日本アニメの受容，インターネット、携帯電話など通信メディアの利用，日本メディアの海外における普及と消費行動
江口匡太	労働経済学	雇用契約の理論
大久保正勝	経済統計学	異時点間の消費決定に関する実証研究
太田充		通信技術革新と都市空間構造の自己組織化
大貫裕二	経済統計学	国民経済計算推計システムに関する研究，統計調査方法の改善に関する研究
岡田幸彦	会計学 経営学 商学	サービス原価企画の理論的・実証的研究，サービス科学研究教育のための“知の体系”の創造
岡本直久	交通計画、観光計画 交通工学・国土計画 社会資本投資効果分析	道路パフォーマンス指標の開発，コンテナ港湾機能配分に関する研究，観光交通の需要分析
倉田久	経営学 経営工学 商学	サプライチェーン・マネジメントの視点からオペレーションとマーケティングの連携の研究
木島陽子	開発経済学	発展途上国における貧困がいかにして削減されるかを現地調査により収集した家計データを用いて実証分析を行う。
斎尾直子	建築工学一般 都市計画	大学キャンパスと都市環境との連携計画，生涯学習活動拠点としての公立小・中学校の機能複合化，成熟型農村地域社会におけるまちづくり計画，ラーバン・デザイン計画，都市共生型-高機能大学キャンパスの再構築計画
繁野麻衣子	オペレーションズリサーチ 社会システム工学	組合せ最適化，ネットワーク最適化のアルゴリズム開発
高橋正文		
TURNBULL Stephen John		オープンソース及びフリーソフトウェアのミクロ経済学的分析，コンピュータネットワークの経済学的分析

辻爾志		
堤盛人	土木計画学 応用空間統計学	不動産価格・賃料，空間的自己相関，空間統計学，空間計量経済学，応用応用都市経済モデル，社会資本ストック推計，プロジェクトファイナンス，建設関連業，無電中化
永易淳		金融・為替政策の分析，経済・金融危機，金融資産価格変動の分析と予測，投資家の行動分析
八森正泰	数学一般 位相幾何学 応用数学 情報工学基礎理論一般	トポロジ的組合せ論と組合せ論におけるトポロジ的手法，組合せ的構造に関する研究
原田信行	経済政策（含経済事情） 経済統計学	
繆瑩	応用数学 情報工学基礎理論一般	完全差集合族とそのレーダー配列への応用，デジタル指紋符号の構成法および追跡アルゴリズムの開発，ベイジアンネットワークの遺伝子情報解析への適用，組合せデザイン理論を用いた情報通信・情報セキュリティのためのシーケンス構成問題
桃田朗	経済理論	人口問題を考慮したマクロ経済理論の構築、およびその応用可能性に関する研究
渡辺俊	建築工学一般 情報システム工学 CAD, CAM 都市計画	ポスト定住化社会における時空を超えたアクティビティの流動化実態に関する実証的研究，拡張現実技術を利用した実空間景観シミュレーションシステムの開発，東アジアの伝統的都市の再開発手法に関する研究，地理情報システムに関する研究，建築CADシステムに関する研究
渡邊直樹		

講師

氏名	専門分野	研究テーマ
有馬澄佳	生産工学一般	QCDモデルに基づく装置および生産ラインの設計・運用方法
石川竜一郎	経済理論	社会構造の認識の形成とその変遷，情報の社会的価値，家計内在配分に出産が与える影響
上市秀雄		犯罪不安に関する認知・感情プロセスのモデル化とその応用，慢性ストレスがヒトの生理心理状態に与える影響とその対処法，意思決定における後悔の時間的変化と回復方法，進路意思決定における認知・感情過程のモデル化，逸脱行動が生起するプロセスと矯正方法に関する研究，環境ホルモンのリスク認知プロセス
梅本 通孝		
奥島真一郎	経済政策（含経済事情） 環境保全	モラルモチベーションと環境政策
桑原史郎	経済成長理論 経済政策	
近藤文代		日次POSデータの価格反応モデル分析
藤井さやか	都市計画 土地利用 住居地域計画，住宅問題 社会システム工学	計画的住宅地の持続可能性に関する研究，ICTを活用したまちづくり・地域活性化に関する研究，市民・事業者による多様な都市計画提案を活用した持続可能な空間形成手法に関する研究，地区まちづくりルールの活用と運用実態に関する研究，住民組織による居住環境管理の実態と支援方策に関する研究，居住環境保全と市民社会に関する国際比較研究，良質な土地ストックの維持・形成に向けた土地利用マネジメント方策に関する研究，T市中心市街地再整備の方向性に関する調査研究
村上暁信	緑地計画学 都市環境計画	ランドスケープ計画，都市と農村の一体的整備手法，緑地の環境保全機能，都市化と環境変化，気候風土と景観

助教

氏名	専門分野	研究テーマ
根立俊恵		
松原康介	都市計画	中東・北アフリカ地域の都市保全

Ⅲ. 教員別の教育研究業績

氏 名	秋山 英三	職 名	教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻		専任
	経営・政策科学専攻		専任
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	進化ゲーム理論、エージェント・ベースド・シミュレーション		

1. 教育

◆ 担当授業科目：

学類

社会工学実習／プログラミング実習／進化ゲーム理論／社会工学における戦略的思考

大学院前期課程

応用ゲーム理論

◆ 学類卒業生，博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目

学類卒業生

- ・ 森田 将和「ボランティアのジレンマにおける，参加人数の影響の分析」
- ・ 河又 裕士「少数派ゲームにおけるエラーの生起確率が社会的効率に及ぼす影響」

博士前期課程修了生

- ・ 山田 雄一朗「情報の非対称性が存在する金融市場における企業のリスクタイプとその分布が信用割り当てに与える影響 --- シミュレーションによるアプローチ ---」
- ・ 米納 弘渡「ネットワーク型囚人のジレンマにおける対戦相手の選択---実験研究によるアプローチ ---」

2. 研究

◆ 当該年度の研究活動概要：

- ・ 若手研究（B）「リーダーシップの進化に関する研究：シミュレーション・実験によるアプローチ」（代表）
- ・ 基盤研究（A）「帰納的ゲーム論：信念・知識の起源と進化、その限定性と行動・意志決定との相互関係」（分担）
- ・ 基盤研究（C）「構造変化と合理性の限界」（分担）

◆ 著書・論文等：

- Akiyama, E., “An Evolutionary Route to the Formation of Coordination in the Iterated Leader’s Game with Errors,” *Evolutionary and Institutional Economics Review* **6**(2), 227-244 (2010).
- 山田尚樹, 秋山英三, “あいまいな図形の知覚と脳活動,” *日本知能情報フアジィ学会誌 (知能と情報)* **22**(4), 414-418 (2010).
- 秋山英三 “繰り返しゲームにおけるコーディネーション形態と、社会構造の進化,” *日本ソフトウェア科学会ネットワークが創発する知能研究会 (JWEIN10)講演論文集*, 8 pages (USB メモリ配布), (2010).
- 秋山英三, “指導者ゲームにおける線形順位制の進化,” *The Proceedings of the Joint Agent Workshop (JAWS 2010)*, 8 pages (USB メモリ配布), (2010)

◆ 学会発表等：

- 秋山英三 "繰り返しゲームにおけるコーディネーション形態と、社会構造の進化", 日本ソフトウェア科学会ネットワークが創発する知能研究会 JWEIN10, キャンパス・イノベーションセンター東京, 2010 年 8 月 21 日.
- 花木伸行, 石川竜一郎, 秋山英三 "Learning Games", ゲーム理論ワークショップ 2011, 名古屋大学, 2011 年 3 月 6 日
- 秋山英三 "コーディネーション形態・社会構造の進化にゲームの利得構造が与える影響 ", ゲーム理論ワークショップ 2011, 名古屋大学, 2011 年 3 月 5 日

◆ その他：

3. 学内運営

◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：

◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：

学類 広報委員
大学院 広報委員

筑波大学大学説明会 模擬授業 (2010/7/28)

4. 学外の社会貢献

◆ 学会活動（役員/委員、論文査読等）、学外から委嘱された委員、兼業など.

- ネットワークが創発する知能研究会, 2010 プログラム委員
- The 2010 Workshop on Inductive Game Theory and its Related Topics (University of Tsukuba), Local Committee.

氏 名	浅野 哲	職 名	教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻 専任		
	経営・政策科学専攻 専任		
	人文社会科学部 経済・公共政策マネジメントプログラム 兼担		
担当学類	専 社会工学類	兼	社会学類
研究分野	計量経済学、ミクロ計量経済学		

1. 教育

- ◆ 担当授業科目：
学類 線形代数 II／プログラミング実習／計量経済学
大学院前期課程 計量経済学
- ◆ 学類卒業生、博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目
社会工学類
入矢 浩嗣 ニート問題への計量的アプローチ
新井 康規 リチウムイオン蓄電池原材料の需要・供給関数の推定
社会システム工学
翁 宇 QUARDS を用いた家計の教育支出の要因分析

2. 研究

- ◆ 当該年度の研究活動概要：
科学研究費 (B)「消費税改革の理論・実証分析：効率性と公平性のバランス」(分担)
科学研究費 (C)「家計消費における規模の経済の推定：全国消費実態調査報告の分析」(代表)
- ◆ 著書・論文等：
- ◆ 学会発表等：
日本経済学会 2010 年 9 月 19 日
Estimation of Household Equivalence Scale in Japanese Household Consumption†
Seki Asano and Jie Jing Wang (IBM, Japan)
- ◆ その他：
「ミクロ経済学における消費者理論の計量経済学的分析」経済セミナー
No.659, 41-46

3. 学内運営

- ◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：
- ◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：
社会工学類カリキュラム委員、大学院カリキュラム委員

氏 名	有田 智一	職 名	准教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻 専任 経営・政策科学専攻 専任		
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	産業集積，都市・地域政策，都市計画制度		

1. 教育

◆ 担当授業科目：

学類 現代都市環境論／都市と地域の経営・行政論／都市構造論／都市計画マスタープラン策定実習

大学院前期課程 都市開発プロジェクト・マネジメント／都市・地域経営とまちづくり／国際交流ワークショップⅠ

◆ 学類卒業生，博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目

学類卒業生

紅林新太「浜松市の市街化調整区域における小規模工場を中心とした用途混在に関する研究」

山田翔太「大学キャンパス移転による地域と大学の関係性の変化に関する研究～東洋大学を事例として～」

博士前期課程（社会システム工学専攻）修了生

東貴雄「住民発意によるテーマ型まちづくり提案制度の実態と課題に関する研究」

2. 研究

◆ 当該年度の研究活動概要：

科学研究費補助金 基盤研究 B「用途複合化の進展に対応した新たな建築用途・形態の規制・評価手法に関する研究」、（研究代表者）

科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究「建築許可制導入を中心とした法制度改正を見据えた建築審査会のあり方に関する研究」（研究代表者）

科学研究費補助金 基盤研究 C「協調・契約型都市再生手法に関する日独比較研究」、（研究分担者）

◆ 著書・論文等：

査読付学術雑誌掲載論文

厲基巍・鄧奕・毛其智・有田智一・吉田友彦「日本居住環境整治“不良住宅”の判定標準及拆迁安置」,2010,『北京企劃研究』pp.99-106)

有留健太郎、有田智一、藤井さやか、大村謙二郎、「現行の用途規制制度下に

における用途に起因する紛争の発生要因と対策に関する実態と課題 -用途に係る請願・陳情に着目して-」、都市計画論文集 45-3、2010、pp.709-714.

岡田忠夫、有田智一、大村謙二郎、「都市開発プロジェクトにおける都市計画協議での公共貢献に関する議論について -丸の内地区における都市開発プロジェクトを事例に-」、都市計画論文集 45-3、2010、pp.319-324.

竹鼻紫、大村謙二郎、有田智一、藤井さやか、「伝建地区とその周辺における空き家実態とその利活用可能性に関する研究 -函館市西部地区を対象として-」、都市計画論文集 45-3、2010、pp.25-30.

太田尚孝、大村謙二郎、有田智一、藤井さやか、「再統一後のベルリンにおける都心改造に関する研究 -「都心改造マスタープラン Planwerk Innenstadt」を巡る議論とプロジェクトの実現に注目して-」、都市計画論文集 45-3、2010、pp.109-114.

城間奨、大村謙二郎、有田智一、藤井さやか、「大規模集客施設の立地誘導政策の今後の可能性に関する研究 -首都圏中央連絡自動車道(圏央道)に着目して-」、都市計画論文集 45-3、2010、pp.679-684.

Tomokazu Arita, "An Overview of the Discussions at the Symposium "Metropolitan Peripheries in Japan and Germany", 2010, disP-The Planning Review 181, pp.104-107.

著書（専門書）

Arita, T., and Iguchi, C. and P. McCann, "Foreign Direct Investment, Knowledge Assets and the Economic Geography of Growth in the Asian BRIICS Countries", in Stimson, R., (ed.), 2011, Endogenous Regional Development, Edward Elgar, Cheltenham

解説論文・総説論文など

Li Jiwei, Tomokazu Arita, Tomohiko Yoshida, "Study on Beijing City Village and its Reconstruction Work-comparison with badly-living area in Japan and its Improvement", Proceedings of the 15th Inter-University Seminar on Asian Mega-cities, "City and Waterfront, Urban Development and Residential Environment, Expansion and Renewal", 2010, 3, 12, University of Tokyo

3. 学内運営

- ◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：
理工学群広報委員会委員

- ◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：
 - 社会工学類広報委員会委員長
 - 社会工学類カリキュラム委員
 - 社会工学類図書委員
 - 社会システム・マネジメント等3専攻修士論文委員
 - 社会システム・マネジメント等3専攻広報委員

4. 学外の社会貢献

- ◆ 学会活動（役員/委員論文査読等）
 - 日本建築学会建築法制委員会幹事
 - 日本建築学会建築法制委員会協議調整型ルール検討小委員会幹事
 - 日本建築学会建築法制委員会建築専門家の訴訟参加に関する研究小委員会委員
 - 日本建築学会持続可能な都市住宅地を実現する建築社会システムのあり方特別研究委員会委員
 - 日本建築学会都市計画委員会都市計画・デザイン教育小委員会委員
 - 日本都市計画学会事業委員会委員
 - 都市住宅学会業績賞委員会委員
 - 都市住宅学会・関東支部常議員
 - 論文査読（日本建築学会、日本都市計画学会、Papers in Regional Science, Review of Urban and Regional Development Studies）
- ◆ 学外から委嘱された委員、兼業など.
 - 東京都江戸川区都市計画審議会委員
 - 道路環境影響評価の技術手法改定検討委員会委員（国土交通省国土技術政策総合研究所）
 - 財団法人再開発コーディネーター協会試験講習委員会委員
 - 国土交通省国土技術政策総合研究所技術提案評価審査会委員
 - 国土交通省土地・水資源局土地政策課エリアマネジメント推進検討委員会委員
 - 土浦市中心市街地活性化基本計画委員会委員
 - 土浦市公共事業再評価委員会委員

氏 名	有馬 澄佳	職 名	講師
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻		専任
	経営・政策科学専攻		専任
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	生産システム工学、		

1. 教育

◆ 担当授業科目：

学類

プログラミング実習、生産・品質管理、マネジメント実習、経営工学基礎演習、

問題発見と解決、経営の科学 III

大学院博士前期課程

オペレーション管理

社会システム工学特別演習 I および II, 社会システム工学特別研究

経営・政策科学特別演習 I および II, 経営・政策科学特別研究

社会システム・マネジメント特別演習 I および II（後期）

社会システム・マネジメント特別研究（後期）

◆ 学類卒業生、博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目

学類卒業生

安藤誠悟「半導体製造装置の運用方法の比較」

山崎雄大「バッチ処理ラインにおいて Q-Time 制約を順守するための生産スケジューリング」

岩崎正龍「Q-time 制約割れコストを考慮した状況対応型スケジューリング」

博士前期課程 産休明けのため、該当なし

◆ その他

筑波大学産学連携推進プロジェクト（アントレプレナーシップおよび知的財産に関する教育支援プロジェクト）「日本の未来像に根ざした戦略的な知的財産・情報・人材のマネジメントのための実践的なポストMOT教育」（経営・政策科学専攻、実施代表者）（50 万円/年 ×3 年度(H22-24)）

2. 研究

- ◆ 当該年度の研究活動概要：
科研費 若手 (B)「Q C Dモデルに基づくマルチチャンバ装置および生産ラインの運用・設計方法」(425 万円/2 年, 2009-2011(産休による中断で 1 年延長) (代表)
- ◆ 著書・論文等：
Sumika Arima(2011), Virtual Metrology-based Engineering Chain Management by Multi-classification of Quality using Support Vector Machine for Semiconductor Manufacturing, *International Journal of Industrial and Systems Engineering*, Vol. 8, No.1, pp. 1 – 18.
- ◆ 学会発表等：
- ◆ その他：
特になし

3. 学内運営

- ◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：
システム情報工学研究科 FD 委員
- ◆ 専攻組織の業務への貢献 (委員会等)：
学類：広報委員会
大学院：総務委員会 (委員長), 防災隊、FD 委員会、

4. 学外の社会貢献

- ◆ 学会活動 (役員/委員、論文査読等)、学外から委嘱された委員、兼業など.
社) 電子情報技術産業協会 半導体部会 DFM-PM 委員会 客員
論文査読：電気学会
A E C / A P C symposium Asia プログラム委員会・副委員長

氏 名	生 稲 史 彦	職 名	准教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻 専任 経営システム科学専攻 兼任		
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	製品開発論、技術経営、イノベーション・マネジメント		

1. 教育

◆ 担当授業科目：

学類 マーケティング、マネジメント実習

大学院前期課程 マーケティング、経営戦略

◆ 学類卒業生、博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目

2. 研究

◆ 当該年度の研究活動概要：

科学研究費 若手研究 (B)「アジア圏におけるデジタルデジタルコンテンツ市場の成立可能性」(代表)

◆ 著書・論文等：

「ソフトウェアの開発スタイルの進化—ネットワーク上の公式組織—」『赤門マネジメントレビュー』10 巻 4 号, pp.271-310, 2011 年 6 月. (藤田英樹と共著)

「デジタル化がもたらすコンテンツ業界全体の転換に関する、生産・流通・消費の一貫研究 —消費者の生産活動におけるインターネットの役割—」財団法人電気通信普及財団研究成果報告, 2011 年 6 月. (勝又壮太郎、一小路武安、半澤誠司、和田剛明と共著)

「消費者インサイトの獲得—あるクリエイティブ・エージェンシーの事例—」『赤門マネジメントレビュー(査読付き研究ノート)』10 巻 6 号, pp.441-462, 2011 年 7 月. (水野誠と共著)

「イノベーションの組織論—組織化プロセスとしてのイノベーションの再定義—」, 2010 年 8 月. (査読付きプロシーディング: 藤田英樹と共著)

◆ 学会発表等：

「消費者インサイトをいかに獲得するか—あるクリエイティブ・エージェンシーの取材に基づく考察」商業学会, 2011 年 5 月 29 日. (水野誠と共同発表)

「消費者インサイトをいかに獲得するか—あるクリエイティブ・エージェンシーの取材に基づく考察」JIMS 消費者行動部会, 2011 年 7 月 22 日. (水野誠と共同発表)

「イノベーションの組織論—組織化プロセスとしてのイノベーションの再定義—」一橋大学イノベーション研究センター『IIR サマースクール 2011』, 2011 年 8 月 25 日. (藤田英樹と共同発表)

「IT 化の進行によるマネタイズの可能性」広島大学大学院社会科学研究科地域経済・経営シンポジウム第 11 回『日本のコンテンツ産業を考える—文化産業の構造とそれを生み出す土壌とは何か／ゲーム・アニメ・音楽・IT の事例を通じて』, 2011 年 11 月 5 日.

◆ その他：

3. 学内運営

◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：

◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：

修士論文委員

施設委員

4. 学外の社会貢献

◆ 学会活動

情報通信総合研究所「地域通信市場研究会」委員

東京大学経済学部非常勤講師（情報経営）

文京学院大学経営学部非常勤講師（演習、外国書講読）

氏 名	石井 健一	職 名	准教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻 専任 経営・政策科学専攻 専任		
担当学類	専 社会工学類	兼	比較文化学類
研究分野	消費行動、コミュニケーションの効果		

1. 教育

◆ 担当授業科目：

学類 文化行動論／社会調査・実習／総合演習(比較システム分析)

大学院前期課程 社会市場調査演習

2. 研究

◆ 当該年度の研究活動概要：

科学研究費（B）「日中の相互国家イメージと「国家ブランディング」の可能性—中国と日本での実証研究」（代表）

科学研究費（B）「チャイニーズネスの実証的研究—グローバリズムとの関連から」（分担）

◆ 著書・論文等：

Kenichi Ishii (2011), Examining the Adverse Effects of Mobile Phone Use among Japanese Adolescents. Keio Communication Review 33, 69-83.

◆ 学会発表等：

「「強いつながり」と「弱いつながり」の SNS 一利用と満足の視点からみた 5 つ

のソーシャル・ネットワーキング・サービスの比較—」情報通信学会第 28 回大会

◆ その他：

3. 学内運営

◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：

学生生活支援室室員

◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：

社会システム工学専攻 FD 委員

学類 クラス担任（4 年生）

4. 学外社会貢献

◆ 学会活動（役員/委員、論文査読等）

日中社会学会理事/ 論文査読(Journalism and Mass Communication Review, Journal of Broadcasting & Electronic Media, Behaviour and Information Technology, 日中社会学会、情報通信学会)

氏 名	石川 竜一郎	職 名	講師
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻		専任
	経営・政策科学専攻		専任
担当学類	専 社会工学類	兼	なし
研究分野	ゲーム理論、情報の経済学		

1. 教育

◆ 担当授業科目：

学類 微積分Ⅰ／情報リテラシー演習／情報経済学／経済学入門Ⅱ
社会工学における戦略的思考

大学院前期課程 ミクロエコノミクス

◆ 学類卒業生、博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目（多い場合は別表に）

修士：

上坪宏史 安定マッチングへの分権的プロセスと知識の役割

学類生：

今井礼華 都市と郊外における女子大生のファッションに対する意識の相違

梅澤享央 音楽著作物の市場形成における複数音楽著作権管理団体の役割

三井翔太 $2 \times CO_2$ シナリオの損害費用分析
～統計的生命価値の均等化の下で～

2. 研究

◆ 当該年度の研究活動概要：

科学研究費 若手研究(B)「不確実性下の市場取引と帰納的ゲーム理論：経験と認識の役割」（代表）

科学研究費 基盤研究(A)「帰納的ゲーム理論：信念・知識の起源と進化、その限定性と意思決定・行動との相互関連」（分担）

◆ 著書・論文等：

Kudoh, N. and R. Ishikawa “Beauty contests and asset prices under asymmetric information,” Hokkaido University, Graduate School of Economics and Business Administration Discussion Paper, Series A, No. 218, 2010.

◆ 学会発表等：

環境経済・政策学会, 名古屋大学, 2010 年 9 月 11 日～12 日

日本経済学会, 関西学院大学, 2010 年 9 月 18 日～19 日

法政大学経済学研究科セミナー, 2010 年 10 月 23 日

国際開発学会, 早稲田大学, 2010 年 12 月 4 日～5 日

◆ その他： 特になし

3. 学内運営

◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：

理工学群数学リメディアルの講義を担当。

◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：

学類：リメディアル実施委員長、クラス担任(2 年生)

SSE： カリキュラム委員会

4. 学外の社会貢献

◆ 特になし

氏 名	石田東生	職 名	教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻 専任 経営・政策科学専攻 専任		
担当学類	専 国際総合学類	兼	社会工学類
研究分野	交通政策、国土・都市計画、社会資本整備論		

1. 教育

- ◆ 担当授業科目：

教育イニシャティブ機構 グローバル時代のトップランナー I・II・III
 国際総合学類 交通政策論
 大学院前期課程 社会資本ストック管理政策
- ◆ 学類卒業生、博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目

【学類】加藤務：プローブカーデータと路側観測データを用いた旅行時間信頼性の推定に関する基礎的研究
 【博士前期】今井唯：観光地における多様な主体の地域愛着に関する研究～ニセコ・倶知安地域を事例として～

2. 研究

- ◆ 当該年度の研究活動概要：

受託研究費 「複合データによる道路サービス・パフォーマンス情報システムの研究開発」（代表）
- ◆ 著書・論文等：

・柳田稯，谷口綾子，石田東生：公共交通機関のこども連れ利用における心理的バリアの軽減を目的とした説得的コミュニケーションによる態度変容効果分析，土木計画学研究・講演集(CD-ROM) Vol.41, 2010.

・岡部翔太，谷口綾子，藤井聡，石田東生：社会的価値と高速道路料金大幅引き下げ政策の賛否意識の関連分析，土木計画学研究・講演集(CD-ROM) Vol.41, 2010.

・Marie KAWADA, Naohisa OKAMOTO, Haruo ISHIDA and Morito TSUTSUMI：Effects of Tsukuba Express Project on the Residents' Travel Behavior,
 Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies, Vol. 8,

・石田東生：高速道路の国家ビジョンと無料化、土木学会誌 Vol.95
- ◆ 学会発表等：

・「環境・エネルギーにやさしい自動車・交通システムの将来像」

交通安全環境研究所 フォーラム 2011

・「Integrated Land Use and Transportation Planning」

International Conference on Green Urbanism 2011

◆ その他：

3. 学内運営

◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：

学長補佐、教育企画室長

◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：

4. 学外の社会貢献

◆ 学会活動

日本モビリティ会議代表理事、EASTS-JAPAN 会長、日本道路協会理事、

◆ 社会貢献.

国土交通省 社会資本整備審議会臨時委員、道路 PPP 研究会 会長、

道路交通センサスあり方委員会 委員長、

官庁営繕部評価手法研究委員会 委員

鳥取自動車道の有効活用に関する検討委員会 委員

東京都市圏交通調査研究会 委員

内閣府 環境モデル都市評価アドバイザーグループ委員、

環境未来都市評価・調査検討会 委員

茨城県 総合計画審議会 委員

茨城県事業認定審議会 委員

茨城県公共交通活性化指針策定委員会 委員

つくば市 つくば市環境都市推進委員会 委員

石岡市 かしてつ沿線地域公共交通戦略会議 委員

千葉県 成田空港地域共生・共栄会議 会長

氏 名	糸井川 栄一	職 名	教授
専攻（博士後期課程）	リスク工学専攻 社会システム・マネジメント専攻	専任 兼担	
専攻（博士前期課程）	リスク工学専攻 社会システム工学専攻 経営・政策科学専攻	専任 兼担 兼担	
担当学類	専 社会工学類	兼	なし
研究分野	都市リスク管理、地域安全計画		

1. 教育

- ◆ 担当授業科目：

学類 微積分 II／都市計画実習／都市防災計画／暮らしのリスクと安心・安全な社会形成／都市計画事例講義および演習

大学院前期課程 都市リスク管理特論／都市リスク分析演習
- ◆ 学類卒業生、博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目

社会工学類 林 恵子 豪雨による地下駅浸水時の避難安全性評価

リスク工学専攻 都野井剛 不完全情報化における介護保健施設の非常時避難誘導に関する研究

リスク工学専攻 塚崎大貴 震災後における町工場の経営継続の判断要因に関する研究 -東京都大田区の住工混在地域の事例-

リスク工学専攻 富塚伸一郎 ヘリコプター空中散水による市街地火災時の延焼遅延効果に関する研究

2. 研究

- ◆ 当該年度の研究活動概要：

科学研究費補助金 基盤研究(C) 「地震火災時の人的被害を考慮した消防運用戦略に関する数理的研究」（代表）
- ◆ 著書・論文等：

(1)伊藤文也・糸井川栄一・梅本通孝(2010)：「局所的環境特性から見た犯罪発生要因に関する研究－板橋区におけるひったくり犯罪を対象として」，地域安全学会論文集，地域安全学会，No.13，pp.109-118

(2)木村雄介・糸井川栄一・梅本通孝(2010)：「地震火災による広域避難時被災リスクから見た市街の火災安全水準に関する研究」，地域安全学会論文集，地域安全学会，No.13，pp.119-129

(3)吉森和城・糸井川栄一・梅本通孝(2011)：「超高層集合住宅における災害対

応力に関する研究—平常時防災行動の影響要因の検討—」, 地域安全学会論文集, 地域安全学会, No.14, CD-ROM

◆ 学会発表等 :

(1) Eiichi ITOIGAWA(2011), STRATEGIC FIREFIGHTING OPERATION TO MITIGATE FIRE DAMAGE RISK IN A NEAR-FIELD EARTHQUAKE IN THE METROPOLIS OF TOKYO –ANALYSIS OF THE RELATIONSHIP BETWEEN THE TIMING OF THE SWITCH TO FIREFIGHTING OPERATION AND DAMAGE REDUCTION–, 8th International Conference on Urban Earthquake Engineering, Tokyo Institute of Technology, CD-ROM pp.1647-1654

◆ その他 :

なし

3. 学内運営

◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献 :

システム情報工学研究科リスク工学専攻長

システム情報工学研究科運営委員会委員

システム情報工学研究科人事委員会委員

◆ 専攻組織の業務への貢献 (委員会等) :

社会工学類 コンピュータ委員会委員

リスク工学専攻 GP 達成度評価実施委員会委員長/GP アクション委員会委員

長大塚キャンパス対策委員会委員

4. 学外の社会貢献

◆ 学会活動 (役員/委員、論文査読等)、学外から委嘱された委員、兼業など.

(1) 日本都市計画学会 理事/学会賞審査委員会委員/四川大地震復旧・復興支援特別委員会委員

(2) 地域安全学会 理事/研究運営委員会委員長

(3) 日本建築学会 防火本委員会委員/地震火災総合対策小委員会委員・幹事/都市防災マネジメント小委員会委員・幹事

(4) 国土交通省 「引火性溶剤を用いるクリーニング工場に関する SWG」委員 (2010)

(5) 東京消防庁 第 19 期火災予防審議会 委員 (2009~)

(6) 東京都都市整備局 「東京都地域危険度測定調査委員会」委員(2010)/「避難場所調査検討委員会」委員(2010)

- (7)独立行政法人建築研究所 客員研究員（2008～）／「建築物の火災安全性
能のあり方に関する検討委員会」委員(2010)
- (8)国土技術研究センター 「都市防火区画の基準に関する検討会」委員(2010)
- (9)財団法人 東京防災指導協会 調査研究専門委員（2004～）
- (10)株式会社パスコ 「地域別延焼危険度の改良に関する調査研究委員会」委
員(2010)
- (11)株式会社三菱総合研究所 「地域別出火危険度（第8回）に関する調査研
究委員会」委員(2010)

氏 名	上市 秀雄	職 名	講師
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻		専任
	経営・政策科学専攻		専任
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	意思決定論，認知心理学		

1. 教育

- ◆ 担当授業科目：

学類 経済行動論／社会経済システム情報実習／社会工学における戦略的思考：理論，実験，および演習／フレッシュマンセミナー

大学院前期課程 消費者心理分析
- ◆ 学類卒業生，博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目

22 年度学類卒業生

高橋みどり スキンケア・化粧行動に影響を及ぼす諸要因の男女差について

2. 研究

- ◆ 当該年度の研究活動概要：

科学研究費補助金基盤研究（A）「患者の満足とスタッフの適正労働を実現する地域基幹病院の医療サービス科学」（研究分担者）

科学研究費補助金基盤研究（C）「慢性ストレスがヒトの生理心理状態に与える影響とその対処法」（研究分担者）
- ◆ 著書・論文等：

Ueichi, H., Kuriyama, N., Saito, T., & Kusumi, T. (in press). Effects of the Deliberate Decision-making Style on Career Decision-making Processes and Coping with Regret after High School, *Psychologia*.

上市秀雄（2011）. 裁判員制度と心理学（10 章） 小俣謙二，島田貴仁（編著）「犯罪と市民の心理学：犯罪リスクに社会はどうかかわるか」北大路書房，pp. 214-231.
- ◆ 学会発表等：

上市秀雄（2011）. 後悔予期尺度作成の試み. 日本心理学会第 75 回大会発表論文集，859.

その他：

3. 学内運営

- ◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：
- ◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：

学類 クラス担任（1 年生），学類就職委員，

学類新入生オリエンテーション委員

4. 学外の社会貢献

- ◆ 学会活動（役員/委員、論文査読等）、学外から委嘱された委員、兼業など.
社会心理学研究，日本リスク研究学会誌論文査読

氏 名	梅本 通孝	職 名	講師
専攻（博士後期課程）	リスク工学専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	リスク工学専攻 専任		
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	都市リスク管理，原子力災害対策		

1. 教育

◆ 担当授業科目：

学類 社会工学実習／都市計画事例講義および実習／都市地域経済学演習／都市防災計画／暮らしのリスクと安心・安全な社会形成
大学院前期課程 都市リスクコミュニケーション／都市リスク分析演習／リスクマネジメント序論

◆ 学類卒業生，博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目

【学類卒業生】

竹崎敦：居住年数を考慮した犯罪リスク認知分析

東川聡志：都道府県原子力防災計画の比較分析

八木下沙織：住民の防火意識と住宅用火災警報器の設置促進に関する研究

【博士前期修了生】

【博士後期修了生】

2. 研究

◆ 当該年度の研究活動概要：

科学研究費 若手研究（B）「原子力災害や国民保護対策による県域間避難の効率的実施方策に関する研究」（代表）

◆ 著書・論文等：

吉森和城，糸井川栄一，梅本通孝：超高層集合住宅における災害対応力に関する研究—平常時防災行動の影響要因の検討—，地域安全学会論文集，No.14，pp.111-121，2011.

伊藤文也，糸井川栄一，梅本通孝：局所的環境特性から見た犯罪発生要因に関する研究—板橋区におけるひったくり犯罪を対象として—，地域安全学会論文集，No.13，pp.109-118，2010.

木村雄介，糸井川栄一，梅本通孝：地震火災による広域避難時被災リスクから見た市街地の火災安全水準に関する研究，地域安全学会論文集，No.13，pp.119-129，2010.

梅本通孝：なぜ「防災ブームはやってこないのか？」，自然災害科学，Vol.29，No.3，pp.319-320，353-354，2010.

梅本通孝：国民保護対策における県域間避難に関する都道府県の準備・検討の現状，地域安全学会梗概集，No.27，pp.63-66，2010.

◆ 学会発表等：

◆ その他：

3. 学内運営

◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：

教育社会連携推進室員

◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：

リスク工学専攻 G P 達成度評価実施委員，広報委員，総務委員，施設委員
学類 学生委員，コンピュータ委員，卒業生連絡委員

4. 学外の社会貢献

◆ 学会活動（役員/委員、論文査読等）、学外から委嘱された委員、兼業など.

日本自然災害学会編集委員，茨城県稲敷市都市計画審議会長

氏 名	江口 匡太	職 名	准教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 人文社会科学研究科 経済学専攻	専任 兼担	
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻 経営・政策科学専攻 人文社会科学研究科 経済学専攻	専任 専任 兼担	
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	労働経済学		

1. 教育

- ◆ 担当授業科目：
 - 学類 経済原論／労働経済学／公共システム演習
 - 大学院前期課程 人的資源管理論
- ◆ 学類卒業生、博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目
 - 学類 平川高睦「飲酒運転に関する規制強化の有効性と運転者の意識の変化」
 - 宮本裕也 「銀行業界の役員報酬の決定要因」

2. 研究

- ◆ 当該年度の研究活動概要：
 - 科学研究費 基盤研究（B）「市場経済と法制度の相互関係に基づく雇用法制の研究：解雇法制を中心に」（代表）
- ◆ 著書・論文等：
 - Kyota Eguchi (2010) "Minimum Wages and Trainers' Dilemma," *Labour*, Vol. 24, Issue 2, pages 128–138 (査読有).
- ◆ 学会発表等：
 - ・"EPL Enhances Cooperative Employment Relationships" 法の経済分析ワークショップ、2010年12月26日、学習院大学
 - ・"EPL Enhances Cooperative Employment Relationships" 契約理論研究会（CTW）、2010年11月20日、関西学院大学
 - ・"Employment Protection and Incentives: Severance Pay vs. Inconvenience Procedure" 応用経済学会、2010年11月14日、高崎経済大学
- ◆ その他：
 - ・江口匡太（2011）「ワークアイ：日本型雇用システムの今後の展望」 生産性新聞 2011年2月15日発行 2322号
 - ・江口匡太（2011）書評:新井紀子著「コンピュータが仕事を奪う」（日本経済新聞社） 週刊東洋経済 2011年2月19日号
 - ・江口匡太（2010）書評:佐藤博樹ほか編著「結婚の壁」（勁草書房） 週刊東

洋経済 2010 年 12 月 18 日号

・江口匡太 (2010) 書評:安田洋祐編著「学校選択制のデザイン：ゲーム理論
アプローチ」(NTT 出版) 週刊東洋経済 2010 年 5 月 15 日号

3. 学内運営

- ◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：
- ◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：
 - 学類 クラス担任（3 年生）
 - 卒業生連絡委員
 - 学生委員
 - SSM 図書委員長

4. 学外の社会貢献

- ◆ なし

氏 名	大久保 正勝	職 名	准教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻		専任
	経営・政策科学専攻		専任
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	マクロ経済学、計量経済学		

1. 教育

- ◆ 担当授業科目：
 - 学類 情報リテラシー演習／マクロ経済学／マクロ計量分析
 - 大学院前期課程 マクロエコノミックス／マクロ経済学
- ◆ 学類卒業生、博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目

2. 研究

- ◆ 当該年度の研究活動概要：
 - 科学研究費 若手研究（B）「個票データによる労働所得変動の推定」（研究代表者）
- ◆ 著書・論文等：
 - Tatsuyoshi Miyakoshi, Masakatsu Okubo, and Junji Shimada (2011), Dynamic Welfare Cost of Stagnation: An Alternative Measure to the Lucas-Obstfeld Model. *Pacific Economic Review*, Vol.16, Issue 2, pp.168-191.
 - Masakatsu Okubo (2011), The Intertemporal Elasticity of Substitution: An Analysis Based on Japanese Data. *Economica*, Vol.78, Issue 310, pp.376-390.
- ◆ 学会発表等：
- ◆ その他：
 - 筑波大学大学院システム情報工学研究科 教育貢献賞

3. 学内運営

- ◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：
- ◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：
 - 学類 クラス担任（4年生）、就職委員
 - SSM 大学院3専攻運営委員、就職委員

4. 学外の社会貢献

- ◆ 学会活動（役員/委員、論文査読等）、学外から委嘱された委員、兼業など。
 - サービスカイゼン研修コース講師
 - 論文査読：*International Economic Review*, 日本経済研究

氏 名	大澤義明	職 名	教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻		専任
	経営政策科学 専攻		専任
	環境科学専攻		兼任
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	都市計画，地域科学，社会工学		

1. 教育

◆ 担当授業科目：

微積分 I，都市解析，都市構造論，都市計画マスタープラン策定実習，都市計画事例交互および実習，つくばの景観を考える（社会工学類）

都市・地域・環境を探る II（総合科目）

都市計画における課題と方法，都市地域解析学（社会システム工学，経営政策科学）

立地計画論（環境科学）

◆ 学類卒業生，博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目（多い場合は別表に）

高森賢司（社会工学類），矢田晃一（社会工学類），飯田マリ（社会工学類）

松丸仁（社会システム工学），大山浩（環境科学），鈴木信好（環境科学）

2. 研究

◆ 当該年度の研究活動概要：

1) 科学研究費基盤 B, 「縮小時代における公共施設整備見直し政策の理論化」.
(代表者)

2) 筑波大学革新的研究等支援プログラム, 「学生協働・地場連携による筑波大学キャンパス・リノベーションーグリーン・イノベーションとライフ・イノベーションの融合ー」.(代表者)

3) 平成 22 年度財団法人日本建設情報総合センター研究助成, 「道路景観の歴史的再現による快適性の追求ー道路地図データによる山アテ道路の発掘ー」.(代表者)

◆ 著書・論文等：

1) 菴木嶺，大澤義明(2010)：都市内道路における日向経路と日陰経路，都市計画論文集，45，pp. 595-600.

2) 田代泰史，大澤義明(2010)：水面に映り込む倒景に関する解析研究，都市計画論文集，45，pp. 601-606.

3) 古藤浩，小林隆史，大澤義明(2010)：地域視点と全体視点での高速道路計画の効用，都市計画論文集，45，pp. 625-630.

4) 大澤義明, 今佐和子, 山倉克俊, 小林隆史 (2010): 地方分権時代の自治体間土地利用競争モデルー地理条件や市町村合併に着目してー. 応用地域学研究, 15, pp. 47-56.

◆ 学会発表等

- 1) 地方分権時代の自治体間土地利用規制競争モデル. 第 162 回住宅経済研究会, (東京).
- 2) Worst-case bounds of myopic facility location . 平成 22 年度京都大学都市経済学ワークショップ.
- 3) けちけち算法の効率性評価. 都市のORサマーセミナー, (つくば).
- 4) Mobile customers and commodity tax competition. The 1st Asian Seminar in Regional Science, (Beijing, China).
- 5) 縮小時代の公共施設配置 . 第 64 回オペレーションズリサーチ学会シンポジウム, (福島).
- 6) Worst-case bounds of myopic location methods for submodular function maximization, The 57th Annual North American Meetings of the Regional Science Association International, (Denver, USA).
- 7) Worst-Case Bounds of Myopic Location Methods for Submodular Function Maximization, 第 24 回応用地域学会研究発表大会, (名古屋).
- 8) Optimality Gap of Myopic Location Method. Core-Ecore Mathematical Programming Seminar, (Louvain-la-Neuve, Belgium)

3. 学内運営

◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献:

学長補佐, 教育社会連携推進室長

◆ 専攻組織の業務への貢献 (委員会等):

学類: 運営幹事, 学生委員, 卒業記念論文集編集委員会, クラス担任

専攻: 予算委員長

4. 学外の社会貢献

◆ 学会活動 (役員/委員、論文査読等)、学外から委嘱された委員、兼業など.

日本オペレーションズリサーチ学会・研究普及委員, 応用地域学会・編集委員, 石油製品供給不安定地域におけるリスク評価分析等に関する研究会・委員, 茨城県環境影響評価審査会・委員, 茨城県リサイクル製品認定審査会・会長, 土浦市中心市街地活性化基本計画策定委員会・委員長, つくば市ホテル等建設審議会・会長, 石岡市都市計画審議会・副会長, 石岡市景観計画検討委員会・委員長, 石岡市都市再生整備計画事業評価・委員, 常総市補助金等検討委員会・委員長, 取手市西口地区まちづくり企画提案公募選定委員会・委員長, 守谷市国土交通省所管公共事業再評価委員会・委員長, 守谷市都市計画審議会・副会

長，牛久市都市計画審議会・委員，第 24 回茨城県水際線シンポジウム・コーディネイター，第 20 回全国産業教育フェア茨城大会に係わる意見体験発表・審査委員，茨城県立土浦第一高等学校評議員，平成 22 年度サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト・講座型学習活動・実施担当者，数理モデルによる地域チェンジャー茨城県 6 高校交流による地域課題解決提案—

氏 名	太田 充	職 名	准教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任 持続環境学専攻 兼担		
専攻（博士前期課程）	経営・政策科学専攻 専任 社会システム工学専攻 兼担		
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	都市計画、都市経済学、地域科学		

1. 教育

- ◆ 担当授業科目：
学類 空間と交通の経済学／地域と地域間の経済学／都市地域経済学演習／プログラミング実習／都市構造論／社会基盤と情報ロジスティクス産業／社会工学における戦略的思考：理論、実験、および演習／
大学院前期課程 地域科学
- ◆ 学類卒業生、博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目（多い場合は別表に）
博士前期 橋本基 「災害リスク指標が地価形成に与える影響の考察:東京 23 区の水害リスクを事例として」

2. 研究

- ◆ 当該年度の研究活動概要：
科学研究費 基盤研究 (C)「海外における中間財生産による国内都市空間構造の変化に関する研究」（代表）
- ◆ 著書・論文等：
なし
- ◆ 学会発表等：
「同一都市内に中間財供給企業がある場合の均衡付け値地代分析」応用地域学会(ARSC)第 24 回研究発表大会プログラム 2010/12/05 名古屋大学
「2 種類の企業による都市の均衡形状に関する研究 Equilibrium configurations of the city with the two kinds of firms」日本地域学会第 47 回 (2010 年)年次大会 2010/10/10 政策大学院大学
- ◆ その他：

3. 学内運営

- ◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：
- ◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：
研究科研究倫理委員会専門委員会委員長

4. 学外社会貢献

- ◆ 学会活動（論文査読等） 日本都市計画学会

氏 名	大貫 裕二	職 名	准教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻		専任
	経営・政策科学専攻		専任
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	経済統計		

1. 教育

◆ 担当授業科目：

学類 日本経済論／東京の都市学／少子・高齢化社会における社会経済システム

大学院前期課程 地方行財政論／行政と政策決定

◆ 学類卒業生，博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目

学類卒業生

海老原 大地

「年齢階級別人口一人当たり国民医療費による千葉県の市町村別医療費の将来推計」

広岡 大佑

「経営戦略としての企業の食育活動」

江幡 優

「家計調査の自動車購入額の調査方法の改善に関する研究」

石川 由寛

「平成 21 年全国消費実態調査の家計支出の都道府県別集計結果による分析」

瀧田 貴史

「家計消費状況調査速報の回答世帯の偏りがもたらす確報結果との差異に関するシミュレーション」

椎名 太平

「性比不均衡がもたらす男女の未婚率への影響に関するシミュレーション分析」

白川 裕子

「消費者物価指数に灯油消費の季節変動を反映させた新たな指数の検討」

箱守 克昭

「家計調査と家計消費状況調査の分散の情報をを用いることによる家計消費指数の算出方法の改善に関する研究」

河野友紀子

「地域における環境・経済統合勘定～千葉県の場合～」

博士前期課程修了生（経営政策科学専攻）

李 若洵

「日本に進出するアジア企業への提言及び政府の受入施策
台湾の ICT 産業の日本市場進出におけるブランド戦略の構築」

帰 斌

「日本に進出するアジア企業への提言及び政府の受入施策
中国企業の日本進出における現地化問題とグローバル人材マネジメント」

周 雯

「日本に進出するアジア企業への提言及び政府の受入施策
中国企業の日本進出における電子商取引ビジネスサービス戦略への提言」

森谷 篤史

「日本に進出するアジア企業への提言及び政府の受入施策
過去の欧米企業の日本進出事例から導き出されるアジア企業への提言」

関本 文夫

「日本に進出するアジア企業への提言及び政府の受入施策
国の対日投資受入政策」

白地 健太郎

「日本に進出するアジア企業への提言及び政府の受入施策
地方自治体の対日投資政策」

倉持 孝弘

「日本に進出するアジア企業への提言及び政府の受入施策
茨城県における東アジア旅行会社への誘客促進活動」
博士前期課程修了生（社会システム工学専攻）

猪瀬 真宏

「新卒時の非正規雇用就業から正規雇用へ移行する際に有利な条件となる特性に関する研究 - 女性を対象とした消費生活に関するパネルデータを利用して - 」

林 曦

「構造的VARモデルによる韓国経済のマクロ計量分析—不良債権と金融政策の実体経済への影響—」

2. 研究

◆ 当該年度の研究活動概要：

◆ 著書・論文等：

- ・ 出口弘、榊俊吾、大貫裕二「電子スキャニング統計の構想とそのアーキテクチャデザイン」社会・経済システム第31号,pp. 115-120

◆ 学会発表等：

- ・ 大貫裕二、榊俊吾、出口弘「国民経済計算（SNA）推計システムのマイクロ・

モジュールによるリノベーション」社会・経済システム学会第 29 回大会報告
要旨集 pp.67-70

・ 榊俊吾、出口弘、大貫裕二「トランザクションベースエコノミクス
構想について - アクティビティベースの企業活動から国民経済活動の計測
まで - 」社会・経済システム学会第 29 回大会報告要旨集 pp.63-66

3. 学内運営

- ◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：
スポーツ・デー委員
- ◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：
修士論文委員

4. 学外の社会貢献

氏 名	岡田 幸彦	職 名	准教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻		専任
	経営・政策科学専攻		専任
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	会計学、経営学、サービス科学		

1. 教育

◆ 担当授業科目：

学類 会計学概論／マネジメント実習／サービスの産業と組織

大学院前期課程 ビジネスゲーム／財務会計／管理会計／リレーションシップ・バンキング／特定課題研究

◆ 学類卒業生、博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目

・学類 5 人

岡田弘貴「ビジネスゲームを用いた行動分析-予算管理の観点から-」

島 拓也「包括利益の実証研究の現状と課題」

高瀬 章充「地方自治体の財務諸表分析-農林水産業費の変動要因に注目して-」

高宮 摂「水戸信用金庫におけるリレーションシップバンキングの認識と取り組み」

堀 正樹「時間基準 ABC とわが国の原価計算基準との適合性について」

・大学院修士 5 人

池上 祐基「“つくばナース” の患者との関係における社会的スキル分析」

孫 秀麗「“つくばナース” の看護戦略分析」

レアグリ「筑波大学附属病院看護部の育成モデルにいたる歴史」

岩崎 惇「制度的サービスの生成論理に関する研究-わが国外部監査サービスの生成から監査法人の設置に至るまでの文献史的研究から」

清水 麻由美「わが国において病院を経営する医療法人に DPC 制度が与える影響-財務の視点から」

2. 研究

◆ 当該年度の研究活動概要：

・科学研究費 若手研究（B）「実証的研究を中心としたサービス原価企画理論の確立」（代表）

・奨学寄附金「MBA 教育の発展」（代表）

・経済産業省委託事業「大学院生と企業の実務者等が一堂に学ぶサービス進化システムを先導する人材の育成」（分担）

◆ 著書・論文等：

著書

・山本浩二（編著）・岡田幸彦・小沢浩・片岡洋人・窪田祐一・中村博之・西居豪・旗本智之・挽文子・藤野雅史(2010)『原価計算の導入と発展』森山書店。

論文

・高木英明・岡田幸彦・吉瀬章子・繁野麻衣子(2010)「顧客志向ビジネス・イノベーションのためのサービス科学に基づく高度専門職業人育成プログラムの開発」『人工知能学会誌』第 25 巻第 5 号、726-734 頁。

・Takagi, H., Y. Okada and A. Yoshise(2010), Joint Human Resource Development for Local Service Industries and Graduate Students, 19th Frontiers in Service Conference, Proceedings, 10-13 Jun Sweden, pp. 1-2.

・岡田幸彦・河合亜矢子・稲川卓治(2010)「サービス生産性シミュレータの基本概念」『横幹』第 4 巻第 1 号、27-32 頁。

◆ 学会発表等：

（研究発表）河村敏彦・岡田幸彦「サービス品質管理の諸論点：品質管理・品質工学の知見から」サービス・リエンジニアリング調査研究委員会、2011 年 1 月 14 日。

（研究発表）原田賢二・岡田幸彦・竹口哲平・高橋里司・吉瀬章子「ホテルポートプラザちばにおけるサービスカイゼンの挑戦」サービスカイゼン研修コース修了式、2010 年 12 月 3 日。

（オーガナイザ・座長・基調講演）岡田幸彦「イーグルバス社における“運行ダイヤ最適化”の会計学的意義」産学連携サービス・リエンジニアリング講演会、2011 年 11 月 26 日。

（研究発表）後美帆・阪本勇樹・岡田幸彦「PSLX に準拠したオブジェクト指向コストモデルの可能性」第 7 回筑波大学サービス科学フォーラム、2010 年 11 月 8 日。

（研究発表）稲川卓治・岩崎惇・佐藤亨・岡田幸彦「自治体のストック情報は何を教えてくれるのか？」第 7 回筑波大学サービス科学フォーラム、2010 年 11 月 8 日。

（研究発表）荒井耕・岡田幸彦「病院を経営する医療法人における財務状況と財務情報開示の課題」日本会計研究学会第 69 回大会、2010 年 9 月 10 日。

（研究発表）大雄智・中村亮介・岡田幸彦「ポイントプログラム会計のフレームワーク」日本会計研究学会第 69 回大会、2010 年 9 月 10 日。

（研究発表）岡田幸彦・佐藤亨「地方自治体におけるストック情報を利用した財務指標の役割に関する考察」日本会計研究学会第 69 回大会、2010 年 9 月 9 日。

（セッションオーガナイザ・座長）岡田幸彦「セッション B サービス科学」

第3回横幹連合総合シンポジウム、2010年9月6日。

(研究発表) 大雄智・中村亮介・岡田幸彦「ポイントプログラム会計のフレームワーク」横浜国立大学会計研究会、2010年8月7日。

(研究発表) 岡田幸彦・荒井耕・岩崎惇・尻無濱芳崇「わが国病院医療法人の組織形態・事業形態別財務パフォーマンス」第5回管理会計研究会、2010年7月24日。

(研究発表) 岡田幸彦・後美帆「PSLXに準拠したオブジェクト指向コストモデルに関する一考察—直接費領域の予定原価に注目して—」日本原価計算研究学会第36回全国大会、2010年7月3日。

(研究発表) 河合亜矢子・岡田幸彦「生産性シミュレーションを利用したサービスの開発—工学的手法を取り入れたサービス設計論の確立を目指して—」オペレーションズ・マネジメント&ストラテジー学会第2回全国大会、2010年6月19日。

(研究発表) Takagi, H., Y. Okada and A. Yoshise, Joint Human Resource Development for Local Service Industries and Graduate Students, 19th Frontiers in Service Conference, 12/6/2010, Sweden.

(研究発表) 岡田幸彦「Service Target Costing & Productivity Simulator」神戸大学管理会計研究会、2010年5月15日。

◆ その他：

日本会計研究学会学会賞：岡田幸彦(2010)「サービス原価企画への役割期待—わが国サービス分野のための研究教育に求められる新たな知の体研究科の構築に向けて—」『会計』第177巻第1号、63-78頁。

3. 学内運営

◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：

2010年度筑波大学大学院システム情報工学研究科奨励教員
筑波大学体育会準硬式野球部 顧問

◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：

社会工学類 広報委員会委員
大学院 カリキュラム委員会委員

4. 学外の社会貢献

統計数理研究所 客員准教授

日本会計研究学会スタディグループ 構成員

産業経理協会「原価会計講座」 非常勤講師

京都大学大学院 非常勤講師

筑波大学サービスカイゼン研修コース 非常勤講師

横幹連合経営高度化に関わる知の統合調査研究委員会 委員

関東学生空手道連盟 評議委員

横浜国立大学体育会空手道部 コーチ

氏 名	岡本 直久	職 名	准教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻		専任
	経営・政策科学専攻		専任
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	交通、観光、社会資本、プロジェクト評価、港湾		

1. 教育

◆ 担当授業科目：

学類 交通計画／都市計画マスタープラン策定実習／社会基盤と情報・ロジスティックス産業／情報リテラシー演習／都市構造論／東京の都市学／サービスの産業と組織

大学院前期課程 交通計画論／プロジェクト評価演習

◆ 学類卒業生、博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目

卒業論文

澤田敏規：首都圏東武における駅周辺の立地特性の変遷に関する研究

山本園子：フィルムツーリズムが地域に与える影響に関する研究

博士論文

崔 瑛：消費者意識分析にもとづく地域ブランド構築施策に関する研究

栗原剛：需要および来訪者意識を考慮したインバウンド観光政策の研究

2. 研究

◆ 当該年度の研究活動概要：

科学研究費 基盤研究(C)「休日交通の時空間分布推計システムの構築」(代表)

科学研究費 基盤研究(B)「エクメーネ・リサージェンスの新体研究科構築」(分担)

受託研究 「複合データによる道路サービス・パフォーマンス情報システムの研究開発」(分担)

◆ 著書・論文等

査読付論文

- Foreign Visitor's Evaluation on Tourism Environment: Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies, Vol. 8; 共著(Takeshi KURIHARA and Naohisa OKAMOTO), 2010 年 5 月
- A Study on Tourism Promotion Measures from the Viewpoints of Transportation Service and Tourist Preference: Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies, Vol. 8; 共著(Yuriko SATO, Naohisa OKAMOTO and Haruo ISHIDA), 2010 年 5 月

- Effects of Tsukuba Express Project on the Residents' Travel Behavior: Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies, Vol. 8; 共著(Marie KAWADA, Naohisa OKAMOTO, Haruo ISHIDA and Morito TSUTSUMI), 2010 年 5 月
- インバウンド需要に影響を与える政策および外的要因の考察: 論文集土木計画学研究・論文集 Vol.27, No.1, 147 頁～156 頁, 共著(栗原剛, 岡本直久), 2010 年 9 月
- 燃料価格の自動車交通需要への影響分析: 論文集土木計画学研究・論文集 Vol.27, No.3, 561 頁～568 頁, 共著(森昌文, 石田東生, 岡本直久, 毛利雄一), 2010 年 9 月
著書
- 交通社会資本制度: 土木学会; 共著(田村亨、屋井鉄雄、毛利雄一、岡本直久、金子雄一郎), 2010 年 6 月

◆ 学会発表等

- 国内旅行におけるリピーターの行動特性及び醸成要因に関する研究; 土木計画学研究発表会・講演集, Vol.42, CD-ROM 講演番号: 60, 共著(佐藤友理子・岡本直久), 2010 年 11 月
- 客観指標および外国人来訪者の意識でみる旅行環境の整備評価の分析; 土木計画学研究発表会・講演集, Vol.42, CD-ROM 講演番号: 62, 共著(栗原剛・岡本直久), 2010 年 11 月
- 一般化平均概念を取り入れた個人のブランド認知構造把握; 土木計画学研究発表会・講演集, Vol.42, CD-ROM 講演番号: P42, 共著(崔瑛・岡本直久), 2010 年 11 月

3. 学内運営

- ◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献:
つくばエコシティ推進グループ委員
- ◆ 専攻組織の業務への貢献(委員会等):
社会システム・マネジメント専攻 運営委員、博士論文委員

4. 学外の社会貢献

- ◆ 筑協「3E フォーラム」委員会「都市構造・交通システム」タスクフォース委員: 筑波研究学園都市交流協議会: 委員
- ◆ 茨城県公共事業再評価委員会委員: 茨城県: 委員

- ◆ 京浜港物流高度化推進協議会 委員：財団法人 港湾空間高度化環境研究センター：委員
- ◆ コンテナターミナルの運営効率化研究会：財団法人 港湾空間高度化環境研究センター：委員長
- ◆ 港湾事業評価手法に関する研究委員会：財団法人 港湾空間高度化環境研究センター：委員および分科会長
- ◆ 土浦市公共交通活性化協議会会長：土浦市：会長
- ◆ 水戸都市圏渋滞対策プロジェクト委員会委員長：国土交通省関東地方整備局 常陸河川国道事務所：委員長
- ◆ 次期交通センサスに関する検討会：国土交通省 道路局：委員
- ◆ 千葉県における道路整備効果検討委員会：国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所：委員
- ◆ 取手市都市計画審議会委員：取手市：委員
- ◆ 茨城県移動性・安全性向上委員会委員長：国土交通省関東地方整備局 常陸河川国道事務所：委員長
- ◆ Eastern Asia Society for Transportation Studies：事務局幹事
- ◆ 日本都市計画学会：学術委員
- ◆ 日本交通学会：編集委員

氏 名	奥島 真一郎	職 名	講師
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻		専任
	経営・政策科学専攻		専任
担当学類	専 国際総合学類	兼	社会工学類
研究分野	環境経済学、政策分析		

1. 教育

◆ 担当授業科目：

学類 環境政策論（国際総合学類開講社会工学類共通）/環境科学とリスクマネジメント（国際総合学類開講社会工学類共通）/国際学ゼミナールⅠ（国際総合学類）/独立論文（国際総合学類）/国際学ゼミナールⅡ（国際総合学類）/卒業論文（国際総合学類）/都市計画実習（社会工学類開講国際総合学類共通）

大学院 環境政策（社会システム工学専攻、経営政策科学専攻共通）

◆ 学類卒業生、博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目：

大沼ちひろ「急進化する環境運動と組織の変遷—日本の新左翼運動との比較考察—」

福重翠「産業連関表を用いたエコロジカル・フットプリントに関する考察」

八代侑輝「東アフリカにおける持続可能な森林管理—社会経済的課題とその展望—」

佐藤有里子「地域におけるバイオマス資源の利用～茨城県を例に～」

内藤彩「排出権取引制度の経済分析～つくば市を例に～」

横田更紗「日本のローカルエリアにおける自然エネルギーの可能性～ドイツとデンマークの事例から～」

2010 年度教育貢献賞（国際総合学類）

2. 研究

◆ 当該年度の研究活動概要：

科学研究費補助金（若手研究（B））（代表）

◆ 著書・論文等：

「公共的活動におけるモラル・モチベーション」（共著）『経済研究』、Vol. 62、No. 1、2011 年 1 月、pp. 1-19.

“What Causes the Change in Energy Demand in the Economy? The Role of Technological Change”（共著） *Energy Economics*, 32(S1), September 2010, pp. 41-46.

3. 学内運営

- ◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：
システム情報工学研究科情報環境委員
社会・国際学群広報・ネットワーク担当委員

- ◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：
大学院F D委員
国際総合学類コンピュータ委員（委員長）
国際総合学類広報委員
国際総合学類eラーニング委員
国際総合学類3年クラス担任
2010年度システム情報工学研究科奨励教員

4. 学外の社会貢献

- 一橋大学経済研究所非常勤研究員
経済産業省「産業技術人材育成支援事業」「サービスカイゼン研修コース」講師

氏 名	大村 謙二郎	職 名	教授
専攻（博士後期課程）	専任		
専攻（博士前期課程）	専任		
担当学類	専		兼
研究分野			

1. 教育

- ◆ 担当授業科目：
- ◆ 学類卒業生，博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目

2. 研究

- ◆ 当該年度の研究活動概要：
- ◆ 著書・論文等：
- ◆ 学会発表等：
- ◆ その他：

3. 学内運営

- ◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：
- ◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：

学外の社会貢献

氏 名	小場瀬 令二	職 名	教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 持続環境学専攻	専任 兼任	
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻 経営・政策科学専攻 環境科学専攻 世界遺産専攻	専任 専任 兼任 兼任	
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	居住環境学、都市・建築デザイン学		

1. 教育

◆ 担当授業科目：

学類 社会工学実習／アミニティ創造のまちづくり実習
大学院前期課程 景観計画学

◆ 学類卒業生，博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目（多い場合は別表に）

細谷 脩太郎(修論) Shared Space の研究
佐野 誠 (修論) 戦後建築ジャーナルにみられる建築家の社会性に関する研究
北野竜太(卒論) スプロール市街地における低未利用地化の実態

2. 研究

◆ 当該年度の研究活動概要：

科学研究費 基盤研究 (C) 「200年住宅地を目指した街づくりシステムの研究」(代表)
基盤研究 (C) 「標識撤去による美的で安全な交通環境「Shared Space」に関する研究」(分担)

◆ 著書・論文等：

超高層マンションにおける眺望景観が開発者の価格評価に及ぼす影響／沼田 麻美子，小場瀬 令二／日本建築学会計画研究科論文集 第 75 巻 第 652 号，1499-1506，2010 年 6 月

◆ 学会発表等：

その他：受賞：

建築学会関東支部主催「美しくまちをつくるむらをつくる」設計競技で優秀賞

3. 学内運営

◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：なし

- ◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：

環境科学専攻 論文審査委員

学類 クラス担任（1年生）

学外の社会貢献

- ◆ 学会活動（役員/委員、論文査読等）、学外から委嘱された委員、兼業など.
日本建築学会論文査読委員、日本都市計画学会論文査読委員、

氏 名	金澤 雄一郎	職 名	教授・社会工学類長
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻		専任
	経営・政策科学専攻		専任
	コンピューター・サイエンス専攻		兼担
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	統計科学・マーケティング・組織行動論・産業組織論・犯罪データの解析		

1. 教育

◆ 担当授業科目：

学類 Introduction to Management Science and Engineering／データ解析

大学院前期課程 理論統計学／測度論的確率論

◆ 学類卒業生、博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目

<学類卒業生の氏名と論文題目>

河野友紀子 「地域における環境・経済統合勘定～千葉県の場合～」

後藤朱利 「BP とトヨタにおけるダメージコントロールの比較研究」

岡本壮大 「Lee-Carter 法による日本の将来死亡率予測」

菅将宏 「耐久消費財の買い替えに関する研究」

<博士前期修了生の氏名と論文題目>

張シュウ Bayesian Analysis of the Latent Growth Model with Time-varying Covariates and Missing Data (邦題 時間依存する共変量と欠損値を含むデータにおける潜在成長モデルのベイズ解析)

<博士後期課程修了生の氏名と論文題目>

西田喜平次 On Statistical and Economic Modeling for Policy and Planning Sciences (邦題 社会工学のための統計と経済モデルの理論的研究)

2. 研究

◆ 当該年度の研究活動概要：

(1) 科学研究費基盤研究 (B) 「係数分布型ロジットモデルによる単期間需要推定モデルの提案・比較と多期間への拡張」(代表)

(2) 科学研究費基盤研究 (C) 「少年鑑別所退所少年の再犯に対する社会環境と個人属性の相互作用」(分担)

(3) 科学研究費基盤研究 (B) 「ワークファミリー関係論の組織心理学的発展」(分担)

(4) 財団法人社会安全研究財団からの助成研究「犯罪発生と経済変動の関連に関する国際比較」(分担)

(5) 平成 22 年度「学群教育用設備整備等事業」に対しては「社会工学実験による新しい社会工学教育プログラムの整備事業」として 610 万円。

(6) 平成 22 年度「革新的な教育プロジェクト支援経費」に対しては「社会工学実験による新しい社会工学教育プログラムの整備」として 100 万円。

◆ 著書・論文等：

Myojo, S. and Kanazawa Y. (2011c), On Asymptotic Properties of the Parameters of Differentiated Product Demand and Supply Systems When Demographically-Categorized Purchasing Pattern Data are Available. *International Economic Review*, Accepted.

Nishida, K. and Kanazawa Y. (2011b), Introduction to the Variance-Stabilizing Bandwidth for the Nadaraya-Watson Estimator. *Bulletin of Informatics and Cybernetics Vol.43*, To appear.

Watanabe, S., Tareq M. and Kanazawa Y. (2011a), When openness to experience and conscientiousness affect continuous learning: A mediating role of intrinsic motivation and a moderating role of occupation. *Japanese Psychological Research*, 53(1):1-14.

Yuma, Y., Kanazawa, Y. and Kuniyoshi, M. (2010b), Evaluating the relative effectiveness of training school programs vs. probation on recidivism of Japanese Juvenile delinquents. *Annales Internationales de Criminologie / International Annals of Criminology*, 48(1):63-88

遊間義一・金澤雄一郎・遊間千秋 (2010a) , 少年の殺人事件発生率と完全失業率の長期的関連——日本における 1974 年から 2006 年までの時研究科列データの実証分析——, 犯罪社会学研究, 35:115-130.

◆ 学会発表等：

(1) 2010 年統計関連学会連合大会、東京、” On the variance-stabilizing multivariate nonparametric regression estimation,” ” Bayesian Analysis of the Latent Growth Model with Dropout.”

(2) Association for Psychological Science, 23rd Annual Convention “A ‘Big-5’ and Achievement Motive Interaction Model of Customer

Orientation Among Japanese Salespeople.”

(3) 2010 Americal Society of Criminology Annual Meeting, San Francisco,
“The long-run relationships between Japanese unemployment and
Juveniles’ homicide rates in 1974-2006.”

◆ その他：

3. 学内運営

◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：

社会工学類長

◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：

社会システム・マネジメント専攻 専攻運営委員

4. 学外の社会貢献

◆ JABEE（日本技術者教育認定機構）認定の工学（融合複合・新領域）分野審査員

氏 名	金子 守	職 名	教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻		専任
	経営・政策科学専攻		専任
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	ゲーム理論、論理学、社会正義論		

1. 教育

- ◆ 担当授業科目：

社会工学類 ゲーム論、戦略行動システム演習

大学院前期課程 ゲーム理論、ミクロ経済学、社会経済における課題と方法
- ◆ 学類卒業生、博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目（多い場合は別表に）

2. 研究

- ◆ 当該年度の研究活動概要：

※ 資金獲得状況（研究代表者・研究分担者を明記）、共同研究・受託研究（研究代表者・研究分担者を明記）を含む

科学研究費科学研究費補助金（基盤 A）「帰納的ゲーム論：信念の起源と進化、その限定性」と意思決定・行動の相互関連」2009 年（710 万円）、2010 年（560 万円）、2011 年（550 万円）、2012 年（670 万）2013 年（560 万円）（研究代表者（金子守）：研究分担者（秋山英三、石川竜一郎、鈴木信行）
- ◆ 著書・論文等：
- ◆ Mamoru Kaneko, and Ani Mitra, Discrimination in Festival Games with Limited Observability and Accessibility, Mathematical Social Sciences 62 (2011), 34-45.
- ◆ Mamoru Kaneko and Nobu-yuki Suzuki. A Measure of Logical Inference and Its Game Theoretical Applications (with N.-Y. Suzuki), Logic, Rationality, and Interaction, LNAI6953. 139-150.
- ◆ 学会発表等：
- ◆ その他：なし

3. 学内運営

- ◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：システム情報工学研究科 FD 委員

4. 学外の社会貢献

- 1983－現在、編集委員：*Social Choice and Welfare*
- 1986－現在、編集委員：*Mathematical Social Sciences*
- 2002－現在、編集委員：*Economic Theory*
- 2004－2011、編集委員：Knowledge, Rationality & Action
- 2007－現在、編集委員：The Open Urban Studies Journal.
- 2009－現在、編集委員：Games Econometric Society (Fellow) Society for the advancement for Economic Theory (Fellow)

氏 名	木島 陽子	職 名	准教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻 専任		
	経営・政策科学専攻 専任		
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	開発経済学		

1. 教育

◆ 担当授業科目：

学類 国際開発論／経済学入門／経済政策分析

大学院前期課程 国際開発論／日本とアジア経済

◆ 学類卒業生、博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目

学類卒業生 高橋夏生「アフリカの FDI に governance 指標が与える影響について」

学類卒業生 山下勇樹「国際機関の援助分配の妥当性」

2. 研究

◆ 当該年度の研究活動概要：

科学研究費 若手研究（B）「途上国移民の地域開発と家計の厚生に関する動学的実証分析：メキシコの事例」（代表）

共同研究 「サブサハラアフリカのコメ生産拡大に関する実証研究」（分担）

共同研究 「東アジアの開発戦略と国家建設の適用可能性」（分担）

共同研究 「An African Green Revolution: Finding Ways to Boost Productivity Sub-component: Multi-country study of technology adoption, irrigation and the trade-offs between capital and labor for productivity」（分担）

受託研究 「新たな換金作物の導入による市場の発展に関する実証分析」（代表）

◆ 著書・論文等：

Keijiro Otsuka and Yoko Kijima (2010) “Technology Policies for a Green Revolution and Agricultural Transformation in Africa,” *Journal of African Economies* 19(s2): ii60-76.

Yoko Kijima, Keijiro Otsuka, and Dick Sserunkuuma (2011) “An Inquiry into Constraints on a Green Revolution in Sub-Saharan Africa: The Case of NERICA Rice in Uganda,” *World Development* 39(1): 77-86.

Takashi Yamano, Yoko Kijima, Tomoya Matsumoto, and Megumi Muto (2011), “Recent Developments of Agricultural Markets in East Africa.” In *Community, Market and State in Development*, edited by Keijiro Otsuka and Kaliappa Kalirajan. Palgrave Macmillan, 245-261.

◆ 学会発表等：なし

◆ その他：なし

3. 学内運営

◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：

研究倫理委員

◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：

学類 クラス担任（2年生）、学類施設委員、外国語センター学類代表

SSM 施設委員、学生相談室

4. 学外の社会貢献

なし

氏 名	岸本 一男	職 名	教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	経営・政策科学専攻 専任		
	社会システム工学専攻 専任		
担当学類	専 社会工学類	兼	なし
研究分野	数理工学，数理ファイナンス，数理政治		

1. 教育

◆ 担当授業科目：

学類 経営の科学Ⅰ，数理解析，応用数理，数理工学モデル化実習

大学院前期課程（社会システム工学） 金融デリバティブ

◆ 学類卒業生，博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目

学類卒業生

青木克真：超長期ポートフォリオに関する実証的研究

河相健二：株式売買システム arrowhead 導入前後での東証個別株式の出来高と値幅の変化についての実証的研究

久保晶嗣：我が国個別株価 VaR の測定法に関する実証的研究

瀧田 大：我が国総選挙（38-40 回）における選挙区内対立軸の研究

前期課程修了生

（社会システム工学専攻）

小笠原悠：空間的投票モデルによる戦前期総選挙の解析

宮崎 強：日本の証券市場での日中取引間隔と 1 約定あたり出来高に関する研究

（経営・政策科学専攻）

Mak Fu Hang: Modeling and Forecasting Realized Volatility in the Tokyo Stock Exchange (Realized Volatility の推定と予測：東証株価に対する実証分析)

後期課程修了生

李もう：Analysis of Intraday Stock Price Changes in Japanese Markets

（日本市場における日中株価変動の分析）

2. 研究

◆ 当該年度の研究活動概要：

科学研究費

一般研究 (C)「金融資産日中取引時間間隔と取引量の分布の研究とその応用」

（研究代表者）

一般研究 (B)「戦後日本の政治変動と参議院選挙：市区町村別データに基づく実証的研究」（研究分担者）

◆ 著書・論文等：

※査読付学術雑誌掲載論文、著書（専門書）、解説論文・総説論文などの実績
Li, M., Endo, M., Zuo, S. and Kishimoto, K.(2010): Order Imbalances Explain 90% of Returns of Nikkei 225 Futures, Applied Economics Letters, Vol.17, pp.1241-1245.

Li, M. and Kishimoto, K.(2010): Testing whether the Nikkei225 best bid/ask price path follows the first order discrete Markov chain - an approach in terms of the total " ρ -variation" -,JSIAM Letters, Vol.2, pp.103-106.

小笠原悠，岸本一男(2011)：国勢調査（1950 年）市区町村別データベース作成の中間報告，筑波大学データバンク年報，No.88, pp.43-49.

小笠原悠，岸本一男(2011)：我が国戦前期総選挙結果の空間的投票理論による分析，筑波大学データバンク年報，No.88, pp.97-111.

◆ 学会発表等：※国内外学会発表などの実績

小笠原 悠，岸本 一男(2010)：「我が国の戦前期国政選挙における政党座標計算の諸問題」2010 年応用数理学会年会（9 月 20 日）

品川 景子，岸本 一男(2010)：「ゲーム理論から見た我が国政党の理論的政策位置とその検証」2010 年応用数理学会年会（9 月 20 日）

小笠原 悠，岸本 一男(2011)：「我が国戦前期の政党対立軸の決定要因とその変遷」，第 28 回数理政治学研究部会（2 月 12 日）

瀧田 大，岸本 一男(2011)：「我が国総選挙（38～40 回）における選挙区内対立軸の研究」応用数理学会研究部会連合発表会（3 月 8 日）

◆ その他： 特になし

3. 学内運営

◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：

厚生会理事，厚生会のあり方等検討ワーキンググループメンバー

◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：

学類 学類運営委員

SSM 経営工学分野人懇議長，図書委員

4. 学外の社会貢献

◆ 日本応用数理学会監事， 日本応用数理学会数理政治研究部会幹事，JSIAM Letters 編集副委員長，日本電子通信学会査読委員，横幹連合学術・国際委員

氏 名	倉 田 久	職 名	准教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	経営・政策科学専攻 専任		
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	サプライチェーン・マネジメント、オペレーションズ・マネジメント		

1. 教育

- ◆ 担当授業科目：
学類 経営情報システム／サービスの産業と組織
大学院前期課程 （なし）
国際大学（新潟県）大学院国際経営学研究科 Supply Chain Management, Operations Management
- ◆ 学類卒業生，博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目
(2010 年時点で卒業生・修了生はいません)

2. 研究

- ◆ 当該年度の研究活動概要：
Global Structural Advantage Project（構造有利プロジェクト） 国際大学
グローバル・コミュニケーション・センター（GLOCOM）、2008 年 6 月—2010
年 6 月（研究分担者）
- ◆ 著書・論文等：
Hisashi Kurata and Seong-Hyun Nam, (2010), “After-sales service competition in a supply chain: Optimization of customer satisfaction level or profit or both? “,
International Journal of Production Economics, Volume 127, No.1, 136-146.

Seong-Hyun Nam, Hisashi Kurata, John Vitton, and Jaesun Park, (2010),
“Determining Optimal Price and Order Quantity under the Uncertainty in Demand and Supplier Price,” *International Journal of Information Systems and Supply Chain Management*, Volume 3, Issue 4, 1-24.
- ◆ 学会発表等：
学術発表 “Competition in After-Sales Service: Profit Maximization or Customer Satisfaction?” 日本オペレーションズ・マネジメント&ストラテジー学会（JOMSA）大会 会場：神戸大学大学院経営学研究科、2010 年 6 月 19 日.
- ◆ その他：
招待講演（神戸大学経営学部 2010 年 6 月 14 日）“Introduction to Service Management” Lectured at Kobe University (Kobe, Japan), June 14, 2010.

新潟県職員専門研修「経営管理コース」、研修講師 2010 年 10 月—2010 年 11 月（全 2 回担当）。

3. 学内運営

- ◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：
（2010 年は学内運営及び委員会活動に従事なし）
- ◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：

4. 学外の社会貢献

- ◆ 学会活動（役員/委員、論文査読等）、学外から委嘱された委員、兼業など。
日本レーションズ・マネジメント&ストラテジー学会（JOMSA）組織委員。
International Journal of Revenue Management, Editorial Board Member.
European Journal of Operational Research, International
Journal of Production Economics: Ad-hoc Reviewer.

氏 名	桑原 史郎	職 名	講師
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻		専任
	経営・政策科学専攻		専任
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	経済成長理論		

1. 教育

- ◆ 担当授業科目：
 - 学類 社会工学実習・公共政策論
 - 大学院前期課程 公共政策分析・マクロ経済学
- ◆ 学類卒業生、博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目
 - 山上徹(学類卒) 少年犯罪発生の要因分析～少年の非行を食い止める～
 - 林弘平(学類卒) 雇用の流動化議論に付随する賃金制度、雇用調整に関する研究の整理

2. 研究

- ◆ 当該年度の研究活動概要：
 - 科学研究費 若手研究（B）「内生的成長理論を用いた世界の二極化構造の動学的解明」（代表）
- ◆ 著書・論文等：なし
- ◆ 学会発表等：なし
- ◆ その他：なし

3. 学内運営

- ◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：なし
- ◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：
 - 学類・カリキュラム委員, クラス担任（1年生）

4. 学外の社会貢献

- ◆ 学会活動（役員/委員、論文査読等）、学外から委嘱された委員、兼業など。
 - なし

氏 名	香田 正人	職 名	教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻		専任
	経営・政策科学専攻		専任
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	データマイニング工学，感度解析・最適化理論		

1. 教育

◆ 担当授業科目：

学類 経営工学概論／数理工学モデル化実習／マネジメント実習／問題発見と解決

大学院前期課程 データマイニング工学／プロジェクト・マネジメント：理論と実践

◆ 学類卒業生，博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目

学類卒業生：

鈴木重央：雑誌の推薦における多様性について

武 直哉：共分散構造分析による広告効果の検証

博士前期修了生：

栗田哲也：De-noising の適用による感度指標の効率的計算と FAST 手法の拡張
熊谷雄介：部分グラフを用いたコミュニティ検出の高速化

木原泰二：SVMにおける分類貢献度と相互作用抽出法の提案（データの二値化を用いたSVM弱学習機（LPBoost）手法）

田口雅也：時研究科列データを用いた消費者反応モデルの構築

児玉創紀：ホテルグランド東雲における経営改善提案（特定課題研究）

張 鵬程：ホテルグランド東雲における経営改善提案（特定課題研究）

陳 威：ホテルグランド東雲における経営改善提案（特定課題研究）

2. 研究

◆ 当該年度の研究活動概要：

科学研究費 基盤研究 (C)「サービスへの応用を指向したデータマイニングの数理モデル構築と評価」（代表 香田正人，分担者 鈴木秀男慶応義塾大学教授）

◆ 著書・論文等：

香田正人 (2011), ポスト・ノーマルサイエンスとグローバル感度解析, 横幹 (横幹連合会誌), Vol. 5, No. 1, pp. 37-40.

香田正人 (2010), 感度解析について, オペレーションズ・リサーチ (日本オペ

レーションズ・リサーチ学会機関誌) , Vol. 55, No. 10, pp. 613-621.

香田正人 (2010), グローバル感度解析に対するカオス力学研究科やメタモデルの視点, オペレーションズ・リサーチ (日本オペレーションズ・リサーチ学会機関誌) , Vol. 55, No. 10, pp. 632-637.

◆ 学会発表等 :

Stefano Tarantola and Masato Koda, “Improved Random Balance Designs for the Estimation of First Order Sensitivity Indices,” 6th SAMO Conference, Milan, Italy, July 19-22, 2010.

Stefano Tarantola, Masato Koda and Dieter Zeitz, “On the Estimation of First Order Sensitivity Indices through Random Balance Designs,” ESREL 2010 Annual Conference, Rhodes, Greece, Sept. 5-9, 2010.

熊谷雄介, 香田正人, “部分グラフを用いたコミュニティ検出の高速化,” 日本オペレーションズ・リサーチ学会 2010 年度春季研究発表会, アブストラクト集 pp.118-119, 電気通信大学, 平成 23 年 3 月 18 日.

田口雅也, 香田正人, “ベイジアンネットワークにおけるモデル選択基準の一考察” 日本オペレーションズ・リサーチ学会 2010 年度春季研究発表会, アブストラクト集 pp.160-161, 電気通信大学, 平成 23 年 3 月 18 日.

栗田哲也, 香田正人, “De-noising の適用による感度指標の効率的計算と FAST 手法の拡張” 日本オペレーションズ・リサーチ学会 2010 年度春季研究発表会, アブストラクト集 pp.224-225, 電気通信大学, 平成 23 年 3 月 18 日.

香田正人, “データマイニング・アルゴリズムの研究とデータ解析への適用” 国際医療福祉大学 大学院乃木坂スクール, 平成 22 年 6 月 10 日.

◆ その他 : 無

3. 学内運営

◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献 : 無

◆ 専攻組織の業務への貢献 (委員会等) :

学類 就職委員

4. 学外の社会貢献

◆ 学会活動 (役員/委員、論文査読等)、学外から委嘱された委員、兼業など.

日本オペレーションズ・リサーチ学会副会長 / 日本ダイレクトマーケティング学会副会長兼サービス&リレーションシップ・マーケティング研究部会長
/ Associate Editor: JOURNAL OF INFORMATION AND COMMUNICATION TECHNOLOGY

氏 名	近藤 文代	職 名	講師
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻		専任
	経営・政策科学専攻		専任
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	マーケティングサイエンス 消費者行動の異質性・ダイナミクス性研究 ベイズ統計解析		

1. 教育

- ◆ 担当授業科目：
学類 統計学Ⅱ／マーケティング工学
大学院前期課程 マーケティングサイエンス／アドバンスドデータ解析／ベイズ統計解析
- ◆ 博士前期課程社会システム工学研究科修了生
氏名：川本貴之
論文題目：階層ベイズ的アプローチの因子分析によるモバイル情報サービスに関する研究

2. 研究

- ◆ 当該年度の研究活動概要：
科学研究費 基盤研究（A）「データベースマーケティングと消費者理論の融合による CRM の新展開」（研究分担者）
- ◆ 著書・論文等：
Kondo, F. N, Hirata, J. and Akter, Md. S. (2010), Exploring Loyalty in Mobile Information Services: The Role of Sound Amusements, *International Journal of Mobile Marketing*, Vol. 5, No.1, pp. 125-140.
- ◆ 学会発表等：
The Impact of Mobile Amusement Information on Use Behavior, Satisfaction, and Loyalty, Proceedings of The 9th International Conference on Mobile Business - The 9th Global Mobility Roundtable - mBusiness, 2010/06.
- ◆ その他：

3. 学内運営

- ◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：
- ◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：
学類 クラス担任（1年生）、授業評価委員
SSM オリエンテーション委員

4. 学外の社会貢献

- ◆ 日本マーケティングサイエンス学会（論文査読）、日本統計学会欧文誌（論文査読）

氏 名	佐藤(イリチュ) 美佳	職 名	准教授
専攻 (博士後期課程)	リスク工学専攻 社会システム・マネジメント専攻		専任 兼担
専攻 (博士前期課程)	リスク工学専攻 社会システム工学専攻 経営・政策科学専攻		専任 兼担 兼担
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	データマイニング, 統計科学		

1. 教育

◆ 担当授業科目：

学類

数理統計学／統計 I／暮らしのリスクと安心・安全な社会形成 (分担)/ 卒業研究

大学院前期課程

ソフトデータ解析/リスク工学前期特別演習 I/リスク工学前期特別演習 II/リスク工学基礎 (分担)/リスク工学前期特別研究 I/リスク工学前期特別研究 II/リスク工学グループ演習 (分担)/リスク工学概論 (分担)/リスク工学インターンシップ (分担)/社会システム工学特別演習 I (分担)/社会システム工学特別演習 II/社会システム工学特別研究/インターンシップ (社会システム工学) /インターンシップ(MBA) (分担)/インターンシップ(MPP) (分担)/特定課題研究(分担)/経営・政策科学特別演習 I(分担)/ 経営・政策科学特別演習 II(分担)/経営・政策科学特別研究

大学院後期課程

リスク工学後期特別演習 (分担)/リスク工学後期特別研究/リスク・ケーススタディ研究 (分担)/リスク工学後期プロジェクト研究/社会システム・マネジメント特別研究/社会システム・マネジメント特別演習 I (分担)/ 社会システム・マネジメント特別演習 II (分担)

◆ 学類卒業生

エン シンギョウ: 高次小標本データに対する変数の重みを考慮した分類手法の考察

大久 聖太: 魅力度を考慮した地区住民が感じるイメージの違いの分析

近藤 卓未: ファジィ逆推論に基づく概念分類法 -スマートフォン購入に関するアンケート調査を対象として-

東 卓弥: 区間データの度数分布を用いた主成分分析 -小売業の営業時間を対象として-

三好 勇和:教育機関の統計教育に対する意識変化の要因分析

博士前期修了生

吳 迪: ファジィクラスタリングの妥当性関数に関する一考察

高橋 翔太: 一般化集約演算とその評価に関する研究

張替 裕矢: ファジィロジスティック回帰を用いた脳波による思考識別に関する研究

小林 勇: 双対尺度法におけるファジィクラスタリングの適用に関する研究

2. 研究

◆ 当該年度の研究活動概要：

日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(C))

「高次 Aggregation Operator の開発とクラスタリングモデルへの適用」(代表)

日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(B))

「高次元データの理論と方法論の総合的研究」(分担)

筑波大学大学院システム情報工学研究科教育研究費重点配分「ソフトコンピューティング」(分担)

◆ 著書・論文等：

M. Sato-Ilic, Generalized Aggregation Operator Based Nonlinear Fuzzy Clustering Model, Intelligent Engineering Systems through Artificial Neural Networks, New York (USA), Vol. 20, pp. 493-500, 2010.

M. Sato-Ilic, Dissimilarity Based Principal Component Analysis Using Fuzzy Clustering, Advances in Intelligent and Soft Computing, Integrated Uncertainty Management and Applications, Springer-Verlag, Berlin Heidelberg (Germany), V-N, Huynh, Y. Nakamori, J. Lawry, M. Inuiguchi, eds., Vol. 68, pp. 453-464, 2010.

T. Kuwata and M. Sato-Ilic, Learning based Self-Organized Additive Fuzzy Clustering Method, Advances in Intelligent Decision Technologies, Springer-Verlag, Berlin Heidelberg (Germany), G. Phillips-Wren, L.C. Jain, K. Nakamatsu, R.J. Howlett, eds., pp. 589-596, 2010.

M. Sato-Ilic, An Adaptive Cluster-Target Covariance based Principal Component Analysis for Interval-Valued Data, IEEE World Congress on

Computational Intelligence, pp. 616-623, 2010.

M. Sato-Ilic, A Cluster-Target Similarity Based Principal Component Analysis for Interval-Valued Data, 19th International Conference on Computational Statistics, Y. Lechevallier and G. Saporta eds., Physica-Verlag, pp. 1605-1612, 2010.

◆ 学会発表等：

M. Sato-Ilic, Fuzzy Clusterwise Analyses in High Dimensional Space, Seventh International Symposium on Management Engineering, (keynote speech), pp. 5-6, 2010.

M. Sato-Ilic, Fuzzy Classification Structure Based Analyses Through High Dimensional Data Space, Joint meeting of Japan-Korea Special Conference of Statistics, (invited talk), 2010.

M. Sato-Ilic, A General Kernel based Model for Fuzzy Clustering, Proceedings of Joint Convention of Statistical Societies, pp. 301, 2010.

M. Sato-Ilic, Generalized Aggregation Operator and Its Application to Clustering, Proceeding of 26th Fuzzy System Symposium, pp. 197-198, 2010.

佐藤 美佳, 複雑データに対する探索的アプローチ, 第6回日本知能情報ファジィ学会講習会講演, 2010.

桑田 智幸, 佐藤 美佳, 学習型自己組織化加法的ファジィクラスタリングの脳波データへの適用, 26th Fuzzy System Symposium, pp. 306-311, 2010.

桑田 智幸, 佐藤 美佳, 学習を考慮した自己組織化加法的ファジィクラスタリング, 日本計算機統計学会第24回大会, pp. 155-158, 2010.

桑田 智幸, 佐藤 美佳, 学習型自己組織化加法的ファジィクラスタリング手法, 第21回ソフトコンピューティング若手研究会講演予稿集, pp. 23, 2010.

◆ その他：

1st Runner up Award (theoretical development in computational intelligence), M. Sato-Ilic, Generalized Aggregation Operator Based Nonlinear Fuzzy Clustering Model, Intelligent Engineering Systems through Artificial Neural Networks, Vol. 20, pp. 493-500, ASME, New York, USA, 2010.

Outstanding Contribution Award, M. Sato-Ilic, Fuzzy Clusterwise Analyses in High Dimensional Space, Seventh International Symposium on Management Engineering, (keynote speech), 2010.

貢献賞, 第 25 回ファジィシステムシンポジウム (実行委員長), 日本知能情報ファジィ学会, 2010.

3. 学内運営

◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：

FD 担当教員 (専攻窓口教員)

筑波フォーラム編集

ハラスメント筑波キャンパス相談員委員

ファカルティディベロップメント委員会委員

◆ 専攻組織の業務への貢献 (委員会等)：

リスク工学専攻： 大学院 GP チェック委員会委員

特別演習プロジェクトアドバイザー

カリキュラム委員会委員

「リスク工学概論」担当 (世話人)

「リスク工学後期プロジェクト研究」担当 (世話人)

教育企画委員会委員 (FD 等)

学類： クラス担任 (2 年生)

非常勤講師世話人

運営委員会委員

オリエンテーション委員

4. 学外の社会貢献

- ◆ Editor in Chief of International Journal of Knowledge Engineering and Soft Data Paradigms,

Published by Inderscience Publishers, UK
Council of International Association for Statistical Computing (a
Section of the International Statistical Institute)

IEEE Senior Member

Vice Chair of the Fuzzy Systems Technical Committee (FSTC) of the
IEEE Computational Intelligence Society

日本統計学会理事（渉外）

Associate Editor of Neurocomputing

Regional Editor of International Journal on Intelligent Decision
Technologies

Associate Editor of International Journal of Innovative Computing,
Information and Control Express Letters

Special Sessions Co-chair in the IEEE World Congress on Computational
Intelligence

Member of IEEE Women in Computational Intelligence Committee

Member of the Fuzzy Systems Technical Committee (FSTC) of the IEEE
Computational Intelligence Society

Member of IEEE CIS Graduate Student Research Grants Subcommittee

Member of Editorial Board for the International Journal of Hybrid
Intelligent Systems

日本知能情報ファジィ学会誌編集委員会委員

Member of Local Organizing Committee, The 2nd Institute of
Mathematical Statistics Asia Pacific Rim Meeting

Member of the IAOR Committee in the Operations Research Society of Japan

Member of International Program Committee at International Society of Management Engineers

Member of International Program Committee at KES

Member of Artificial Neural Networks in Engineering (ANNIE) Conference Organizing Committee

Member of Program Committee for International Conference on Hybrid Intelligent Systems

Guest Editor, Special Issue on Advances and Applications of Knowledge-Based Intelligent Systems, International Journal of Advanced Intelligence Paradigms (IJAIP), Volume 2, Issue 1, (with C.P. Lim, R.J. Howlett, L.C. Jain).

Member of External Expert Committee to the CS Panel, Research Foundation of City University of New York

Track Chair in the Artificial Neural Networks in Engineering Conference

氏 名	繁野麻衣子	職 名	准教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻		専任
	経営・政策科学専攻		専任
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	最適化理論，アルゴリズム理論		

1. 教育

- ◆ 担当授業科目：

学類 数理工学専攻，計算機科学，数理工学モデル化実習

大学院前期課程 離散最適化，ビジネス数学，シミュレーションと最適化
- ◆ 学類卒業生，博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目

竹原令依子 「ネットワーク上の競争的情報拡散の特徴について」

三木 和貴 「コミュニティバススケジューリング」

渡邊 亮太 「人数の下限制約が重視される勤務素スケジュール作成の一手法」

一村 陽 「非対称ラジオネットワークにおけるビザンチン故障を考慮したブロードキャスト」

高栖 一貴 「木グラフ上のコスト辺彩色問題に対するアルゴリズムの拡張」

宮川 裕幸 「ブロードキャスト問題に対するネットワーク構造を利用したヒューリスティック解法」

2. 研究

- ◆ 当該年度の研究活動概要：

科学研究費 基盤研究(C)「ネットワーク構造解析アルゴリズムの開発とネットワークアルゴリズムの総合的展開」（代表）

栢森情報科学振興財団助成金「ネットワーク構造の特徴付けを与えるアルゴリズム開発」（代表）

学術指導 横浜南共済病院「手術室スケジュールに対するモデル別効果の検証と効率的スケジュール手法の提案に関する学術指導」（代表）

共同研究 牛久市福祉課「コミュニティバス運行最適化に関する研究」（分担）
- ◆ 著書・論文等：

Akira ICHIMURA and Maiko SHIGENO, “A new parameter for a broadcast algorithm with locally bounded Byzantine faults,” Information Processing Letters, 110 (2010) 514-517. (査読付)

張明超 高橋里司 繁野麻衣子, 最大密度部分集合問題と近似2分探索による解法, 日本オペレーションズリサーチ学会和文論文誌, 53 (2010) 1-13. (査読付)

Hiroyuki MIYAGAWA, Maiko SHIGENO Satoshi TAKAHASHI, and Mingchao ZHANG, "Community extraction in hypergraphs based on adjacent numbers," The Ninth International Symposium on Operations Research and Its Applications (ISORA' 10), Lecture Notes in Operations Research 12 (2010) 309-316. (査読付)

高木英明, 岡田幸彦, 吉瀬章子, 繁野麻衣子 「顧客志向ビジネス・イノベーションのためのサービス科学に基づく高度専門職業人育成プログラムの開発」人口知能学会誌, 25(2010) 726-734

繁野麻衣子 「ネットワーク最適化とアルゴリズム」朝倉書店 (2010)

◆ 学会発表等：

繁野麻衣子, 池上敦子 「サービス業における勤務スケジュール作成：最適化の視点で見えたモノ」 第3回横幹連合総合シンポジウム

池上敦子, 繁野麻衣子 「サービス業における勤務スケジュール作成」 スケジューリング・シンポジウム 2010

◆ その他： なし

3. 学内運営

◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：

男女共同参画推進室 室員

◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：

大学院 入試実施委員

学類 クラス担任（4年）卒業記念論文誌編集委員

4. 学外の社会貢献

◆ 学会活動（役員/委員、論文査読等）、学外から委嘱された委員、兼業など.

日本応用数理学会 JSIAM Letters 編集委員

日本応用数理学会論文誌編集委員

日本オペレーションズ・リサーチ学会論文誌編集委員

公開講座「サービスカイゼン研修コース」講師

サイエンスパートナーシッププロジェクト 講師

氏 名	庄 司 功	職 名	教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻		専任
	経営・政策科学専攻		専任
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	時研究科列解析		

1. 教育

- ・ 担当授業科目：
学類 計量時研究科列分析／計量ファイナンス実習／統計学Ⅱ
大学院前期課程 時研究科列解析
- ・ 学類卒業生、博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目（多い場合は別表に）
学類：浜村幸登（国内ガソリン価格の時研究科列解析）
大学院前期課程：西田光宏（日本におけるエネルギー消費と経済成長に関する分析）

2. 研究

- ◆ 当該年度の研究活動概要：
科学研究費 基盤研究 A「持続的森林資源管理における自然災害及び管理放棄リスクの経済分析」(分担) (代表者)
科学研究費 基盤研究 B「環境問題の国際化に伴う最適地域森林資源管理とスロバキアにおける森林資源政策分析」(分担)
- ◆ 著書・論文等：
Yamamura, M.and Shoji, I. (2010), A nonparametric method of multi-step ahead forecasting in diffusion processes, Physica A, 389, 2408-2415.
- ◆ 学会発表等：
- ◆ その他：

3. 学内運営

- ◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：
- ◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：

4. 学外の社会貢献

氏 名	鈴木 勉	職 名	教授
専攻（博士後期課程）	リスク工学専攻 社会システム・マネジメント専攻	専任 兼任	
専攻（博士前期課程）	リスク工学専攻 社会システム工学専攻 経営・政策科学専攻	専任 兼任 兼任	
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	立地科学，都市空間構造，持続可能型都市形態，都市リスク分析，地理情報の都市計画への応用		

1. 教育

- ◆ 担当授業科目：
 - 総合科目 都市・地域・環境を探るⅢ
 - 社会工学類 線形代数Ⅰ／都市データ分析／都市計画実習／都市解析／暮らしのリスクと安心・安全な社会形成
 - 博士前期課程 リスク工学概論／都市機能リスク論／都市リスク分析演習
- ◆ 学類卒業生，博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目
 - 社会工学類
 - 小畑博史 通過交通抑制に着目した道路ネットワークパターンの評価
 - 廣木一茂 東京都心部における歩行者空間量の分布とその決定要因分析
 - 博士前期課程
 - 鄭 起宅 空間点過程理論を用いた都市施設立地シミュレーション
 - 金 亨柱 道路併用区間における路面電車の安全性と潜在的事故リスクに関する研究

2. 研究

- ◆ 当該年度の研究活動概要：
 - 科学研究費（基盤研究(A)）「地理情報科学と都市工学を融合した空間解析手法の新展開」（代表）
 - 住友財団環境研究助成（一般研究）「都市規模・密度に着目したデマンド型交通導入による環境負荷低減の可能性」（代表）
 - ユニバーサル財団研究助成 「ニュータウン縮小期の商業施設の立地変化による高齢者の購買難民化」（代表）
 - 日本学術振興会二国間交流事業共同研究（韓国）「人口減少・需要縮小時代の都市ストック再生方策に関する研究」（分担）
 - 国土交通省建設技術研究開発助成制度「地震による斜面崩壊予測とそれによる家屋・道路被害推計の統合システムの開発」（分担）
 - 筑波大学革新的研究等支援プログラム 「学生協働・地場連携による筑波大学

キャンパス・リノベーションーグリーン・イノベーションとライフ・イノベーションの融合ー」(分担)

◆ 著書・論文等：

◆ 学会発表等：

Tsutomu Suzuki (2010) Simulating Growth Process of Hierarchical Transportation Networks, presented at the ALIO/INFORMS Joint International Meeting, Buenos Aires, Argentina, June 6-9, 2010.

鈴木 勉 (2010) 職住のバランス・空間的相関と通勤距離の関係について, 日本オペレーションズ・リサーチ学会秋季研究発表会アブストラクト集, pp.222-223.

長谷川大輔・鈴木 勉 (2010) 交通手段の競合から見た人口密度とデマンド型交通の分担率の関係について, 日本オペレーションズ・リサーチ学会秋季研究発表会アブストラクト集, pp.114-115.

李 召熙・鈴木 勉 (2010) Scenarios Approach on the Evaluation of a Sustainable Urban Structure for Reducing Carbon Dioxide Emission in Seoul City, 地理情報システム学会講演論文集.

金 亨柱・鈴木 勉 (2010) 路面電車の道路併用区間における自動車の動線との交錯, 地域安全学会梗概集, No.27, pp.45-48.

Sohee Lee and Tsutomu Suzuki (2010) Scenarios Approach on the Evaluation of a Sustainable Urban Structure for Reducing Carbon Dioxide Emission in Seoul City, presented at the 57th Annual North American Meetings of the Regional Science Association International 2010, Denver, USA, November 10-13, 2010.

Tsutomu Suzuki (2010) Multi-service Facility Location with Multi-purpose Trip Making, 第24回応用地域学会研究発表大会, 名古屋大学.

鈴木 勉 (2011) 建物共同化と周回行動を考慮した2つの複合サービス施設配置問題の比較, 日本オペレーションズ・リサーチ学会春季研究発表会アブストラクト集, pp.58-59.

長谷川大輔・鈴木 勉 (2011) デマンド型交通が有利となる需要密度・時間価値条件について, 日本オペレーションズ・リサーチ学会春季研究発表会アブストラクト集, pp.176-177.

鄭 起宅・鈴木 勉 (2011) 空間点過程モデルに基づく都市施設分布のシミュレーション, 日本オペレーションズ・リサーチ学会春季研究発表会アブストラクト集, pp.184-185.

◆ その他：

日本都市計画学会 2009 年年間優秀論文賞 (共同受賞：大城将範)

3. 学内運営

- ◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：
つくばエコシティ推進グループ委員，全学学群教育課程委員，総合科目編成委員
- ◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：
社会工学類カリキュラム委員長，社会工学類リメディアル科目実施委員会委員，
システム情報工学研究科学務・カリキュラム委員
システム情報工学研究科リスク工学専攻カリキュラム委員長，出版委員長

4. 学外の社会貢献

- ◆ 学会活動（役員/委員、論文査読等）、学外から委嘱された委員、兼業など.
日本オペレーションズ・リサーチ学会論文誌編集委員，IAOR 委員会委員
国土交通省国土技術政策総合研究所技術提案評価審査会委員
常総市公共交通活性化協議会会長
守谷市公共交通活性化協議会委員
筑波研究学園都市交流協議会 3 E フォーラム都市構造・交通システムタスク
フォース座長

- 3) “Enhancement of e-Commerce via Mobile Accesses to the Internet,” (with J. Yoshii), *Electronic Commerce Research and Applications*, Vol. 9, pp. 217-227, 2010
- 4) “The Impact of Mobile Access to the Internet on Information Search Completion Time and Customer Conversion,” (with J. Zuo), *Electronic Commerce Research and Applications* Vol. 9, pp. 410-417, 2010
- 5) “Correlated Multivariate Shock Model Associated with a Renewal Sequence and Its Application to Analysis of Browsing Behavior of Internet Users,” (with J. Zuo), *Journal of the Operations Research Society of Japan*, Vol. 53, No. 2, pp. 119-135, 2010
- 6) “Application of Collateralized Debt Obligation Approach for Managing Inventory Risk in Classical Newsboy Problem,” (with R. Isogai and S. Ohashi), *The Best Paper Award, Proceedings of International Conference on Business and Information, Kitakyusyu, Japan, July 5-7, 2010*
- 7) “Analysis of Value Chain Coordination via Revenue-Sharing for Improving the Expected Profits” (with Y. Koike, M. Kotani and Y. Yamamoto), *Industrial Engineering and Engineering Management (IEEM), The Proceedings of 2010 IEEE International Conference*, pp. 1149-1153, (doi: 10.1109/IEEM.2010.5674328), December 7-10, 2010
- 8) “Impact of Mobile Accesses to the Internet on Sales Completion Time in e-Commerce with Multiple Classes of Customers,” (with J. Yoshii), *the Proceedings of 2011 International Conference on e-Commerce, e-Administration, e-Society, e-Education and e-Technology, Tokyo, January 18-20, 2011*
- 9) “Numerical Evaluation of Dynamic Behavior of Ornstein-Uhlenbeck Processes Modified by Various Boundaries and Its Application to Pricing Barrier Options,” (with J. Gotoh and H. Jin), *Methodology and Computing in Applied Probability*, Vol. 13, pp. 193-219, 2011
- 10) “Analysis of e-Word-of-Mouth Information for Digital Cameras in Japan,” (with J. Yoshii and J. Gan), *the Winter Conference on Business Intelligence, University of Utah, U.S.A. March 10-12, 2011*
- 11) “配送サービスにおける2人ゲーム混合戦略の構造分析,” (高橋一喜と共著), *日本経営工学会論文誌*, Vol.61, No. 6, pp. 313-324, 2011

◆ 学会発表等：

- 1) *International Conference on Business and Information, Kitakyusyu, Japan, July 5-7, 2010*
- 2) *IEEE International Conference, Macau, December 7-10, 2010*

3) *the Winter Conference on Business Intelligence, University of Utah, U.S.A. March 10-12, 2011*

◆ その他：

The Best Paper Award, Proceedings of International Conference on Business and Information, Kitakyusyu, Japan, July 5-7, 2010

3. 学内運営

◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献： 特に無し

◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）： 特に無し

4. 学外の社会貢献

◆ 学会活動（役員/委員、論文査読等）、学外から委嘱された委員、兼業など.

1) JIRCAS 外部評価委員

2) ソシオテック研究所 顧問

3) 日本能率協会 Professional Leader Course 主任講師

4) 多数の専門誌における論文査読

5) 多数の企業経営幹部に対する講演活動

2010 年度 指導論文リスト

博士論文

1. 黄 嘉平： Dynamic Stochastic Analysis of Risk Management Problems in Financial Engineering and Manufacturing
2. 高田 英行： Development of Computational Algorithms for Pricing Financial Derivatives Influenced by an Exogenous Stochastic Process: Hierarchical Markov Chain Approach
3. 高 寛： 官民協働観点からみた韓国の都市部における自然再生事業に関する研究

修士論文

1. 伊藤 厚： CAEP に基づく多段階判別法の開発とクレジットデータ分析への応用
2. 大橋 聡史： 新聞売り子問題に対する VaR 問題の解析と CDO アプローチの応用
3. 岡田 和樹： 半導体生産工程におけるコックピットシステムに関する研究
4. 中山 陽介： 百貨店のカード会員によるアンケート回答結果とそのカード利用履歴を用いた顧客類型化
5. 橋本 亮太郎： Type A Behavior × Locus of Control の下位次元構築及びシミュレーション分析

6. 柳川 剛教： 不動産賃料評価モデルの開発
7. 王 宇彦： 店舗利用数の違いによる顧客特性の判別アルゴリズムの開発とマーケティング戦略の提案

卒業論文

1. 有澤 瑠利子： e-WOM の他者からの評価予測モデル構築
2. 上田 鋭星： チーム診断システムの構築
3. 于 珊： 共分散構造分析を導入した半導体製造工程におけるチョコ停要因発見のための研究
4. 大野 康明： 新規でリボルビング払いを利用する顧客特定モデルの構築
5. 加藤 裕： ビジネスゲームにおける Type A 行動者の行動分析
6. 酒井 祐太郎： 組織診断システム開発における主流乖離分析
7. 篠田 優輝： クレジットカード休眠阻止における顧客判別モデルの研究
8. 渋谷 修太： e-WOM を用いた輸入アメリカ映画の興行収入予測モデルの構築
9. 大黒 未鈴： クレジットカード加盟店の利用パターンの抽出によるカード休眠化防止の研究
10. 千葉 龍之介： 遺伝的アルゴリズムを用いたクレジット購買履歴の分析
11. 趙 妍璐： 時研究科列を考慮した半導体工場におけるチョコ停発生頻度に関する変動パターンの分析
12. 戸田 満大： 企業診断システム OMAC における階層間ギャップと重篤度の関連性分析
13. 野上 和紀： ウェーハ工程における歩留まり向上のための要因分析
14. 野島 龍一： ベイジアンネットワークを用いた半導体部品生産工程におけるチョコ停問題の分析
15. 本間 直樹： ロジットモデルを用いたリボルビング払い利用顧客判別モデルの構築
16. 松田 悠揮： ビジネスゲーム空間における Internal 行動者の意思決定への影響
17. 三重野 将大： e-WoM を用いた従来型携帯電話市場分析
18. 森岡 逸平： テキストマイニングによるスマートフォンの市場分析
19. 山咲仁： 半導体生産工場の試験工程における生産スケジューリング

氏 名	ターンプル・ スティーヴェン・ジョン	職 名	准教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻		専任
	経営・政策科学専攻		専任
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	理論経済学、ゲーム論、産業経済		

1. 教育

◆ 担当授業科目：

学類 Introduction to Social and Economics Sciences 経済動学
大学院前期課程 データ解析基礎 特定課題研究

◆ 博士前期指導

Liu Huan（経営学修士）“Gender Attitudes Toward Going Green”
Ebony Staton（経営学修士）“Eco-Marketing and Consumer Behavior”
Assem Zhilkibayeva（公共政策修士）“Standardization of Eco-Products”
Thananya Fangmongkoln（経営学修士）“Implementing the ISO 14001 Standard”
Udawattage Pushipasiri（経営学修士）“Greening the Supply Chain”
Nandio Durao（経営学修士）“Financial Impacts of Eco-Friendly Business Practices”

2. 研究

◆ 当該年度の研究活動概要：

科学研究費 基盤研究（C）「ソフトウェア産業による日本経済成長への貢献に関する研究」（代表）

◆ 著書・論文等：

Stephen Turnbull (2011), 「経済学と経営行動科学」, 平野光俊他(編集), 経営行動科学ハンドブック, 中央経済社, pp. 20-25.

◆ 学会発表等：

Mehdi Rasouli Gh., Stephen Turnbull (発表者), and Yasuo Hoshino, “Assets growth, foreign ownership and type of industry in multinational companies,” Association of Japanese Business Studies Annual Meeting, Nagoya JAPAN, June 24-25, 2011.

◆ その他：

3. 学内運営

◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：

学生担当委員

- ◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：

学類 コンピューター委員

4. 学外の社会貢献

- ◆ 「経営行動科学」編集委員
「経済研究」概要編集者
- ◆ 出前講義：牛久栄進高等学校、筑波秀英高等学校

氏 名	高木 英明	職 名	教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻 専任		
	経営・政策科学専攻 専任		
	コンピュータサイエンス専攻 兼担		
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	応用確率過程，待ち行列理論，サービスサイエンス		

1. 教育

- ◆ 担当授業科目：
 - 社会工学類 微積分Ⅰ／応用確率過程
 - 社会システム工学専攻 応用確率過程論
 - 経営・政策科学専攻 サービス科学：理論と実践／特定課題研究
- ◆ 学類卒業生，博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目：
 - 社会工学類
 - 島田尚哉：類別状況を用いた打者・打順の評価手法について－2010 年日本プロ野球ペナントレースの成績を用いて－
 - 齋藤慶太：献血における待ち行列に関する考察
 - 川合洋輔：実際のトラヒックデータを用いたコールセンターのモデル化
 - 社会システム工学専攻
 - 田口裕太郎：オペレーターの後処理があるコールセンターの待ち行列モデルの解析
 - 経営・政策科学専攻
 - 石橋達郎・汪洋・平岡慎太郎・徐毅偉・沈倩・江敏瑄・趙剛，・沈穎杰：特定課題研究「株式会社プラザマアムにおける介護ビジネスの現状分析及び改善提案」

2. 研究

- ◆ 平成 22 年度の研究活動概要：
 - 科学研究費補助金，基盤研究(C)(2)，「資源の動的最適配分法の理論とその無線周波数帯域割当て及びサービス科学への応用」（代表）
 - 経済産業省産業技術人材育成支援事業（サービス工学人材分野）「大学院生と企業の実務者等が一堂に学ぶサービス進化システムを先導する人材の育成」（代表）
- ◆ 著書・論文等：
 - 高木英明・岡田幸彦・吉瀬章子・繁野麻衣子，「顧客志向ビジネス・イノベーションのためのサービス科学に基づく高度専門職業人育成プログラムの開発」、人工知能学会誌、25 巻 5 号、pp.726-734、2010 年 9 月。

◆ 学会発表等：

H.Takagi, Y.Okada and A.Yoshise, Joint human resource development for local service industries and graduate students, 19th Annual Frontiers in Service Conference, Karlstadt, Sweden, 2010 年 6 月 10-13 日.

高木英明, サービス・イノベーション人材育成の試み, 第3回横幹連合総合シンポジウム, 予稿集 p.3, 早稲田大学, 2010 年 9 月 6 日.

田口裕太郎・高木英明, オペレータの後処理があるコールセンターの待ち行列モデルの解析, 待ち行列シンポジウム「確率モデルとその応用」報文集, pp.201-210, 京都市 (京都ガーデンパレス), 2011 年 1 月 17-19 日.

木村行雄・高木英明, サービスドミナントロジックの視点から見た国内製造業の評価, 日本オペレーションズ・リサーチ学会 2011 年春季研究発表会, アブストラクト集 pp.92-93, 電気通信大学, 平成 22 年 3 月 17 日.

高木英明・星野厚・堀川寛司, 2 画面並列進行によるプレゼンテーションの効果・効率向上, 日本オペレーションズ・リサーチ学会 2011 年度春季研究発表会, アブストラクト集 pp.108-109, 電気通信大学, 平成 22 年 3 月 17 日.

3. 学内運営

◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：

全学：筑波大学出版会運営・編集委員, 北アフリカ研究センター運営委員・研究員、キャリア支援室員

システム情報工学研究科：研究倫理委員会（委員長）、就職委員会（委員長）

◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：

社会システム工学専攻： 専攻長

経営・政策科学専攻： 特定課題研究担当

4. 学外の社会貢献

◆ 北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科 アカデミックアドバイザー

独立行政法人森林総合研究所 本所コンプライアンス推進委員会委員

筑波大学産学連携会 会長補佐

日本オペレーションズ・リサーチ学会待ち行列研究部会主査

Performance Evaluation 誌 編集委員

氏 名	高橋正文	職 名	
専攻（博士後期課程）	専任		
専攻（博士前期課程）	専任		
担当学類	専	兼	
研究分野			

1. 教育

- ◆ 担当授業科目：
- ◆ 学類卒業生，博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目

2. 研究

- ◆ 当該年度の研究活動概要：
- ◆ 著書・論文等：
- ◆ 学会発表等：
- ◆ その他：

3. 学内運営

- ◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：
- ◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：

4. 学外の社会貢献

氏 名	谷 口 綾 子	職 名	講 師
専攻（博士後期課程）	リスク工学専攻 社会システム・マネジメント専攻	専任. 兼任	
専攻（博士前期課程）	リスク工学専攻 社会システム・マネジメント専攻	専任. 兼任	
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	都市交通計画，態度行動変容研究，災害リスク・コミュニケーション		

1. 教育

◆ 担当授業科目：

【学類】 都市計画実習，統計Ⅰ，交通計画，暮らしのリスクと安心・安全な社会形成，生産・品質管理／マネジメント実習／経営工学基礎演習

【大学院前期課程】 都市安全管理特論，リスク工学特別演習，リスク工学基礎，都市リスクコミュニケーション，リスクマネジメント序論

◆ 学類卒業生，博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目

【学類】

奥山有紀：子育てバリアフリーにおける世代間ギャップと副作用の存在に関する研究

横手翼：かしてつバス専用道開通に伴う沿線高校への大口特約一括定期件導入可能性の検証

吉村聡哉：車両と歩行者・自転車間のコミュニケーションによる協調行動の生起に関する研究

【博士前期】

今井唯：観光地における多様な主体の地域愛着に関する研究～ニセコ・倶知安地域を事例として～

2. 研究

◆ 当該年度の研究活動概要：

- 平成 22-24 年度 科学研究費(若手 B)(代表) 子育てバリアフリーの実現に向けた子連れ外出の難易度認知に関する研究 1300,000 円
- 平成 22-24 年度 科学研究費(基盤 B(分担)) パーソナル・ヴィークルの共同利用システムの社会導入のためのMM研究 400,000 円
- 平成 22-24 年度 科学研究費(基盤 B(分担))エクメーネ・リサーチジェンスの新体研究科構築 500,000 円
- 平成 22-24 年度 科学研究費(基盤 A(分担)) 市民生活行動学の構築による部門横断型まちづくりのための政策意思決定方法論の開発 200,000 円
- 平成 22-24 年度 科学研究費(基盤 B(分担)) シティズンシップ教育アプロー

チによるMM教育のカリキュラム構築 500,000 円

6. 平成 22-24 年度 科学研究費(基盤C(分担)) 標識撤去による美的で安全な交通環境「Shared Space」に関する研究 200,000 円
7. 平成 21-23 年度 科学研究費(基盤 B(分担))) シティズンシップ教育アプローチによるMM教育のカリキュラム構築 (2009-2011)
8. 平成 22 年度 受託研究 受託研究 国道 355 号の交通渋滞緩和に関する研究(茨城県土浦土木事務所) 909,415 円
9. 平成 22 年度 奨学寄付金 ゲーミング手法を活用した土砂災害リスクコミュニケーション手法の開発と実践 400,000 円 (砂防地滑り技術センター)

◆ 著書・論文等：

1. Psychological Approaches to Sustainability: Current Trends in Theory, Research and Applications : Chapter 8. Promoting Pro-Environmental Intentions. Theoretical Background and Practical Applications of Travel Feedback Programs for Car Use Reduction, Editor: Victor Corral-Verdugo, Cirilo H. Garcia-Cadena, Martha Frias-Armenta, NOVA Publishers, 2010.
2. 佐藤 慎祐・菊池 輝・谷口 綾子・林 真一郎・西 真佐人・小山内 信智・伊藤 英之・矢守 克也・藤井 聡：災害情報のメタ・メッセージによる副作用に関する研究，災害情報，9, pp. 172-178, 2011.
3. 天野 真衣，谷口 綾子，藤井 聡：社会実験を通じた自発的街路景観変容に関する研究～自由が丘しらかば通りを事例として～、景観・デザイン研究論文集, 9, pp. 73-82, 2010.
4. 谷口 綾子，小林 三千宏，田中 義晴，平石 浩之：モビリティ・マネジメント教育の長期的効果継続性に関する実証分析ーモビリティ・マネジメント実施3年後の意識調査よりー，土木学会論文集 H, Vol. 2, pp.45-52, 2010.
5. 高橋 勝美，谷口 綾子，藤井 聡：地域の公共交通の役割・大切さを学ぶモビリティ・マネジメント授業の開発と評価，土木学会論文集 H, Vol. 2, pp.28-38, 2010.
6. 藤井 聡，唐木 清志，工藤 文三，池田 豊人，岡村 美好，緒方 英樹，高橋 勝美，谷口 綾子，日比野 直彦，堀畑 仁宏，原 文宏，松村 暢彦：「土木」と「社会科教育」の連携の意義と可能性，土木学会論文集 H, Vol. 2, pp.39-44, 2010.

◆ 学会発表等：

- (1) 林真一郎、小山内信智、伊藤英之、谷口綾子、藤井聡：土砂災害に対する住民の警戒避難行動促進のための働きかけ手法，土木技術資料 Vol52 No.8. pp. 14～17, 2010.

- (2) 谷口綾子：筑波大学におけるカーシェアリング・システム導入経緯，土木計画学研究・講演集(CD-ROM) Vol.42, 2010.
 - (3) 水谷亮介，谷口綾子：筑波大学におけるカーシェアリングの利用実態とその影響に関する研究，土木計画学研究・講演集(CD-ROM) Vol.42, 2010.
 - (4) 宮川雄貴，谷口綾子：小中学校職員の通勤手段規制と、地域の交通環境との関連性に関する研究，土木計画学研究・講演集(CD-ROM) Vol.42, 2010.
 - (5) 佐藤良太，谷口綾子：バスチョイス層の路線バス満足度に接客サービスが与える影響に関する地域間比較，土木計画学研究・講演集(CD-ROM) Vol.42, 2010.
 - (6) 佐藤慎祐・菊池輝・谷口綾子・林真一郎・西真佐人・小山内信智・伊藤英之・矢守克也・藤井聡：災害情報のメタ・メッセージによる副作用に関する研究，土木計画学研究・講演集(CD-ROM) Vol.42, 2010.
 - (7) 岡部翔太，谷口綾子，藤井聡，石田東生：社会的価値と高速道路料金大幅引き下げ政策の賛否意識の関連分析，土木計画学研究・講演集(CD-ROM) Vol.41, 2010.
 - (8) 寺内義典，大森宣暁，谷口綾子，真鍋陸太郎：居住地周辺の子育て環境についての意識と居住地選択，土木計画学研究・講演集(CD-ROM) Vol.41, 2010.
 - (9) 柳田穰，谷口綾子，石田東生：公共交通機関のこども連れ利用における心理的バリアの軽減を目的とした説得的コミュニケーションによる態度変容効果分析，土木計画学研究・講演集(CD-ROM) Vol.41, 2010.
 - (10) 糟谷賢一，谷口綾子，石田東生：交通環境教育への健康問題追加による影響分析，土木計画学研究・講演集(CD-ROM) Vol.41, 2010.
 - (11) 菊池輝，佐藤慎祐，谷口綾子，林真一郎，西真佐人，小山内信智，伊藤英之，矢守克也，藤井聡：災害情報のメタ・メッセージ効果に関する研究，砂防学会研究発表会講演集，pp.XX-XX, 2010.
- その他： 該当なし

3. 学内運営

◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：

自転車環境WG（学生生活課）

男女共同参画推進室員（男女共同参画推進室）

キャンパス交通システムの利用促進

筑波大学カーシェアリングシステム「カーシェアつくば」の導入，マネジメントと利用促進

◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：

リスク工学専攻 広報委員，FD 委員
社会工学類 クラス担任（3 年生）

4. 学外の社会貢献

◆ 学会活動（役員/委員、論文査読等）

- 土木学会論文集 H 部門 論文編集委員
- 日本災害情報学会 学術委員会 論文編集委員
- 土木と学校教育フォーラム 実行委員会 幹事
- 日本モビリティマネジメント会議 実行委員会 委員兼幹事

◆ 招待講演・基調講演

- (1) 国土交通省北海道運輸局旭川運輸支局 公共交通セミナーにおける講演「モビリティ・マネジメントによる公共交通利用促進」 2011 年 3 月 10 日
- (2) 福祉のまちづくり学会 子育て・子育てバリアフリー教室における講演「子育て環境の変化と意識の変化」 2011 年 2 月 19 日
- (3) 富山市まちづくりセミナーにおける講演「モビリティ・マネジメントの展開 ～ まちづくりと公共交通 ～」 2011 年 2 月 5 日
- (4) 国土交通省第 31 回総合的交通基盤整備連絡会議における講演「モビリティ・マネジメントの勘所」 2011 年 1 月 17 日
- (5) 青森県八戸市 地域公共交通活性化研修会 講師 「公共交通の質向上のために ～心のバリアフリー、接客サービス、デザインの視点から～」、2010 年 11 月 25 日
- (6) 秦野市 北小学校 TDM授業 講師 2010 年 11 月 1 日
- (7) 秦野市 東小学校 TDM授業 講師 2010 年 11 月 4 日
- (8) 秦野市 本町小学校 TDM授業 講師 2010 年 10 月 13 日
- (9) 高知県四万十町立興津小学校における土砂災害避難促進授業 講師 2010 年 10 月 4 日
- (10)新潟エコ通勤 2010 年 8 月 31 日
- (11)秦野市役所： 小学校教員対象の TDM教育セミナー 講師 2010 年 8 月
- (12) 日本災害情報学会 シンポジウム「人ごとではない土砂災害 ― 情報であなたは避難しますか？」におけるパネリスト，「土砂災害の避難行動誘発のための説得的コミュニケーション・プログラム ～土佐町の事例～」，2010 年 4 月

◆ 政府・自治体の委員会活動

- (1) (社)土木学会 2010 年度土木計画学研究委員会 第 4 回国際セミナー
【Shared Space】開催(講師:カール・ハインツ・ポッシュ氏(オーストリア、
FGM ディレクター): 2011 年 8 月 2 日
- (2) 国土交通省 政策統括官付き 多様な主体の参画による地域モビリティの
確保施策に関する勉強会 委員 2010 年 9 月～2011 年 3 月
- (3) 内閣官房 情報通信技術担当室 高度情報通信ネットワーク社会推進戦略
本部 「ITS に関するタスクフォース」 委員 2010 年 9 月～
- (4) 茨城県総合計画審議会 住みよいいばらきづくり専門部会 委員
- (5) 相模原市 橋本駅周辺 TDM 検討委員会 座長
- (6) 龍ヶ崎市公共交通活性化協議会 委員
- (7) 国土交通省福岡国道事務所 「働く女性 ITS 勉強会」 委員
- (8) 国土交通省運輸審議会 運輸安全マネジメント部会 専門委員(2008 年 4 月
～)
- (9) 茨城県かすみがうら市 総合交通会議 委員 2008 年 10 月～
- (10) 秦野市 TDM 計画 小学校における TDM 教育 アドバイザー・講師
- (11) 三郷市環境審議会 委員
- (12) 交通政策審議会 環境部会 臨時委員、国土交通省(2007 年 4 月～2009
年 3 月)

氏 名	谷 口 守	職 名	教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻 専任 経営政策科学専攻		
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	都市地域計画，交通計画，環境計画		

1. 教育

◆ 担当授業科目：

学類 都市計画実習／社会調査実習／都市構造論／交通政策論
大学院前期課程 社会資本ストック管理政策

◆ 学類卒業生，博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目

学類

落合淳太：街区スケールでのスマートグリッド導入適性の検討

宮木祐任：まちづくり交付金における自治体自己評価の傾向分析

－「分権化」「見える化」時代の新たな課題－

山室寛明：ネットショッピングと都市サービスの空間分析

－web 調査と i タウンページを用いて

博士前期

安立光陽：コンパクトシティ形成過程における都市構造リスクの実態と低減可能性

植田拓磨：サイバースペースが買い物行動に及ぼす影響とそのマネジメント

2. 研究

◆ 当該年度の研究活動概要：

科学研究費 基盤研究(B)「エクメーネ・リサーチェンスの新体研究科構築」
(代表)

科学研究費 挑戦的萌芽研究「サイバースペースを考慮したトータルスペース・マネージメント手法の開拓」(代表)

科学研究費 基盤研究(B)「都市圏の構造変化メカニズムと多核的都市整備に関する学術的研究」(分担)

研究助成金 「アポトーシス(プログラムされた細胞死)に学ぶコンパクトなまちづくり」

積水化学工業株式会社 (代表)

研究助成金 「「水島・玉島港」における地域従業者自らによる「みなとまちづくり」」

日本港湾協会(社) (代表)

研究助成金 「新しい情報通信技術を活かした地域再生策の研究」

テレコム先端技術研究支援センター(財) (代表)

研究助成金 「交通需要予測に頼らない「縁結び型」松江交通まちづくり」

民間都市開発推進機構(財) (代表)

◆ 著書・論文等：

著書

TANIGUCHI,M., KODAMA,K. and FUJII,T.: Urban Planning Guidelines for a Low Carbon Society: Focus on Urban Transport, Ed.by Pratelli,A. and Brebbia,C.A., *Urban Transport XVI*, pp.149-156, WIT PRESS, 2010.5.

谷口守・橋本晋輔：交通行動から考える都市周辺部の持続可能な土地利用、川上光彦・浦山益郎・飯田直彦＋土地利用研究会編著：人口減少時代における土地利用計画、pp.22-27、学芸出版社、2010.8.

査読付き論文

谷口守・橋本成仁・植田拓磨：個人行動特性に配慮した買物行動のサイバー空間への潜在的な代替性把握、土木学会論文集D、Vol.66、No.2、pp.290-299、2010.6.

神田祐亮・佐藤貴行・谷口守・藤原章正：地方都市圏における組織的プログラムによる職場MM継続実施と効果の検証、交通工学論文報告集、Vol.30、CD-Rom、2010.9.

藤井啓介・谷口守・橋本成仁：エコマインド・パラドクス構造の実態、一エコカーの保有・利用行動に着目して一、交通工学論文報告集、Vol.30、CD-Rom、2010.9.

植田拓磨・神田祐亮・山東信二・谷口守：ソーシャル・キャピタル形成がモビリティ・マネジメントに及ぼす効果、交通工学論文報告集、Vol.30、CD-Rom、2010.9.

谷口守・橋本成仁・氏原岳人・安立光陽：低炭素社会に向けた個人の運転量半減化プランの構成分析、土木計画学研究・論文集、No.27、pp.431-436、2010.11.

谷口守・橋本成仁・植田拓磨：行動連鎖表を用いたサイバー化による都市滞留行動への影響分析、一購買活動の空間代替・補完関係に着目した試論一、土木計画学研究・論文集、No.27、pp.375-384、2010.11.

橋本成仁・谷口守・飛川明俊：歩道・非歩道における車いすの走行環境に関するバリア評価構造分析、土木計画学研究・論文集、No.27、pp.729-736、2010.11.

橋本成仁・谷口守・水嶋晋作・吉城秀治：街路空間要素が自動車走行速度に

与える影響に関する研究、*土木計画学研究・論文集*、No.27、pp.737-742、2010.11.

橋本成仁・谷口守・吉城秀治・水嶋晋作：ドライバー意識に着目した街路空間による自動車走行速度抑制の可能性、*土木計画学研究・論文集*、No.27、pp.457-448、2010.11.

氏原岳人・谷口守：エコロジカル・フットプリント指標の算出基準に関する最新動向、－「ECOLOGICAL FOOTPRINT STANDARDS 2009」に基づいて－、*土木学会論文集D*、Vol.66、No.2、pp.300-305、2010.6.（ノート）

論説

谷口守：低炭素社会に向けた都市計画、*土木学会誌*、2010.6.、pp.25-27

谷口守：コンパクトシティの「その後」と「これから」、*日本不動産学会誌*、No.92、(Vol.24,No.1) pp.59-65、2010.7.

谷口守：高度利用を再考する、*区画整理士会報*、No.146、pp.4-7、2010.9.

土井勉・谷口守：本当の「公共」交通とは、特集「新しい公共交通－、生活支援ネットワークへ」、*City & Life*、No.97、pp.2-7、2010.9.

◆ 学会発表等：

国際会議発表

T. Ujihara and M. Taniguchi : Interregional Cap and Trade Using Ecological Footprint for Improvement of the Environmental Balance, *Footprint Forum* 2010. Colle Val d'Elsa, Italy, 2010.6.

Y. Zhang, M. Taniguchi and S. Hashimoto: Impact of MRT on Resident' Travel Behaviors in Shanghai, With a View to City Layout, *9th Symposium of International Urban Planning and Environment Association*, Guangzhou, China, 2010.8.

口頭発表

谷口守・氏原岳人：アポトーシス(プログラムされた細胞死)を配慮した都市・地域計画、*土木計画学研究・講演集*、No.41、CD-Rom、2010.6.

高田俊哉・安立光陽・谷口守：松江市におけるL R T導入に向けた試みと今後の課題、*土木計画学研究・講演集*、No.41、CD-Rom、2010.6.

高見淳史・谷口守：ベルリン都市圏における中心地システムの再構築、SS9「広域の交通まちづくり」、*土木計画学研究・講演集*、No.41、CD-Rom、2010.6.

谷口守：一様なる多様性：その実際と課題、*土木計画学研究・講演集*、No.41、CD-Rom、2010.6.

土居厚司・高橋正・谷口守：エコ通勤ツールとしての交通 IC パーク&ライドサービスの可能性と環境負荷軽減効果、第5回 *JCOMM*、2010.7.

袴田聡・高橋正・谷口守：企業・市役所を対象としたエコ通勤の取組と今後の課題、第5回 *JCOMM*、2010.7.

加田厚・細川和宏・谷口守・山本和幸・神田佑亮・佐藤貴行：松江都市圏におけるノーマイカーウィークの実施、－3年間にわたる職場 MM の地道な展開による成果－、第5回 *JCOMM*、2010.7.

藤井啓介・谷口守・橋本成仁：エコマインド・パラドクスの実態とその構造、第5回 *JCOMM*、2010.7.

氏原岳人・古市佐絵子・白戸智・谷口守：エコロジカル・フットプリント指標に基づく自治体レベルの環境バランス評価、－実践計算パッケージ「EF-Calc」を用いて－、*環境システム研究論文発表会講演集*、Vol.38、pp.245-251、2010.10.

谷口守・橋本成仁・藤井啓介・金井太志：都市サービス撤退に伴う都市構造リスクの発生パターンに関する研究、*土木計画学研究・講演集*、No.42、2010.11.

3. 学内運営

- ◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：
全学教育企画室委員
- ◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：
学類 クラス担任（3年生）、授業評価委員、非常勤講師審査委員
3専攻 カリキュラム委員、広報委員

4. 学外の社会貢献

- ◆ 学会活動（役員/委員）
IFHP(International Federation of Housing and Planning) 理事
日本都市計画学会 学術委員会副委員長
Urban Transport 2010 編集委員
交通工学研究会 学術委員
International Planning Studies 編集委員
日本モビリティ・マネジメント会議 理事
- ◆ 学外から委嘱された委員、兼業など
国土交通省 「社会資本整備審議会 都市計画制度小委員会」委員
国土交通省 「交通基本法立法に向けた交通政策審議会」委員
内閣府 「今後の跡地利用施策の展開方策に関する検討委員会」委員
環境省 「中長期ロードマップ調査 地域づくりWG」委員
環境省 「中長期ロードマップ調査 土地利用・交通SWG」委員
国土交通省 「独立行政法人都市再生機構のあり方に関する検討会」委員

国土交通省 「地域公共交通活性化・再生の推進方策に関する検討委員会」
委員

国土交通省中国地方整備局 「明日の旭川を語る会」 委員

茨城県 「茨城県公共交通活性化指針策定委員会」 委員

岡山県 「岡山県環境審議会」 委員

倉敷市 「倉敷市都市計画審議会」 委員

倉敷市 「倉敷市地域公共交通会議」 議長

桜川市 「桜川市都市計画マスタープラン策定委員会」 委員

道路空間高度化機構(財) 「道路空間高度化研究会」 委員

都市計画協会(財) 「都市施設・市街地整備に関する都市計画制度のあり方
検討委員会」 委員

都市みらい推進機構(財)「ブラウンフィールドの活用方策に関する研究会」
委員長

計量計画研究所(財)「コンパクトシティの分析・評価に関する基礎的調査業
務」アドバイザー

計量計画研究所(財)「通勤交通グリーン化の推進に関する検討会」 委員

都市づくりパブリックデザインセンター(財)「都市型コミュニティのあり方
と新たなまちづくり政策研究会」 委員

計量計画研究所(財) 「環境対応車を活用したまちづくり検討委員会」 委員
首都圏新都市鉄道株式会社 「列車運行サービスに関する検討会」 委員

氏 名	張 勇兵	職 名	教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻 専任		
	経営・政策科学専攻 専任		
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	情報工学		

1. 教育

- ◆ 担当授業科目：

学類 情報ネットワーク／経営工学情報実習／情報技術実験／社会工学実習／社会工学における戦略的思考：理論，実験，および演習

大学院前期課程 情報ネットワーク特論/特定課題研究
- ◆ 学類卒業生，博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目

岩野亮介（社会工学類） 無線 LAN 機能付携帯電話を用いた位置情報取得および配信システムの研究開発

佐藤博俊（社会工学類） クラウドを利用した図書の自己管理システムの研究開発

森下裕介（社会工学類） クラウド環境の構築と実験

2. 研究

- ◆ 当該年度の研究活動概要：
 1. 科学研究費 基盤研究（C）「無線メッシュネットワークにおけるスループットの最大化とフローの公平性に関する研究」（代表）
 2. 経済産業省 産業技術人材育成支援事業（サービス工学人材分野）「大学院生と企業の実務者等が一堂に学ぶサービス進化システムを先導する人材の育成」（分担）
 3. 国立情報学研究所共同研究費 「無線ネットワークにおける電波資源の有効利用に関する研究」（分担）
- ◆ 著書・論文等：
 1. Y. Imasaki, Y. Zhang, and Y. Ji: Secure and Efficient Data Transmission in RFID Sensor Networks, *Int. J. Security and Networks*, Vol. 5, No. 2/3, pp. 119-127 (March 2010).
 2. F. Inoue, Y. Zhang, and Y. Ji: Data Management for Large-scale Position-tracking Systems, *IEICE Trans. Communications*, Vol. E94-B, No. 1, pp. 45--54 (January 2011)
- ◆ 学会発表等：

3. 学内運営

- ◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：
システム情報工学研究科情報環境委員会委員、全学教育計算機システム文修
サテライト運営委員、第3学群サブネット委員会委員、共通科目「情報処理」
運営委員会委員

- ◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：
専攻 社会システム・マネジメント専攻コンピュータ委員長
学類 コンピュータ委員長、クラス担任（3年生）、学生委員

4. 学外の社会貢献

- ◆ 学会活動（役員/委員、論文査読等）、学外から委嘱された委員、兼業など.
 1. Journal of Peer-to-Peer Networking and Applications, Springer, 副編集長
 2. 情報処理学会論文誌ネットワークグループ、編集委員
 3. **Program Committee**, 5th Int. Conf. Frontier of Computer Science and Technology (FCST2010), Changchun, China, August 18-22, 2010.
 4. **Program Committee**, Wireless and Mobile Networking Symposium, IEEE Int. Conf. Commun. (ICC2010), Cape Town, South Africa, May 23-27, 2010.
 5. **Program Committee**, IEEE Global Communications Conf. (GLOBECOM2010), Miami, Florida, December 6-10, 2010.

氏 名	辻 爾志	職 名	准教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻		専任
	経営・政策科学専攻		専任
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	ファイナンス・インベストメント、アセット・プライシング、コーポレート・ファイナンス、フィナンシャル・リスク・マネジメント、行動ファイナンス		

1. 教育

◆ 担当授業科目：

学類 ファイナンス／財務会計学／フレッシュマン・セミナー

大学院前期課程 ファイナンス／コーポレート・ファイナンス

2. 研究

◆ 当該年度の研究活動概要：

科学研究費 基盤研究（C）「行動コーポレート・ファイナンスに関する理論と実証」（研究代表者）

研究助成金 日本証券奨学財団 「行動ファイナンスの観点からの日本企業の配当政策に関する実証研究」（研究代表者）

◆ 著書・論文等：

Chikashi TSUJI (2011), Do Industries Contain Predictive Information for the Fama-French Factors? *Quantitative Finance*, Online published.

Chikashi TSUJI (2011), Do the Japanese Machinery Industry Corporations Cater to the Dividend Demand? *Annual Report on the Multi Use Social and Economic Data Bank*, Vol. 88, pp. 73-88.

Chikashi TSUJI (2011), Exploring the Corporate Dividend Payment Behavior of the Japanese Chemicals Industry Firms, *The Open Business Journal*, Vol. 4, pp. 1-13.

Chikashi TSUJI (2010), In Search of the Economic Meaning and Role of the Fama-French Factors in Japan: Implications for Investment Management, *The Open Management Journal*, Vol. 3, pp. 1-15.

Chikashi TSUJI (2010), What are the Determinants of Dividend Policy? The Case of the Japanese Electrical Appliances Industry, *Business and Economics Journal*, Vol. 2010, BEJ-9.

Chikashi TSUJI (2010), A Test of the Catering Theory of Dividends: The Case of the Japanese Electric Appliances Industry, *Journal of Management Research*, Vol. 2, No. 2, E6.

Chikashi TSUJI (2010), Testing the Catering Theory of Dividends: The Case of the Japanese Chemicals Industry, *Interdisciplinary Journal of Contemporary Research in Business*, Vol. 2, No. 3, pp. 168-184.

3. 学内運営

- ◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：
全学データバンク 委員
- ◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：
学類 クラス担任（1年生）
SSM 修士論文委員、運営委員

4. 学外の社会貢献

- ◆ 学会活動（役員/委員、論文査読等）、学外から委嘱された委員、兼業など。
The Open Business Journal Editorial Advisory Board、The Open Business Journal
レフェリー

氏 名	堤 盛人	職 名	准教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻		専任
	経営・政策科学専攻		専任
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	応用空間統計学，土木計画学		

1. 教育

◆ 担当授業科目：

学類 線形代数Ⅱ・プロジェクトの評価とファイナンス・都市計画マスタープラン策定実習（共同）・東京の都市学（分担）・都市構造論（分担・責任者）

大学院前期課程 プロジェクト評価論・プロジェクト評価演習

◆ 学類卒業生，博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目

社会工学類

池田 俊輔：「新規住宅開発地における無電柱化の現状と課題 ―つくばエクスプレス研究学園駅からみらい平駅における駅周辺の住宅地を対象として―」

澤 洋輔：「我が国の賃貸住宅市場における空室率に関する基礎的考察 ―東京都を対象として―」

爲季 和樹：「フロー間の空間的相関を考慮した重力モデルの理論的発展」（平成 22 年度都市計画同窓会賞優秀賞（卒業論文）受賞）

社会システム工学専攻

宮下 将尚：「オフィス賃料の計量分析への地理空間情報の活用」

村上 大輔：「空間回帰モデルに基づく集計データの面補間」（平成 22 年度都市計画同窓会賞優秀賞（修士論文）受賞）

2. 研究

◆ 当該年度の研究活動概要：

日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究(C) 「土木計画学における空間計量経済モデルの実用化に関する研究」（研究代表者 平成 20 年度～22 年度）

◆ 著書・論文等：

(1) 堤盛人・瀬谷創：「便益計測への空間ヘドニック・アプローチの適用」，『土木学会論文集』，Vol.66，No.2，pp.178–196，2010.

(2) Marie Kawada, Naohisa Okamoto, Haruo Ishida and Morito Tsutsumi: Effects of Tsukuba Express Project on the Residents' Travel Behavior, Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies, Vol. 8,

pp.539–547,2010.

(3) 堤盛人・村上大輔：「市町村合併による統計データの集計単位変更に対する空間計量経済モデルを用いた面補間法」,『応用地域学研究』, 第 15 号, pp.23–35, 2010.

◆ 学会発表等：

(1) 村上大輔・堤盛人：「空間的な相関を考慮した面補間法」,『日本写真測量学会 平成 22 年度 年次学術講演会 発表論文集』, pp.51–54, 2010.

(2) 嶋田章・堤盛人：「GIS を用いた首都圏広域における住宅地価格の推計」,『日本写真測量学会 平成 22 年度 年次学術講演会 発表論文集』, pp.55–58, 2010.

(3) Daisuke Murakami and Morito Tsutsumi: Development of kriging by introducing covariance function of shortest-path distance, presented at the Japan Geoscience Union Meeting 2010, Makuhari Messe International Conference Hall, Chiba, Japan, 24 May 2010. (" H-TT (Human Geosciences(H) / Technology & Techniques(TT)) 031 GIS)

(4) 宮城卓也・堤盛人・山崎清：「開発者行動を考慮した応用都市経済モデルの可能性」『土木計画学研究・講演集』, Vol.41, (CD-ROM 講演番号：390), 2010.

(5) 瀬谷創・堤盛人：「階層ベイズモデルを用いた不動産データの復元」『土木計画学研究・講演集』, Vol.41, (CD-ROM 講演番号：192), 2010.

(6) Daisuke Murakami and Morito Tsutsumi: A new areal interpolation technique based on spatial econometrics, presented at the Forth World Conference of the Spatial Econometrics Association, Courtyard Magnificent Mile Downtown Chicago Hotel, Chicago, Illinois, USA, 9–12 June 2010.

(7) Hajime Seya and Morito Tsutsumi: Spatial hierarchal Bayesian model for missing data imputation, presented at the Forth World Conference of the Spatial Econometrics Association, Courtyard Magnificent Mile Downtown Chicago Hotel, Chicago, Illinois, USA, 9–12 June 2010.

(8) Daisuke Murakami and Morito Tsutsumi: Development of kriging by covariance function considering shortest-path distance, presented at the 9th International Workshop Spatial Econometrics and Statistics, Orleans, France, 24–25 June 2010.

(9) 嶋田章・堤盛人：「大都市圏広域における住宅地価格の分布図作成」,『地理情報システム学会講演論文集』, Vol.19, 3D–1, (CD-ROM), 2010.

(10) 村上大輔・堤盛人：「空間統計モデルに基づく面補間法の提案」,『地理情

報システム学会講演論文集』, Vol.19, 3C-2 (CD-ROM), 2010.

(11) Yoshiki Yamagata, Daisuke Murakami , Morito Tsutsumi , Hajime Seya and Yuichiro Kawaguchi, “Does Energy Performance Labeling on Residential Housing Increase Value?” –An Empirical Evidence in Japan–

(12) Daisuke Murakami and Morito Tsutsumi: A New Areal Interpolation Method Employing Spatial Process Model, The International Symposium on Statistical Analysis of Spatio-Temporal Data, pp.63–69, 2010. (presented at The International Symposium on Statistical Analysis of Spatio-Temporal Data, Kamakura, Japan, 4-6 November 2010.)

(13) 村上大輔・堤盛人:「データの集計単位変更への空間過程モデルの応用」, 応用地域学会, 12月4日～5日, 2010, 名古屋大学.

(14) 瀬谷創・堤盛人・山形与志樹:「Weighted Average Least Squares Estimator for Spatial Econometric Model」, 応用地域学会, 12月4日～5日, 2010, 名古屋大学.

(15) 瀬谷創・堤盛人・吉田靖・川口有一郎:「空間的自己相関を考慮した不動産賃料の空間予測モデルに関する実証比較分析」, 日本不動産金融工学学会, 2月19日, 2011, 早稲田大学大学院ファイナンス研究科 (コレド日本橋) (大会予稿集 pp.85–104) .

(16) 山形与志樹・村上大輔・瀬谷創・堤盛人・川口有一郎:「環境性能評価が不動産価格に与える影響の時空間波及分析」, 日本不動産金融工学学会, 2月19日, 2011, 早稲田大学大学院ファイナンス研究科 (コレド日本橋) (大会予稿集 pp.67–83.) .

◆ その他: なし

3. 学内運営

◆ 系や全学組織等の業務への貢献: 特になし

◆ 専攻組織の業務への貢献 (委員会等):

社会工学類: 学生担当教員

社会システム・マネジメント専攻 社会システム工学専攻 経営・政策科学専攻 (合同): 図書委員

4. 学外の社会貢献

◆ 学会活動 (役員/委員、論文査読等)

日本写真測量学会 理事

日本写真測量学会 学術講演会 実行委員会 委員長

査読委員/査読者：土木学会論文集 D 部門編集委員，土木計画学研究委員会土木計画学・学術小委員会委員，土木計画学研究・論文集 No. 27，日本不動産学会，日本写真測量学会，Empirical Economics，Journal of Geographical Systems，Review of Urban & Regional Development Studies，応用地域学会

◆ 社会的活動

総務省「政策評価・独立行政法人評価委員会」 臨時委員

国土地理院 総合評価委員会 委員

国土交通省 平成 22 年度 土地履歴調査 地区調査委員会 委員

国土地理院 測量機器及び測量成果の検定機関登録に関する検討会 委員

国土交通省 用途規制の経済分析に関するワーキンググループ 委員

環境省 平成 22 年度地球温暖化対策に係る中長期ロードマップ調査 土地利用・交通 SWG 委員

茨城県 河川整備計画検討委員会 委員

社団法人日本測量協会 評議員

社団法人日本測量協会 「測量専門技術委員会」 委員

社団法人全国測量設計業協会連合会 「測量設計業の課題と展望」検討会委員

◆ その他兼業

株式会社タス 非常勤顧問

氏 名	中村 豊	職 名	教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻		専任
	経営・政策科学専攻		専任
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	意思決定論		

1. 教育

- ◆ 担当授業科目：
 - 学類 微積分Ⅱ、意思決定論、暮らしのリスクと安心・安全な社会形成
 - 大学院前期課程 ミクロ経済学、意思決定理論
- ◆ 学類卒業生、博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目
 - 社会工学 日本の競馬市場における賭け行動の研究（関口貴志）

2. 研究

- ◆ 当該年度の研究活動概要：
 - 科学研究費 萌芽研究「主観的期待効用理論の再構築—合理的意思決定の新たな基礎づけに向けて—」
- ◆ 著書・論文等：
 - Fujii, Y. and Nakamura, Y. (2010) Equity premium under multiple background risks. *Economic Bulletin* 30(2) 933-939.
 - Nakamura, Y. (2010) Subjective risk aversion. Working Paper.

3. 学内運営

- ◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：
 - 学類 クラス担任（1年生）
 - SSM 運営委員

4. 学外の社会貢献

- ◆ *Journal of Mathematical Psychology* Acton Editor
- ◆ 心理学評論, *Journal of Mathematical Psychology* などの査読

氏 名	永易 淳	職 名	准教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
	社会システム工学専攻 兼担		
	経済・公共政策マネジメントプログラム経済政策専攻 兼担		
担当学類	専 社会工学類	兼	国際総合学類
研究分野	国際金融論、金融論、ファイナンス、計量経済学		

1. 教育

- ◆ 担当授業科目：
 - 学類 国際金融論、経済政策分析、グローバルエリア演習
 - 大学院前期課程 国際金融論
- ◆ 学類卒業生、博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目
 - 陶旭明「デフォルト率と景気循環」
 - Jin Yean「通貨為替制度と経済政策」

2. 研究

- ◆ 当該年度の研究活動概要：
 - 科学研究費 基盤（C）「外国為替市場におけるリスクから考察した伝播効果」（代表）
 - 科学研究費 基盤（B）「グローバル危機とアジア経済」（分担）
 - データバンク（分担）
- ◆ 著書・論文等：
 - Joseph Bryne & Jun Nagayasu (2010) Structural breaks in the real exchange rate and real interest rate relationship, *Global Finance Journal*, Vol. 21, No. 2, pp. 138-151.
 - Jun Nagayasu (2010) Macroeconomic interdependence in East Asia, *Japan and the World Economy*, Vol. 22, pp. 219-227.
 - Jun Nagayasu (2010) Regional inflation and monetary policy in China, *Banks and Bank Systems*, Vol. 5, No. 4, pp. 78-88.
 - Jun Nagayasu (2011) Financial innovation and regional money, *MPRA Paper* 29194, University Library of Munich, Germany.
 - Jun Nagayasu(2011) Economic factors contributing to time-varying conditional correlations in stock returns, *MPRA Paper* 28391, University Library of Munich, Germany.
 - Jun Nagayasu(2010) Regional inflation (price) behaviors: heterogeneity

and convergence, *MPRA Paper* 25430, University Library of Munich, Germany.

Jun Nagayasu(2010), Regional inflation in China, *MPRA Paper* 24722, University Library of Munich, Germany.

Jun Nagayasu(2010),The common component in the forward premium: evidence from the Asia-Pacific region, *MPRA Paper* 24549, University Library of Munich, Germany.

Jun Nagayasu (2011) Domestic capital mobility: a panel data approach, 多目的データバンク年報, Vol. 88, pp. 51-71.

◆ 学会発表等：

2nd Osaka Workshop on International Economics 大阪 A dynamic factor approach to domestic capital mobility 2011.02

日本経済学会 千葉大学 Macroeconomic Interdependence in East Asia, 2010.06

日本金融学会 中央大学 Regional Inflation (Price) Behaviors: Heterogeneity and Convergence, 2010.05

◆ その他：

3. 学内運営

◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：

データバンク委員

◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：

学類

社会工学類広報委員

SSM

大学院広報委員

4. 学外の社会貢献

◆ 学会活動（役員/委員、論文査読等）、学外から委嘱された委員、兼業など.

国際協力銀行（JBIC） コンサルタント

独立行政法人経済産業研究所(RIETI) 研究評価外部員

Glasgow University（英国）客員研究員

氏 名	橋本 昭洋	職 名	教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻 経営・政策科学専攻		
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	社会システム，システム評価決定論		

1. 教育

- ◆ 担当授業科目：
社会工学類 評価と決定／線形代数 I／戦略行動システム演習
社会システム工学専攻／経営・政策科学専攻 システム評価論
- ◆ 学類卒業生，博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目
佐藤 亘 社会工学類 都道府県 QOL の DEA/VEA 分析

2. 研究

- ◆ 当該年度の研究活動概要：
- ◆ 著書・論文等：
Haneda, S., Hashimoto, A. and Tsuneyoshi, T. (2010) Evaluating administrative efficiency change in the post-merger period: A study on Ibaraki prefecture (1979-2004). *International Regional Science Review*. doi: 10.1177/0160017610386477
Tsuneyoshi, T., Hashimoto, A. and Haneda, S. (2011) Quantitative evaluation of nation stability. *Journal of Policy Modeling*. doi: 10.1016/j.jpolmod.2011.06.003
- ◆ 学会発表等：
- ◆ その他：

3. 学内運営

- ◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：
システム情報工学研究科 運営委員会委員
システム情報工学研究科 人事委員会委員

- ◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：
社会システム・マネジメント専攻長
社会システム工学（一貫制）専攻長
社会工学系長

4. 学外の社会貢献

- ◆ レビューア
Socio-Economic Planning Sciences, Mathematical and Computer Modelling, Managerial and Decision Economics, Research Policy, Journal of the Operations Research Society of Japan
- ◆ 独立行政法人 物質・材料研究機構 契約監視委員会委員長

氏 名	八 森 正 泰	職 名	准教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻 専任 経営・政策科学専攻 兼任		
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	離散数学、組合せ論、トポロジー的組合せ論		

1. 教育

- ◆ 担当授業科目：

学類 情報リテラシー／社会工学実習／シミュレーション／情報技術実験／問題発見と解決

大学院前期課程 実解析／ビジネス数学
- ◆ 学類卒業生，博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目

社会工学類

田中圭介「グラフの Integrity に関する研究」

南舘史裕「部分グラフのなす半順序集合に対するメビウス関数とグラフの不変量」

社会システム工学専攻

浦野幸大「Network resilience を用いた確率グラフの頂点の重要度評価の方法」

2. 研究

- ◆ 当該年度の研究活動概要：

科学研究費 若手研究 (B)「単体的複体の部分構造および極小反例に基づく位相幾何学的組合せ論の研究」(代表)

科学研究費 基盤研究 (C)「ネットワーク構造解析アルゴリズムの開発とネットワークアルゴリズムの総合的展開」(分担、代表：繁野麻衣子)

科学研究費 基盤研究 (C)「センサネットワークにおけるノード位置を高精度に推定する半正定値最適化手法の開発」(分担、代表：吉瀬章子)
- ◆ 著書・論文等：
- ◆ 学会発表等：

離散数学とその応用研究集会 2010, 「Shellability の obstruction に関する予想と strong obstruction」, 高知大学, 2010 年 7 月 30 日～8 月 2 日.

Workshop on Combinatorial Geometry and Algorithms, “Obstructions to shellability and related properties,” 東京工業大学, 2010 年 9 月 2 日.

2010 年度応用数学合同研究集会, 「3 次元の obstruction to shellability につ

いて」，龍谷大学, 2010 年 12 月 16～18 日.

日本数学会 2011 年度年会 特別講演(応用数学分科会)「単体的複体の shellability および関連する性質の階層」，早稲田大学, 2011 年 3 月 20 日～23 日（震災による年会中止のため、講演は 2011 年度秋季分科会(信州大学, 2011 年 9 月 28 日～10 月 1 日) に延期。)

◆ その他：

3. 学内運営

◆ 系や全学組織等の業務への貢献：

システム情報工学研究科 情報環境委員、障害学生支援連絡窓口教員

◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：

学類 コンピュータ委員、カリキュラム委員、障害学生支援連絡窓口教員

3 専攻合同 コンピュータ委員

4. 学外の社会貢献

◆ 組合せ数学セミナー（COMA ゼミ） 幹事

◆ JCCA メーリングリスト 管理

氏 名	原田 信行	職 名	准教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻 経営・政策科学専攻		
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	中小企業経済学、計量経済学		

1. 教育

- ◆ 担当授業科目：
学類 統計Ⅰ／金融論
大学院前期課程 応用計量経済学演習／特定課題研究

2. 研究

- ◆ 当該年度の研究活動概要：
科学研究費 若手研究（B）「縮小経済のもとでの中小企業と企業家活動」（代表）
- ◆ 著書・論文等：
原田信行（2010）「投資関数」、蓑谷千風彦・牧厚志編『応用計量経済学ハンドブック』第5章、pp. 139-166、朝倉書店
原田信行（2011）「企業の景況判断と決定要因」、浅子和美・飯塚信夫・宮川努編『世界同時不況と景気循環分析』第4章、pp. 65-84、東京大学出版会
Harada Nobuyuki and Noriyuki Kageyama (2011), “Bankruptcy Dynamics in Japan”, *Japan and the World Economy*, 23 (2), pp. 119-128
- ◆ 学会発表等：
原田信行「投資関数」、日本経済学会 2010 年度春季大会

3. 学内運営

- ◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：
システム情報工学研究科企画室委員ほか
- ◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：
学類運営幹事，非常勤講師審査委員ほか

4. 学外の社会貢献

氏 名	藤井 さやか	職 名	講師
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻 専任		
	経営・政策科学専攻 専任		
	環境科学専攻 兼任		
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	都市計画，土地利用計画、まちづくり法制、住環境整備		

1. 教育

◆ 担当授業科目：

学類 都市・地域・環境を語るⅠ・Ⅱ・Ⅲ／社会工学実習／住まいと居住環境の計画／都市計画事例講義及び実習／アメニティ創造のまちづくり実習／都市計画インターンシップ

大学院前期課程 都市空間のフィールドワーク演習／居住環境計画論／国際交流ワークショップⅠ／MP P特講Ⅴ／都市環境原論

◆ 学類卒業生の氏名と論文題目

島田祥次「東京・大阪都心部における近年の都心居住の実態に関する研究-東日本橋・南船場を対象として-」

鷹巣志穂里「東京下町商店街における地域特性を活かした街並み景観整備についての研究」

玉置将法「首都圏環状幹線道路周辺地域における物流施設の立地の実態と課題に関する研究」

2. 研究

◆ 当該年度の研究活動概要：

科学研究費・若手研究(B)・「地区計画と自主ルール連携を通じた住民主体の住環境管理に関する研究」（20760398） 研究代表者

科学研究費・基盤研究(B)・「用途複合化の進展に対応した新たな建築用途・形態の規制・評価手法に関する研究」研究分担者（研究代表者・有田智一）

科学研究費・基盤研究（C）・「協調・契約型都市再生手法に関する日独比較研究」研究分担者（研究代表者・大村謙二郎）

科学研究費・基盤研究（C）・「200年住宅地を目指した街づくりシステムの研究」（21560627）研究分担者（研究代表者・小場瀬令二）

奨学寄附金インテル株式会社「高齢社会におけるICTを活用したまちづくり」研究代表者

学術指導経費つくば市都市計画課「まちづくり支援政策に対する助言」研究代表者

筑波大学社会貢献プログラム（第2期）「生活困難地域と農業をつなぐ産官学連携体制の構築と地域貢献事業の試験的実践」研究代表者

筑波大学革新的研究等支援プログラム（パイロットモデル）「学生協働・地場連携による筑波大学キャンパス・リノベーションーグリーン・イノベーションとライフ・イノベーションの融合ー」研究協力者（研究代表者・大澤義明）

◆ 著書・論文等：

査読付学術雑誌掲載論文

竹鼻紫・大村謙二郎・有田智一・藤井さやか（2010）「伝建地区とその周辺における空き家実態とその利活用可能性に関する研究--函館市西部地区を対象として」都市計画論文集 45-3. pp.25-30.

太田尚孝・大村謙二郎・有田智一・藤井さやか（2010）「再統一後のベルリンにおける都心改造に関する研究--「都心改造マスタープラン Planwerk Innenstadt」を巡る議論とプロジェクトの実現に注目して」都市計画論文集 45-3. pp. 109-114.

城間奨・大村謙二郎・有田智一・藤井さやか（2010）「大規模集客施設の立地誘導政策の今後の可能性に関する研究--首都圏中央連絡自動車道(圏央道)に着目して」都市計画論文集 45-3. pp. 679-684.

有留健太郎・有田智一・藤井さやか・大村謙二郎（2010）「現行の用途規制制度下における用途に起因する紛争の発生要因と対策に関する実態と課題--用途に係る請願・陳情に着目して」都市計画論文集 45-3. pp. 709-714.

その他論文

藤井さやか（2010）「市民からの提案を地区まちづくりルールに積極的に活かすために」地区レベルのまちづくりルール形成普及推進調査委研究会編『地区まちづくりルール普及・推進ガイドブック』pp.170-172. 所収.

藤井さやか監修（2010）「市民のまちづくりお助け本～みんなでまちづくり！～」つくば市（つくば市都市計画読本）

藤井さやか（2010）「地区まちづくりにおける提案制度の活用と期待（特集 市民参加の到達点）」都市計画 59(4), pp.23-26

藤井さやか（2010）「市街地の適切な規制誘導に向けた移行措置及び補完措置としての協議調整の役割」日本建築学会建築法制委員会協議調整型ルール検討小委員会編『集団規定をめぐる「裁量」と「協議調整」の実態』シンポジウム資料集. Pp.75-78.

藤井さやか・泉英明（2010）「市民提案の活発化に向けた都市計画提案制度見直しを行う」季刊まちづくり 26号. pp.73-77.

米野史健・遠藤新・藤井さやか（2010）「許可制度をどのように運用するか」

季刊まちづくり 26 号. pp.96-99.

◆ 学会発表等：

「都市計画の再構築を促すような市民提案をどう受け止めるのか？」東京大学グローバル COE 都市空間の持続再生学の展開（D 部会）、まちづくりの仕組みづくり研究会公開フォーラム『市民提案による都市計画の再構築』2010 年 10 月 14 日 東京大学工学部 14 号館 144 教室

「市民提案の活発化に向けた都市計画提案制度の見直しを行う」『季刊まちづくり 26 号発刊記念講演会』2010 年 5 月 25 日 首都大学東京秋葉原キャンパス

◆ その他：

平成 22 年度筑波大学システム情報工学研究科教育貢献賞

平成 22 年度筑波大学つくば・地域連携推進室つくばエコシティ推進賞 2010 シナジー賞

3. 学内運営

◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：

ハラスメント防止対策委員会

◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：

社会システム・マネジメント専攻 就職委員、学生相談室

学類 学類運営幹事、クラス担任（3 年生）、就職委員

4. 学外の社会貢献

◆ 学会活動（役員/委員、論文査読等）

日本都市計画学会 学術委員会委員、国際委員会委員

日本建築学会 建築社会システムのあり方特別研究委員会委員、住環境マネジメント小委員会委員、論文査読委員

都市住宅学会 編集委員会委員

◆ 学外から委嘱された委員、兼業など

日本プロジェクト産業協議会（JAPIC）日本創生委員会 W-table タスクフォース委員

財団法人 東京都防災・建築まちづくりセンター 理事

都市計画審議会（板橋区、さいたま市、桶川市、八潮市、三鷹市、所沢市）

都市計画マスタープラン策定委員会委員（小金井市、浦安市、板橋区）

さいたま市持続可能な都市形成に関する検討委員会

浦安市地域地区等検討調査意見交換会 委員

墨田区都市計画審議会高度地区特例の認定及び許可に係る専門部会 臨時委

員

建築審査会委員（柏市、墨田区）

柏市紛争調停委員会 委員

渋谷区まちづくり審議会土地利用専門部会 専門委員

神奈川県土地収用事業認定審議会 委員 等

氏 名	藤川 昌樹	職 名	教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 持続環境学専攻	専任 兼担	
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻 経営・政策科学専攻 環境科学専攻	専任 専任 兼担	
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	日本建築史・都市史、保全型都市計画		

1. 教育

- ◆ 担当授業科目：

学類 都市空間の歴史、まちづくりと空間設計の歴史と思想、アメニティ創造のまちづくり実習、東京の都市学

大学院前期課程 都市形成史、都市遺産論、環境計画史
- ◆ 学類卒業生，博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目
(別紙参照)

2. 研究

- ◆ 当該年度の研究活動概要：

科学研究費 基盤研究(B)「江戸藩邸作事における建設マネジメント手法に関する文理統合的研究」(代表)

科学研究費 基盤研究(A)「日本建築様式史の再構築」(分担)

科学研究費 基盤研究(C)「和歌山県橋本市中心市街地における町並みと大工集団の関わり」(分担)

受託研究 「常陸太田市内における歴史的建造物調査」(代表)
- ◆ 著書・論文等：

不破正仁・藤川昌樹(2010), 千葉県夷隅地域における南方研究科屋敷林の原型とその変容実態：明治期銅版画と現状との比較分析に基づいて，日本建築学会計画研究科論文報告集，650，pp.821-828

藤川昌樹・平山育男・御船達雄(2010), 橋本市東家の町並みの形成過程：和歌山県橋本市の町と町家の調査研究 その 81, 日本建築学会大会学術講演梗概集, F-2, pp.71-72

藤川昌樹(2010), 町並み保存の現在・過去・未来, 日本歴史, 752, pp.120-125

高屋麻里子・藤川昌樹(2010), 式台にみる萩藩江戸上屋敷の変遷, 日本建築学会計画研究科論文集, 661, pp.689-694

学会発表等:

山本英毅・藤川昌樹(2010), 長良川流域における美濃紙生産の地理的機能分担による住居・集落・町並空間の対応, 日本建築学会計画研究科論文報告集, F-2, pp.383-384

足立良康・藤川昌樹(2010), 茨城県常陸太田市鯨ヶ丘地区の構成と歴史的建造物の特性 その 6 銀行立地と建築様式, 日本建築学会計画研究科論文報告集, F-2, pp. 503-504

名久井一寿・藤川昌樹(2010), 茨城県常陸太田市鯨ヶ丘地区の構成と歴史的建造物の特性 その 7 和風銀行建築の構成, 日本建築学会計画研究科論文報告集, F-2, pp. 505-506

小山航・藤川昌樹(2010), 新潟市中心市街地における街区分割の変遷とその土地利用への影響, 日本建築学会計画研究科論文報告集, F-2, pp. 605-607

不破正仁・藤川昌樹(2010), 静岡県の太平洋沿岸地域における屋敷林の特徴とその実態: 現状調査と銅版画分析より, 日本建築学会計画研究科論文報告集, F-2, pp. 503-504

◆ その他:

3. 学内運営

◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献:

教育社会連携推進室員

◆ 専攻組織の業務への貢献(委員会等):

社会システム・マネジメント専攻 施設委員長

学類

予算委員長, 施設委員長

4. 学外の社会貢献

◆ 学会活動(役員/委員、論文査読等)、学外から委嘱された委員、兼業など.

学会活動:

建築史学会編集委員・論文査読、家具・道具・室内史学会運営委員
日本建築学会論文査読

学外から委嘱された委員：

国際事業委員会書面評価委員（日本学術振興会）

室戸市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員（高知県）

茨城県景観審議会委員（茨城県）

つくば市都市景観審議会委員（つくば市）

桜川市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員（桜川市）

史跡真壁城跡整備検討委員会委員（桜川市）

桜川市歴史的風致維持向上推進協議会（桜川市）

土浦市文化財保護審議会委員（土浦市）

土浦市都市計画審議会会長（土浦市）

土浦市公共事業再評価委員会委員長（土浦市）

兼業：

東京大学大学院新領域創成科学研究科

学類卒業生、博士前期課程修了生の氏名と論文題目

修論 足立良康 「地方銀行における銀行建築の変容に関する研究 ～茨城県の都市を事例として～」 （社シス）

修論 張 熹 「都市の歴史的地区における伝統風景観整備とその影響に関する研究 ―浅草を事例に― 」 （社シス）

修論 名久井一寿 「鉄道駅の構成の変化に関する研究 ―山手線 29 駅を対象として―」（社シス）

修論 松岡宏和 「砺波散村における屋敷林の保全に関する研究」（社シス）

修論 山越裕之 「銀座におけるギャラリー街の形成とその変容」（社シス）

卒論 酒谷 涼 「近代化遺産としての水戸市上水道施設の形成過程と残存状況」

卒論 島田達成 「大宮氷川神社参道の変容過程に関する研究」

卒論 松井基晃 「公共霊園周辺の市街化に関する研究 ～豊島区染井霊園を事例として～」

氏 名	藤原 良叔	職 名	教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻 専任 経政政策科学専攻 兼任		
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	組合せ理論とその情報科学への応用		

1. 教育

- ◆ 担当授業科目：
学類 シミュレーション／経営情報実習／プログラミング実習／情報技術実験
大学院前期課程 実験数学
- ◆ 学類卒業生，博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目
なし

2. 研究

- ◆ 当該年度の研究活動概要：
科学研究費 基盤研究（C）UWB タイムホッピング研究科列の組合せ的構成に関する研究
（代表）
科学研究費 基盤研究（C）コントロールをもつネステッド分割型2因子実験の構成法の研究（分担）
科学研究費 基盤研究（C）完全差集合族とそのレーダー配列への応用に関する研究（分担）
- ◆ 著書・論文等：
Ryoh Fuji-Hara and Ying Miao, Information Security, Coding Theory and Related Combinatorics, The chapter 15: Multi-structured designs and their applications.
(January 2011) 323-362
- ◆ 学会発表等：
Ryoh Fuji-Hara, Multi-structured designs and their applications (Invited Talk) NATO Advanced Study Institute on Information Security and Related Combinatorics, Opatia, Croatia (May 31- June 11, 2010)
- ◆ その他： なし

3. 学内運営

- ◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：
- ◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：

4. 学外の社会貢献

- ◆ Editor: Journal of Combinatorial Mathematics and Combinatorial Computing
Reviewing: American Mathematical Society Review
Refereeing: IEEE IT, J of Combinatorial Designs, Discrete Math その他

氏 名	松田紀之	職 名	
専攻（博士後期課程）	専任		
専攻（博士前期課程）	専任		
担当学類	専	兼	
研究分野			

1. 教育

- ◆ 担当授業科目：
- ◆ 学類卒業生，博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目

2. 研究

- ◆ 当該年度の研究活動概要：
- ◆ 著書・論文等：
- ◆ 学会発表等：
- ◆ その他：

3. 学内運営

- ◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：
- ◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：

4. 学外の社会貢献

氏 名	松原 康介	職 名	助 教
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻		専任
	経営・政策科学専攻		専任
担当学類	専 国際総合学類	兼	社会工学類
研究分野	歴史都市の保全、アジア・アフリカ地域の都市計画史		

1. 教育

- ◆ 担当授業科目：
学類 住まいと居住環境の計画／アジア居住論
- ◆ 学類卒業生、博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目

2. 研究

- ◆ 当該年度の研究活動概要：
科学研究費 若手研究（B）「国際交流を背景とした中東都市計画史研究と都市保全プロジェクトへの還元」（代表）
松下国際財団研究助成「中東三都市の保全・継承において日本が果たした役割に関する研究」（代表）
東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所共同研究「中東都市社会における人間移動と多民族・多宗教の共存プロジェクト」（分担者）
- ◆ 著書・論文等：
Kosuke Matsubara, "Field Survey for Urban Conservation -In Search of Architectural Vocabulary of the Qanawat south area, Damascus-", Regional Development and Water Resource -A New Vision for Sustainable Society-, Proceedings, pp.61-64, Nov.28-30, Tunis, 2010
Kosuke Matsubara, "Urban Conservation based on the International Cooperation -A case study of the Qanawat south area, Damascus-", The 8th International Symposium on Architectural Interchanges in Asia, Proceedings, pp.595-600, Nov 9-12, Kitakyushu, 2010
Kosuke Matsubara, "Gyoji Banshoya in Alger -His achievement as a teamwork in l'Agence du Plan-", The 1st Algeria-Japan Academic Conference, Proceedings, pp. X-X（印刷中）, Nov 8-9, Alger, 2010
- ◆ 学会発表等：
Kosuke Matsubara, "An aproach from urban planning history", The 1st Meeting of the Project "Human Mobility and Multi-Ethnic Coexistence in Middle Eastern Urban Societies", Aug. 7, JaCMES, Beirut, 2010

Kosuke Matsubara and Hidemitsu Kuroki,"An Introduction of Multilayered Basemap System", The 2nd Meeting of the Project "Human Mobility and Multi-Ethnic Coexistence in Middle Eastern Urban Societies", Feb. 5, ILCAA, Tokyo, 2010

- ◆ その他：

3. 学内運営

- ◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：
北アフリカセンター学内共同研究員
- ◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：

4. 学外の社会貢献

- ◆ 日本都市計画学会国際委員
- ◆ 日本建築学会論文査読委員
- ◆ 国際協力機構（JICA）ダマスカス首都圏都市計画・管理能力向上プロジェクト専門家
- ◆ 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所共同研究員
- ◆ 日仏東洋学会広報担当幹事

氏 名	繆 瑩	職 名	准教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻		専任
	経営・政策科学専攻		専任
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	組合せ論，情報セキュリティ，符号理論		

1. 教育

- ◆ 担当授業科目：

学類 社会工学実習／線形代数Ⅰ／線形代数Ⅱ／情報ネットワーク
大学院前期課程 情報セキュリティ管理
- ◆ 学類卒業生，博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目

学類卒業生：清宮晨博，釣合型不完備ブロック・デザインに基づいた非適応的グループ検査の識別アルゴリズム

2. 研究

- ◆ 当該年度の研究活動概要：

科学研究費 基盤研究（C）「完全差集合族とそのレーダー配列への応用に関する研究」（代表）
科学研究費 基盤研究（C）「多重構造を持った組合せ的デザインの統合と統一的構成法の研究」（分担）
- ◆ 著書・論文等：

G. Ge, Y. Miao and X. Sun (2010), Perfect difference families, perfect difference matrices, and related combinatorial structures, Journal of Combinatorial Designs, Vol. 18, pp. 415 – 449.
G. Ge, D. Huang and Y. Miao (2010), Monotonic directed designs, SIAM Journal of Discrete Mathematics, Vol. 24, pp. 218 – 238.
- ◆ 学会発表等：

Y. Miao, マルチメディア指紋におけるアンチ結託符号および追跡アルゴリズム, RIMS 共同研究「代数的符号理論、組合せデザインとその周辺」, 京都大学数理解析研究所, 平成 23 年 3 月 7 日--3 月 9 日.
Y. Miao, Group testing for DNA library screening} (Invited talk), The 3rd National Workshop on Combinatorial Design Theory and its Applications, Department of Mathematics, Guangxi Normal University, Guilin, China, Oct. 16--17, 2010.

Y. Miao, On anti-collusion codes and tracing algorithms for multimedia fingerprinting, International Workshop on Optimization and its Applications (IWOA2010), University of Tsukuba, Japan, July 21-August 1, 2010.

◆ その他：

3. 学内運営

◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：

◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：

SSM	広報委員
学類	数学補修委員

4. 学外の社会貢献

◆ Editor: Journal of the Indian Society of Agricultural Statistics, August 2009 -- present.

◆ Editor: Journal of Combinatorial Designs, John Wiley & Sons, January 2004 -- present.

◆ Editor: Graphs and Combinatorics, Springer, April 2002 -- present.

◆ 平成 22 年度前期、集中講義、九州大学理学部数学科、数理科学特論 5（組合せ的設計理論）

氏 名	村 尾 修	職 名	准教授
専攻（博士後期課程）	リスク工学専攻 社会システム・マネジメント専攻	専任 兼担	
専攻（博士前期課程）	リスク工学専攻 社会システム工学専攻	専任 兼担	
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	都市防災計画，都市復興計画		

1. 教育

- ◆ 担当授業科目：

社会工学類 東京の都市学／アメニティ創造のまちづくり実習／都市防災計画／暮らしのリスクと安心・安全な社会形成／Introduction to Urban and Regional Planning

リスク工学専攻 リスク工学基礎／都市構造システム論／都市リスク分析演習
- ◆ 学類卒業生，博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目

（リスク工学専攻）

礪山星：津波常襲地域における住宅立地の変遷 ～岩手県沿岸部を事例として～

范麗霞：北京市中心部における避難場所体研究科と最適配置に関する研究

2. 研究

- ◆ 当該年度の研究活動概要：

フルブライト奨学金研究員プログラム 2009-2010 「Comparative Study of the Policy and Urban Planning for Disaster Management in USA and Japan」（ハーバード大学，ハワイ大学）（研究代表者）

地球規模課題対応国際科学技術協力「ペルーにおける地震・津波減災技術の向上に関する研究」（研究協力者）
- ◆ 著書・論文等：

Murao, O., and Nakazato, H.: Recovery Curves for Housing Reconstruction in Sri Lanka after the 2004 Indian Ocean Tsunami, *Journal of Earthquake and Tsunami*, Vol.4, No.2, 51-60, DOI No: 10.1142/S1793431110000765, 2010.6

杉安和也，村尾修：インドネシア，タイ，スリランカにおける 2004 年インド洋津波被災後の被災者支援と復興計画策定体制の 3 カ国間比較，日本建築学

会技術報告集，日本建築学会，第 16 巻 33 号，811-816，2010.6

村尾修，仲里英晃：スリランカにおける 2004 年インド洋津波被害に基づく建物被害関数の構築，日本建築学会構造研究科論文集，日本建築学会，Vol. 75，No. 651，1021-1027，2010.5

五十嵐政泰，村尾修：丸の内・銀座地区における都市脆弱性の変遷と Google Earth を用いた都市復興デジタルアーカイブズの構築，日本地震工学会論文集，第 10 巻第 3 号，地震工学会，58-72，2010.5

村尾修，宮本篤，川崎拓郎：Google Earth を用いた集集鎮における都市復興デジタルアーカイブズの構築，日本地震工学会論文集，第 10 巻第 3 号，地震工学会，73-89，2010.5

Murao, O., and Nakazato, H.: "Vulnerability Functions for Buildings based on Damage Survey Data in Sri Lanka after the 2004 Indian Ocean Tsunami," *Proceedings of the International Conference on Sustainable Built Environment 2010 Volume-02*, pp. 371-378, Kandy, Sri Lanka, 2010.12

Sugiyasu, K., and Murao, O.: "Comparative Analysis of the Reconstruction Process of Urban Facilities in Indonesia based on Recovery Curves after the 2004 Indian Ocean Tsunami," *Proceedings of the International Conference on Sustainable Built Environment 2010 Volume-02*, pp. 363-370, Kandy, Sri Lanka, 2010.12

◆ 学会発表等：

Murao, O., and Dudley, C. W.: Comparison of Urban Recovery Planning and Designing for Tsunami Hazard between Sanriku Coastal Areas, Japan, and Hilo, Hawaii, *Proceedings of the 9th International Symposium on New Technologies for Urban Safety of Mega Cities in Asia* (CD-ROM), 12p., Kobe, Japan, 2010.10

Shah, MD F., and Murao, O.: People's Seismic Risk Recognition in Dhaka and Bangladesh National Building Code (BNBC) 1993, *Proceedings of the 9th International Symposium on New Technologies for Urban Safety of Mega Cities in Asia* (CD-ROM), 10p., Kobe, Japan, 2010.10

Sugiyasu, K. and Murao, O.: Analysis of the Reconstruction Process of Urban Facilities in Indonesia based on Recovery Curves after the 2004 Indian Ocean Tsunami, *Proceedings of the 3rd International Tsunami Field Symposium*, 159-160, Sendai, Japan, 2010.4

村尾修：ハワイ島ヒロにおける津波復興都市計画と最近の動向 ―1960 年チリ地震津波 50 周年現場報告―，日本都市計画学会，12-17，2010.6

杉安和也, 村尾修: 復興曲線を用いたインドネシアにおける 2004 年インド洋津波被災の地域別建物復興過程の比較分析, 2010 年地域安全学会梗概集 No.26, 地域安全学会, 87-90, 2010.6

杉安和也, 村尾修: インドネシアにおける 2004 年インド洋津波被災地の地域別建物復興過程, 2010 年度日本建築学会大会 (北陸) 学術講演梗概集 F-1, 日本建築学会, 961-962, 2010.9

杉安和也, 村尾修: インドネシアにおける 2004 年インド洋津波被災地の地域別インフラ復興過程の比較分析, 第 13 回日本地震工学シンポジウム論文集, (DVD), GO28-Thu-PM-7, 2010.11

村尾修, 鬼塚英城: 東京 23 区における地区住宅耐震性能の推移, 第 13 回日本地震工学シンポジウム論文集 (DVD), PS1-Thu-36, 2010.11

- ◆ その他:
とくになし

3. 学内運営

- ◆ 専攻組織の業務への貢献 (委員会等):
リスク工学専攻 GP 実施委員, 選挙管理委員, 広報委員

4. 学外の社会貢献

- ◆ 学会活動 (役員/委員、論文査読等)、学外から委嘱された委員、兼業など.
日本建築学会: 災害予防・復興支援のための活動基盤整備と行動計画策定特別調査委員会/災害本委員会幹事/災害委員会復興マニュアル策定 WG 主査
都市計画学会: 四川大地震復旧・復興調査特別委員会
地域安全学会: 理事/表彰委員会委員長
地震工学会: リモセン研究委員会
川崎市: 防災会議専門委員/地震被害想定・地震防災戦略部会 (建物・人的被害 WG 主査)

氏 名	村上 暁信	職 名	講師
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 持続環境学専攻	専任 兼担	
専攻（博士前期課程）	環境科学専攻 社会システム工学専攻 経営・政策科学専攻	専任 兼担 兼担	
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	緑地環境学，都市農村計画学		

1. 教育

- ◆ 担当授業科目：

学類 都市環境保全計画，都市計画マスタープラン実習，フレッシュマンセミナー

大学院前期課程 都市景観論，景観計画論
- ◆ 学類卒業生，博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目

学類卒業生

河村 瑞樹 「芝生化された小学校校庭における校庭利用と芝生維持管理に関する研究」

深川 悠 「担当職員の認知構造から見た地域ブランド推進の影響評価」

栗原 咲 「住民参加型の公園再整備において住民の意見が空間変化に与える影響」

博士前期課程修了生

多田 裕樹 「都市環境が樹木の生物季節に与える影響に関する影響」

佐藤 隼 「公園内の熱放射環境と幼児の行動から捉える熱中症の危険性」

2. 研究

- ◆ 当該年度の研究活動概要：

科学研究費補助金 若手研究（A）「樹冠表面温度を利用した都市気温分布図の作成と緑地の気候緩和機能の分析」（代表）

人間文化研究機構・総合地球環境学研究所 Full Research 研究プロジェクト「都市をめぐる循環と多様性：人類と地球環境を架橋する巨大で複雑なシステムの未来可能性」（分担）
- ◆ 著書・論文等：

Akinobu Murakami and Junko Isawa (2010), Study on the influences of thermal condition on the people's usage of open spaces in central urbanized area using a numerical simulation, Journal of Landscape Architecture in Asia, 5, pp. 150-155

村上暁信，渡辺祐也，原祐二，横張真，パリホン・アルマンド(2010)，メトロマ

ニラ郊外部のサブディビジョン開発地域における空閑地の分布と利用状況に関する研究, ランドスケープ研究, 73(5), pp. 607-610

佐藤理人, 村上暁信, 梅干野晁(2010), 3D CAD 対応熱環境シミュレータを用いた密集市街地の緑化による熱環境の緩和に関する研究, ランドスケープ研究, 73(5), pp. 601-606

梶田大介, 村上暁信, 佐藤理人(2010), 3D-CAD を用いた密集住宅地における緑の変化と建築更新の関係に関する研究, ランドスケープ研究, 73(5), pp. 595-600

高田真人, 村上暁信, 梅干野晁(2010), 数値シミュレーションによる夏季熱環境の評価を目的とした江戸町屋敷の配置計画・空間形態・構成材料の再現--江戸時代後期の江戸町人地における居住者の生活行動を考慮した夏季熱環境の評価(その 1), 日本建築学会環境研究科論文集, 75(648), pp. 237-245

◆ 学会発表等 :

Murakami, A. : Prediction of Air Temperature Distribution in Urbanized Area of Tokyo, Japan Using Airborne Thermal Images. 2010 IEEE International Geoscience & Remote Sensing Symposium, 2010

Murakami, A., Kurihara, S., Harashina, K., Zain, A. M. : The influences of urbanization on thermal environment and residents' life styles in Jakarta, Indonesia. 2010 Urban Environmental Pollution, 2010

◆ その他 :

3. 学内運営

◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献 :

◆ 専攻組織の業務への貢献 (委員会等) :

環境科学専攻 JDS 委員, 広報委員, 環境科学専攻将来検討ワーキング委員
学類 クラス担任 (1 年生), カリキュラム委員

SSM カリキュラム委員

4. 学外の社会貢献

- ◆ 「墨田区緑の基本計画改定検討委員会」委員, 「科学技術振興機構のサイエンス・パートナーシップ・プロジェクト事業「中学生が誇る石岡の原風景」」, 日本都市計画学会学術委員会委員, 環境情報科学センター学術委員, 同評議員, 農村計画学会評議員, 農村計画学会査読委員会委員

氏 名	桃田 朗	職 名	准教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻		専任
	経営・政策科学専攻		専任
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	マクロ経済理論、人口経済学		

1. 教育

- ◆ 担当授業科目：
学類 公共システム演習
大学院前期課程 マクロ経済学
- ◆ 学類卒業生，博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目
なし

2. 研究

- ◆ 当該年度の研究活動概要：
科学研究費 基盤研究（C）「人口減少社会のもとでの経済システムについての理論的考察」（代表）
- ◆ 著書・論文等：
なし
- ◆ 学会発表等：
討論者 日本経済学会春季大会（千葉大学）：論文 The Balanced Budget Multiplier and Labour Intensity In Home Production に対するコメント
討論者 応用経済学会（西南学院大学）：論文 Care of the Elderly and Public Long-term Care に対するコメント
- ◆ その他： なし

3. 学内運営

- ◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：
なし
- ◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：
なし

4. 学外の社会貢献

- ◆ 学会活動（役員/委員、論文査読等）、学外から委嘱された委員、兼業など。
論文査読（人口学研究）

氏 名	山本芳嗣	職 名	教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻		専任
	経営・政策科学専攻		専任
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	数理工学、最適化、オペレーションズ・リサーチ		

1. 教育

- ◆ 担当授業科目：

学類 社会工学実習、微積分 II、サービスの産業と組織、プログラミング実習、微積分リメディアル

大学院前期課程 経営工学における課題と方法、最適化理論
- ◆ 学類卒業生、博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目

博士前期：服部由佳「ノンパラメトリックな項目反応理論に対する最適化の応用」

博士後期：高野祐一“Solutions to VaR / CVaR Optimization Problems for Decision Making under Uncertainty”（不確実性の下での意思決定のためのVaR/CVaR 最適化問題の解法）

2. 研究

- ◆ 当該年度の研究活動概要：

科学研究費 基盤研究 (C)「厳密な最小違反順序計算アルゴリズムの開発」(代表)
- ◆ 著書・論文等：

関谷和之、山本芳嗣「選択科目試験による選抜方法への提案」Transaction of the Operations Research Society of Japan Vol.53 (2010) 56-68.

Y. Takano and Y. Yamamoto, “Metric-preserving reduction of earth mover's distance,”

Asia-Pacific Journal of Operational Research Vol.27 (2010) No.1, 39-54.
- ◆ 学会発表等：
- ◆ その他：

3. 学内運営

- ◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：

教員免許講習会担当
- ◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：

社会システム・マネジメント専攻、社会システム工学専攻、経営・政策科学専攻：カリキュラム委員長

社会工学類：カリキュラム委員

4. 学外の社会貢献

- ◆ 日本オペレーションズ・リサーチ学会理事（編集担当）、表彰委員会委員、広報委員会委員

氏 名	吉瀬 章子	職 名	教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻 専任		
	経営・政策科学専攻 専任		
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	数理最適化，オペレーションズ・リサーチ，サービス・サイエンス		

1. 教育

◆ 担当授業科目：

学類 問題発見と解決／数理計画／数学の言葉

大学院前期課程 先端最適化特論

◆ 学類卒業生，博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目

博士前期修了生

(社会システム工学専攻)

木村康弘「センサーネットワーク位置同定問題の問題構造を利用した逐次解法」

周茜「Semidefinite relaxation approach to a circles packing problem」

松川恭明「非負半正定値計画問題に対する主バリア関数法」

(経営・政策科学専攻)

平岡慎太郎「株式会社プラザマムにおける介護ビジネスの現状分析及び改善提案 第5章職務満足度調査」

江敏瑄「株式会社プラザマムにおける介護ビジネスの現状分析及び改善提案 第4章 訪問介護員の現状」

趙剛「株式会社プラザマムにおける介護ビジネスの現状分析及び改善提案 第8章 日本における外国人看護師・介護福祉士受け入れについて」

沈穎杰「株式会社プラザマムにおける介護ビジネスの現状分析及び改善提案 第2章 財務状況の分析」

学類卒業生

(社会工学類)

田中彰浩「共正値行列の理論的性質について」

舟橋史明「被覆半正定値計画問題とそれに対する効率的なアルゴリズムについて」

2. 研究

◆ 当該年度の研究活動概要：

科学研究費 基盤研究 (C)「センサネットワークにおけるノード位置を高精

度に推定する半正定値最適化手法の開発」(代表)
科学研究費 基盤研究 (B)「連続最適化による混合整数計画問題の大域的解決と情報技術への応用」(分担)
共同研究 (牛久市)「コミュニティバス運行最適化に関する研究」(代表)
V B L 教育支援プログラム「サービス・イノベーションのための起業インターンシップ・プログラム」(代表)

◆ 著書・論文等：

高木英明、岡田幸彦、吉瀬章子、繁野麻衣子「顧客志向ビジネス・イノベーションのためのサービス科学に基づく高度専門職業人育成プログラムの開発」, 人工知能学会誌・レクチャーシリーズ「サービス・イノベーションと AI と教育」(3), 25/5, 726-734, 2010/09.

Akiko Yoshise and Yasuaki Matsukawa, ``On Optimization over the Doubly Nonnegative Cone,” *Proceedings of 2010 IEEE Multi-Conference on Systems and Control*, 13-19, 2010/09.

Akiko Yoshise, ``Complementarity Problems over Symmetric Cones: A Survey of Recent Developments in Several Aspects,” Discussion Paper Series, Department of Social systems and Management, University of Tsukuba 1262, 2010/07.

Hideaki Takagi, Yukihiko Okada and Akiko Yoshise, ``Joint Human Resource Development for Local Service Industries and Graduate Students,” *Proceedings of 19th Annual Frontiers in Service Conference*, 2010/06.

◆ 学会発表等：

Akiko Yoshise, ``Complementarity Problems over Symmetric Cones a brief survey of recent developments,” ICOTA 8, 2010/12/11.

Akiko Yoshise, ``Recent Developments in Complementarity Problems over Symmetric Cones,” INFORMS Annual Meeting 2010, 2010/11/09.

Akiko Yoshise and Yasuaki Matsukawa ``Optimization over the Doubly Non-Negative Cone,” Workshop on Combinatorial Geometry and Algorithms, 2010/09/21.

Akiko Yoshise and Yasuaki Matsukawa, ``Optimization over the Doubly Non-Negative Cone,” IEEE MSC, 2010/09/08.

Akiko Yoshise and Yasuaki Matsukawa, ``Optimization over the Doubly Non-Negative Cone,” International Workshop on Optimization and Its Applications, 2010/08/01.

吉瀬章子,「最適化モデルの紙芝居」SCOPE@つくば -- 未来を担う若手研究者の集い 2010, 2010/06/27.

Akiko Yoshise, ``Symmetric Cone Complementarity Problem,” OR Seminar at

Tilburg University, 2010/06/17.

◆ その他：

日本オペレーションズ・リサーチ学会フェロー, 2011/03

3. 学内運営

◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：

男女共同参画推進室室長，保育所運営委員会委員，保育施設及び病児保育に係る検討WG構成員

◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：

社会システム・マネジメント専攻 予算委員

社会工学類 卒業生連絡委員会委員長

4. 学外の社会貢献

◆ 学会活動（役員/委員、論文査読等）

国際数理計画法学会（ISMP）・連続最適化国際会議（ICCOPT）運営委員

Pacific Journal of Optimization 編集委員

日中最適化会議運営委員

日本オペレーションズ・リサーチ学会表彰委員

日本オペレーションズ・リサーチ学会数理計画研究部会（RAMP）運営委員

論文査読：Mathematical Programming, Journal of Computational and Applied Mathematics, Optimization Letters, Nonlinear Analysis Series A: Theory, Methods & Applications, 等

◆ 学外から委嘱された委員、兼業など.

（独）科学技術振興機構（JST）研究開発戦略センター・システム科学技術推進委員会・モデリング分科会委員

氏 名	吉田 あつし	職 名	教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻		専任
	経営・政策科学専攻		専任
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	医療の経済分析、教育の経済分析、地理情報システムを用いた地理的経済データの統計分析		

1. 教育

◆ 担当授業科目：

学類 都市データ分析/高齢化社会における社会経済システム/都市と環境の経済学/都市地域経済学演習/統計 2/卒業研究 1/卒業研究 2/卒業研究 3
 大学院前期課程 地域データ分析/経営・政策科学特別研究 1/経営・政策科学特別研究 2/
 大学院後期課程 地域データ分析/社会システム工学演習/社会システム工学特別研究 1/社会システム工学特別研究 2/都市・環境システム演習/都市・環境システム特別演習

◆ 学類卒業生，博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目

学類卒業生

瀬田麗子「世界文化遺産の保護と脆弱性に関する研究－ルーマニアのホレズ修道院を事例として－」

博士後期課程修了生

小暮克夫 ”Microeconomic Analysis of Social Institution and Educational Policy”

2. 研究

◆ 当該年度の研究活動概要：

科学研究費 基盤研究 (B)「教育政策や教育効果のミクロ計量分析」(代表)

科学研究費 基盤研究 (A)「時空間現象データに対する統計科学モデルの構築および解析に関する組織的研究」(分担)

科学研究費 基盤研究 (A)「ミクロ計量経済学的手法による教育政策評価の研究」(分担)

学内プロジェクト 平成 22 年度プレ戦略イニシアティブ「現代社会科学・数理科学に基づいたモラル・サイエンスの再構築」(代表者)

◆ 著書・論文等：

鈴木陽祐, 吉田あつし, J-REITにおけるリスク評価の合理性, *住宅土地経済*, 財団法人日本住宅総合センター, 77, 17-22, 2010

吉田あつし, 医師のキャリア形成と医師不足, *日本労働研究雑誌*, 労働政策研究・研修機構, 594, 28-41, 2010

吉田あつし, 書評「社会保障の『不都合な真実』」鈴木亘著日本経済新聞社, 日本経済新

聞2010年9月12日朝刊, 日本経済新聞社, 2010

吉田あつし, 書評「病院選びの前に知るべきこと」田島知郎著中央公論社, 日本経済新聞

2010年8月8日朝刊, 日本経済新聞社, 2010

「吉田あつし, 私立中入試—経済学で考える, 日本経済新聞2010年5月5日朝刊
経済教室」,
日本経済新聞社, 2010

◆ 学会発表等：

A.Yoshida “School Choice Effects on Land Prices: Difference-in-Differences Approach in Regression Discontinuity Design” Presented at The International Symposium on Statistical Analysis of Spatio-Temporal Data in Kamakura, 2010年11月16日.

吉田あつし 「医療経済学から考えるこれからの医療」, 大阪大学大学院医学研究科研究科医療経済経営学寄附講座公開講義, 大阪大学中之島センター, 2010年11月4日.

A.Yoshida “How Do Japanese Health Insurance Societies Finance Their Contributions to the Health Service Systems for the Elderly?” 小樽商科大学「土曜研究会」, 小樽商科大学, 2010年7月23日.

◆ その他：

3. 学内運営

◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：

国立大学法人 筑波大学資金運用委員会委員

◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：

経営・政策科学専攻

専攻長

4. 学外の社会貢献

◆ 学会活動（役員/委員、論文査読等）、学外から委嘱された委員、兼業など。

内閣府 行政刷新会議 規制仕分け Aグループ 評価者

内閣府 行政刷新会議分科会（ワーキンググループ） 評価者

内閣府 行政事業レビュー 外部有識者

国立大学法人 東京大学大学院公共政策学連携研究部 特任教授

日本学術振興会 特別研究員等審査会専門委員及び国際事業委員会書面審査員

財団法人 関西社会経済研究所 特別研究顧問

日本経済学会理事

医療経済学会「医療経済研究」編集委員

氏 名	吉田雅敏	職 名	
専攻（博士後期課程）	専任		
専攻（博士前期課程）	専任		
担当学類	専	兼	
研究分野			

1. 教育

- ◆ 担当授業科目：
- ◆ 学類卒業生，博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目

2. 研究

- ◆ 当該年度の研究活動概要：
- ◆ 著書・論文等：
- ◆ 学会発表等：
- ◆ その他：

3. 学内運営

- ◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：
- ◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：

4. 学外の社会貢献

氏 名	吉野 邦彦	職 名	教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 持続環境学専攻	専任 兼担	
専攻（博士前期課程）	環境科学専攻 社会システム工学専攻 経営・政策科学専攻	専任 兼担 兼担	
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	環境影響評価，環境空間情報工学		

1. 教育

- ◆ 担当授業科目：

学類 都市計画実習／都市データ分析／環境科学とリスクマネジメント／都市計画情報実習

大学院前期課程 地理情報演習／環境科学実習／環境共生学概論／環境空間情報工学／
- ◆ 学類卒業生，博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目

学類 齋藤岳「茨城県における不法投棄箇所の発見と地理的特徴」

博士前期課程 環境科学専攻

石井寿樹「水分ストレス下におけるキャッサバ・キャノピーの分光反射特性に関する基礎的研究」

博士課程後期 社会システム・マネジメント専攻

Mohamed KEFI 「Soil Erosion Assessment for Sustainable Watershed Management in Semi-arid Areas in Tunisia」

博士課程後期 持続環境学専攻

楊 珏 「The Role of the Global Institutional Frameworks on the Diffusion of the Environmental Voluntary Regulation」

2. 研究

- ◆ 当該年度の研究活動概要：

①科学研究費 一般研究(B)海外学術調査研究「大規模灌漑事業の持続性および農村地域社会の開発効果に関する実証的研究」（分担）

②科学研究費 一般研究（A）「農業および水環境におけるコロイド界面現象の工学的体研究科化」（分担）

③民間財団（財）クリタ水・環境科学振興財団研究助成金(2009年10月～2010年9月)「釧路湿原内堤防が高層湿原植生に及ぼす影響の評価」（代表）
- ◆ 著書・論文等：

① Kunihiro Yoshino, Budi I. Setiawan, and Hideki Furuya(2010),

Economic Valuation for Cidanau Watershed Area, Indonesia, *Journal of Tropical Forest Management*, Vol.16(1), 27-35 (査読有)

◆ 学会発表等：

- ① Kunihiko Yoshino, Sayuri Kawaguchi, Fusayuki Kanda, Keiji Kushida, Fuan Tsai(2010), CHARACTERISTICS OF SPATIAL DISTRIBUTION OF PLANT COMMUNITIES, AT THE HIGH MOOR IN KUSHIRO WETLAND USING AERIAL COLOR PHOTOGRAPHS OF SUPER HIGH SPATIAL RESOLUTION, ISPRS Com8, Kyoto, pp.522-527, CD_ROM
- ② Yudi Setiawan, Kunihiko Yoshino(2010), TEMPORAL PATTERN ANALYSIS OF AVELET-FILTERED MODIS EVI TO DETECT LAND USE CHANGE IN JAVA ISLAND, INDONESIA, ISPRS Com8, Kyoto, pp.820-825, CD_ROM
- ③ Mohamed Kefi, Kunihiko Yoshino(2010), EVALUATION OF THE ECONOMIC EFFECTS OF SOIL EROSION RISK ON AGRICULTURAL PRODUCTIVITY USING REMOTE SENSING: CASE OF WATERSHED IN TUNISIA, ISPRS Com8, Kyoto, pp.930-935, CD_ROM
- ④ Kunihiko Yoshino, Beni Okarda (2010), THREE-DIMENSIONAL MODELING OF A TROPICAL TREE, MELALEUCA SP, USING THE DIGITAL PHOTOGRAMMETRY, ISPRS Com8, Kyoto, pp.725-729, CD_ROM
- ⑤ Kunihiko YOSHINO, Tomoyasu ISHIDA, Toshihide NAGANO, Yudi SETIAWAN(2010), LANDCOVER PATTERN ANALYSIS OF TROPICAL PEAT SWAMP LANDS IN SOUTHEAST ASIA, ISPRS Com8, Kyoto, pp.941-946, CD_ROM
- ⑥ Kazuki Ishii, Kunihiko Yoshino(2010), "A new approach of structural change modeling of Cassava foliage (*Manihot esculenta*) under water stress", International Symposium on Agricultural Education for Sustainable Development (Ag-ESD), University of Tsukuba; November 8 - 11, 2010
- ⑦ Mohamed Kefi, Kunihiko Yoshino(2010), "Impact of land cover change on soil Erosion risk by water : A case of study of the watershed in Tunisia", International Symposium on Agricultural Education for Sustainable Development (Ag-ESD), University of Tsukuba; November 8 - 11, 2010
- ⑧ Yudi Setiawan, Kunihiko Yoshio(2010), "Temporal pattern analysis of dynamic agricultural system toward improving water resource

effectiveness in Java Island, Indonesia", International Symposium on Agricultural Education for Sustainable Development (Ag-ESD), University of Tsukuba; November 8 - 11, 2010

◆ その他：

受賞

① Best Paper Award in ISPRS Com8 Kyoto 2010

Yudi Setiawan, Kunihiko Yoshino, TEMPORAL PATTERN ANALYSIS OF WAVELET-FILTERED MODIS EVI TO DETECT LAND USE CHANGE IN JAVA AND, INDONESIA,

② Best Paper Award in ISPRS Com8 Kyoto 2010

Mohamed Kefi, Kunihiko Yoshino, EVALUATION OF THE ECONOMIC EFFECTS OF SOIL EROSION RISK ON AGRICULTURAL PRODUCTIVITY USING REMOTE SENSING: CASE OF WATERSHED IN TUNISIA,

3. 学内運営

◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：

理工学群総合政策室委員，学群 FD 実行委員長，全学 FD 委員

◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：

環境科学専攻 ICEP 委員，JDS 委員，カリキュラム委員

学類 クラス担任（2 年生）

SSM 総務委員

4. 学外の社会貢献

◆ 学会活動（役員/委員、論文査読等）、学外から委嘱された委員、兼業など.

JSPRS 論文編集委員・評議委員/JIRCAS 外部評価委員

氏 名	渡辺 俊	職 名	准教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻	専任	
	経営・政策科学専攻	専任	
	環境科学専攻	兼任	
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	建築計画、都市計画、空間情報科学、デザイン科学		

1. 教育

◆ 担当授業科目：

学類 都市空間の計画とデザイン／都市計画情報実習／
街並みデザイン演習／アメニティ創造のまちづくり実習／
東京の都市学／テクニカルライティング

大学院前期課程 空間情報科学／環境デザイン論

◆ 学類卒業生、博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目

学類

工藤はるな：理美容所はなぜ潰れないのか

矢口弘樹：群馬県高崎市群馬音楽センター老朽化問題を題材とした音楽拠点
の提案

博士前期

阿部祐介：シェア居住に着目した若年層の持つ住意識に関する研究

九乗佳貴：屋外での自由歩行を目的とした AR システムの開発

榎谷夢：実空間でのインターネット環境の有無がまちあるきに与える影響に
関する研究－谷根千エリアを対象として－

2. 研究

◆ 当該年度の研究活動概要：

科学研究費 基盤研究(C)「ポスト定住化社会における時空を超えたアクティ
ビティの流動化実態に関する実証的研究」(代表)

科学研究費 基盤研究(A)「地理情報科学と都市工学を融合した空間解析手法
の新展開」(分担)

◆ 著書・論文等：

渡辺俊(2010)：就労スタイルの時空間分析に基づく流動化指標の提案－電子メ
ールの利用実態から見た執務行為の空間・時間的な流動化に関する研究 その
2－, 日本建築学会計画研究科論文集, 日本建築学会, 75,657, pp.2555-2560

◆ 学会発表等：

松下拓未・渡辺俊(2010)：media wall，日本建築学会大会学術講演梗概集，日本建築学会，pp.44-45

中嶋裕・渡辺俊(2010)：アーティスト・イン・レジデンスの効果と継続に向けた課題 地域との関係構築の視点から，日本建築学会大会学術講演梗概集，日本建築学会，pp.295-296

石田あずさ・榎谷夢・渡辺俊(2010)：国立大学における子育て支援サービスの在り方に関する研究，日本建築学会大会学術講演梗概集，日本建築学会，pp.187-188

矢吹剣一・渡辺俊(2010)：東京都区部の超高層建築物における最上階空間の利用形態に関する研究，日本建築学会大会学術講演梗概集，日本建築学会，pp.181-182

渡辺俊(2010)：電子メールの利用実態から見た執務パターンと執務流動化の計測方法について，日本建築学会大会学術講演梗概集，日本建築学会，pp.1095-1096

3. 学内運営

◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：

学類	クラス担任（4年生）
SSM	コンピュータ委員

4. 学外の社会貢献

◆ 学会活動（役員/委員、論文査読等）、学外から委嘱された委員、兼業など.

日本建築学会 建築計画基礎研究科運営委員会委員

情報システム技術利用委員会委員

デザイン科学応用研究小委員会主査

「建築のデザイン科学の方法論」シンポジウム主催

氏 名	渡辺 真一郎	職 名	教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 専任		
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻		専任
	経営・政策科学専攻		専任
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	組織行動論		

1. 教育

- ◆ 担当授業科目：
学類 経営組織論 / 社会調査法
大学院前期課程 組織行動論
- ◆ 学類卒業生，博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目（2010 年度）
宋 学哲 患者満足度の測定
喬剛剛 筑波大学付属病院における看護師の組織コミットメント測定
鐘 軼 看護師の精神的健康調査
駱 麗裙 “つくばナース”のクリニカル・ラダーの改善提案

2. 研究

- ◆ 当該年度の研究活動概要：
科学研究費「基盤研究（B）（一般）「看護行動研究への組織心理学的アプローチ」（代表）
科学研究費「挑戦的萌芽研究「看護行動研究の新たな地平線構築」（代表）
- ◆ 著書・論文等：
Kwantes, C.T., Arbour, S., & Watanabe, S. (forthcoming). Contextualizing the Relationship Between Person-Job Fit and Job Satisfaction in Japanese and Canadian Nurses. *Japanese Journal of Administrative Science*.
- ◆ 学会発表等：
Watanabe, S., Tanaka, D., Kanazawa, Y., & Kwantes, C. (2011). A 'Big-5' and achievement motive interaction model of customer orientation among Japanese salespeople. *Association for Psychological Science Proceedings, 2011*, 225.

Watanabe, S., Okada, Y, Sumita, U., & Hashimoto, R. (2011). A closer look at the underlying dimensionality of Type-A personality. *Association for Psychological*

Science Proceedings, 2011, 19.

- ◆ その他： なし

3. 学内運営

- ◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：
国際戦略室委員
教職課程委員
- ◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：
学類 カリキュラム委員
 クラス担任（1年生）

4. 学外の社会貢献

- ◆ Cornell Admissions Ambassador Association Network 委員
- ◆ 経営行動科学学会理事

氏 名	渡邊 直樹	職 名	准教授
専攻（博士後期課程）	社会システム・マネジメント専攻 人文社会科学研究科 経済学専攻	専任 兼担	
専攻（博士前期課程）	社会システム工学専攻 経営・政策科学専攻 人文社会科学研究科 経済学専攻	専任 専任 兼担	
担当学類	専 社会工学類	兼	
研究分野	産業組織論、ゲーム理論		

1. 教育

- ◆ 担当授業科目：

学類 社会工学実習、ミクロ経済学生産、社会工学における戦略的思考、
artisoc による人工社会構築入門

大学院前期課程 応用ゲーム理論
- ◆ 学類卒業生、博士前期・後期課程修了生の氏名と論文題目

今年度は該当者無し

2. 研究

- ◆ 当該年度の研究活動概要：

科学研究費 若手研究（B） 研究代表者

「パテントプールにおける利得配分問題：提携形成、研究開発投資、効率性」

日本学術振興会 フランス国立科学研究センター（C N R S）二国間交流事業共同研究

分担研究者 「状況認識と行動学習の相互作用に関する二国間比較」

日本学術振興会 フランス国立研究機構（A N R）二国間交流事業共同研究

分担研究者 「エージェントシミュレーション研究に関する行動認識論的基礎付け」
- ◆ 著書・論文等：

“Bargaining Outcomes in Patent Licensing: Asymptotic Results in a General Cournot Market,” Shin Kishimoto, Naoki Watanabe, and Shigeo Muto, *Mathematical Social Sciences* 61, 114-123, 2011

“An Experimental Study of Bidding Behavior in Procurement Auctions with Subcontract Bids: Profits, Efficiency, and Policy Implications,” Naoki Watanabe and Jun Nakabayashi, Proceedings of SICE, IEEE Xplore, 1202-1207, 2011

学会発表等：

“An Experimental Study of Bidding Behavior in Procurement Auctions with

Subcontract Bids: Profits, Efficiency, and Policy Implications,” SICE Annual Conference 2011, Sept 15, 2011

“A Note on a Weighted Voting Experiment: Human Mistakes in Cooperative Games,” TCER Microeconomics Conference (Decentralization Conference) Sept 16, 2011

◆ その他：

第 17 回東京経済研究センター（TCER）ミクロ・コンファレンス プログラム委員長

3. 学内運営

◆ 研究科や全学組織等の業務への貢献：

◆ 専攻組織の業務への貢献（委員会等）：

学類 クラス担任（1 年生）、授業評価実施委員

4. 学外の社会貢献

第 17 回東京経済研究センター（TCER）ミクロ・コンファレンス
プログラム委員長 及び オーガナイザー

Japanese Economic Review などの査読